

奈良県立医科大学概要

令和8年度



公立大学法人

奈良県立医科大学



公立大学法人
奈良県立医科大学

建学の精神

平成 29 年 4 月 4 日：制定

最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献します

大学の理念

平成 6 年 3 月 8 日：制定
平成 17 年 12 月 13 日：改正

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

各分野の理念と方針

平成 29 年 4 月 4 日：制定

教 育

理念 豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

- 方針**
- 1 良き医療人育成プログラムの実践
 - 2 教員の教育能力開発と教育の質保証
 - 3 教育全般に関する外部有識者評価と学生参加の推進
 - 4 学習環境と教育環境の充実

研 究

理念 研究の成果を患者への最善の医療に生かし奈良県民の健康増進を図るとともに、最先端の研究により医学の進歩に貢献します。

- 方針**
- 1 研究基本方針の明確化
 - 2 研究推進体制の効率化と強化
 - 3 研究の外部評価の導入
 - 4 奈良県民の健康増進への貢献

診 療

理念 患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

- 方針**
- 1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践
 - 2 奈良県内基幹病院としての機能の充実
 - 3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進
 - 4 各領域の担い手となる医療人の育成

法人運営

理念 最高の医学の追求、最善の医療の追求を使命として、互いに連携しながら自らの職務に誇りと情熱をもって取り組み、課題に対して自ら行動できる人材を確保・育成することで、教育・研究・診療の理念を実現し、発展し続ける法人運営を実践します。

- 方針**
- 1 ガバナンス体制の確立
 - 2 持続可能な経営基盤の確立
 - 3 働きがいのある職場づくり
 - 4 積極的な情報発信

目 次

第1章 概 要

1. 沿 革	1
2. 名 称 ・ 位 置	8
3. 施 設	8
(1) 土 地	8
(2) 建 物	8
4. 公立大学法人奈良県立医科大学 組織機構図	9
5. 役 職 員	12
(1) 役 職 員 名 簿	12
(2) 大学院研究指導教員名簿	16
6. 職 員 構 成	18
(1) 役 職 員 数	18
(2) 教 員 数	19
7. 歴代校長・学長	20
8. 歴代部局長	20
9. 歴 代 役 員	22
10. 名 誉 教 授	23

第2章 予算・決算

1. 令和7年度決算	24
2. 年度別予算	26

第3章 大学・大学院

教育目標	27
1. 学生定員及び現員	31
2. 県内・県外別学生数	31
3. 志願者数及び入学者数	32
4. 卒 業 者 数	33
5. 卒業後の状況	34
6. 学位授与者数	34
7. 研究生数、専修生数、医科学研究生数及び博士研究員数	35
8. 解 剖 件 数	35
9. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業	35
10. 総合研究棟の状況	36
1. 共同利用施設	36
(1) 動物実験施設	36
(2) 組換え DNA 実験施設	36
(3) ラジオアイソトープ (RI) 実験施設	36

2. 総合研究棟の主な共同利用大型研究機器設置状況	36
11. 寄附・共同研究等講座の設置状況	37
12. 国際交流協定締結機関	37
13. 国内協定締結機関	37
14. 教育研究に関する協定（連携大学院）	37
15. 大学発ベンチャー企業	37
16. 公開講座「くらしと医学」開催状況	38

第4章 附属図書館

1. 蔵書	39
2. 利用者数	39
3. 図書館間相互協力	39
4. 情報提供サービス	39
5. 電子ジャーナル・電子ブック	39

第5章 附属病院

1. 診療体制	40
(1) 許可病床数	40
(2) 外来診療室数	41
2. 患者統計	42
(1) 入院・外来患者数	42
(ア) 入院患者数（年度別）	42
(イ) 新入退院患者数・平均在院日数（年度別）	43
(ウ) 外来患者数（年度別）	44
(エ) 入院・外来患者数の推移	45
(2) 中央診療施設稼働状況	46
(ア) 中央臨床検査部検査件数（年度別）	46
(イ) 輸血部関係（年度別）	47
(ウ) 中央手術部手術件数（年度別）	48
(エ) 中央放射線部診療患者延数（年度別）	48
(オ) 集中治療部患者延数（年度別）	49
(カ) リハビリテーション関係	49
(キ) 透析部透析件数（年度別）	49
(ク) 病院病理部関係（年度別）	49
(ケ) 医療技術センター関係（令和7年度）	50
(コ) 中央内視鏡部診療件数（年度別）	53
(サ) 超音波診療件数（年度別）	53
(3) 病理解剖件数（年度別）	54
(4) 分娩件数（年度別）	54
(5) 薬剤関係（年度別）	55

(6) 栄養管理関係	55
(ア) 提供食数（年度別）	55
(イ) 栄養指導件数（年度別）	55
(ウ) NST 介入件数（年度別）	55
(7) 総合相談窓口、患者・家族支援室の相談実績	56
(ア) 相談内容別件数（年度別）	56
(イ) 相談件数内訳（令和 7 年度）	57
(8) インシデント・アクシデント発生状況（令和 7 年度）	58
3. 診療収入関係	59
(1) 診療収入額（年度別）	59
(2) 特別療養環境室（個室等）室料差額収益額（年度別）	59
4. 附属病院の主な医療機器設置状況	60
5. 総合医療情報システム（電子カルテシステム）	61
○ 四条キャンパス総合案内	62
○ 畝傍山キャンパス総合案内	63
○ 病院総合案内	64
○ 四条キャンパス・附属病院配置図	65
○ 畝傍山キャンパス配置図	66
○ 奈良県立医科大学位置図・大学・附属病院付近図	67

第1章 概要

1. 沿革

昭和20年 4月	奈良県立医学専門学校設立 校舎を当分の間、高市郡八木町小房（現 橿原市小房町）に置く 奈良県農業会経営の奈良協同病院（高市郡畝傍町大字四条840、現橿原市四条町840）を買収、附属病院（215床）とする
昭和20年 7月	奈良県立医学専門学校第1回入学式挙行
昭和21年 4月	校舎を高市郡畝傍町畝傍（現 橿原市畝傍町）50番地に移転
昭和22年 7月	奈良県立医科大学（旧制）予科開校、予科3個学年を同時に入学させる 附属吉野保健センター診療部開設
昭和22年 9月	附属厚生女学部開設
昭和23年 4月	奈良県立医科大学（旧制）学部開設、入学定員40人
昭和25年 3月	医学専門学校第1回生卒業
昭和26年 3月	学制改革により予科、医学専門学校廃止
昭和27年 3月	医科大学（旧制）第1回生卒業
昭和27年 4月	奈良県立医科大学（新制）開設、入学定員40人、17講座
昭和28年 4月	附属准看護学校開校
昭和28年 6月	内科学第二講座設置
昭和29年 6月	解剖学第二講座設置
昭和29年 10月	整形外科科学講座設置
昭和30年 4月	附属高等看護学校開設
昭和31年 3月	医科大学（新制）第1回生卒業
昭和32年 4月	県立橿原診療所、県立橿原精神病院を医科大学附属病院に合併（642床となる） 病理学第二講座設置
昭和32年 6月	看護婦宿舎（白檜寮）竣工（木造2階建）
昭和33年 3月	附属病院南病棟竣工（鉄筋3階建）
昭和33年 4月	学校教育法の改正に伴い、医学進学課程（修業年限2年）設置
昭和34年 11月	旧制学位審査権を認可される
昭和34年 12月	基礎医学校舎完成（鉄筋4階建、5,277.24㎡）（現：臨床医学研究棟）
昭和35年 1月	大学の住所表示を橿原市四条町840番地に変更 生理学第二講座設置
昭和35年 3月	附属病院北病棟（鉄筋4階建）及びがん治療棟（同平屋建）竣工
昭和35年 4月	奈良県立医科大学大学院設置、入学定員23人、総定員92人 外科学第二講座設置
昭和36年 3月	旧制医科大学廃止
昭和36年 5月	附属病院中央臨床検査部創設
昭和36年 9月	大学本館（鉄筋3階建）及び図書館（同2階建）竣工
昭和36年 12月	学位規則（文部省令）に基づき、奈良県立医科大学学位規則を制定
昭和37年 11月	病院診療管理棟及び給食棟竣工、ボイラー棟、コバルト照射室完成
昭和38年 3月	サービス棟竣工
昭和38年 8月	臨床研究棟（鉄筋3階建、1,589.40㎡）（現：医局棟）、塵埃焼却場竣工
昭和38年 11月	皮膚・泌尿器科学講座を分離、全24講座となる
昭和39年 3月	研究実験用動物舎等竣工
昭和39年 4月	学生入学定員を40人から60人に変更 大学院の入学定員を24人に、総定員を96人に変更 附属奈良病院設置（奈良市西大寺町）
昭和39年 8月	看護婦宿舎白檜寮新館（鉄筋3階建、1,500.82㎡）及び臨床講堂（鉄筋平屋建、階段作、214㎡）竣工
昭和40年 3月	進学課程校舎新築竣工（鉄筋3階建、983.50㎡）
昭和40年 4月	奈良県血液センターを附属病院内に置く 救急病棟の開設
昭和41年 4月	附属病院に輸血部設置
昭和41年 9月	精神病棟新館完成（鉄筋4階建、2,032㎡）
昭和41年 10月	胃集団検診車「きぼう号」により県下各市町村において胃の集団検診を実施
昭和43年 3月	中央臨床検査棟竣工
昭和43年 4月	附属がんセンター設置
昭和44年 5月	女子職員独身寮竣工
昭和44年 7月	大講堂（600人収容）竣工

昭和 44 年 8 月	仮設託児所竣工
昭和 44 年 10 月	新教授会、教授会代議員会、全学協議会発足
昭和 45 年 4 月	事務組織機構改正 事務局に管財課、附属病院事務部に管理課、医事課、給食課設置 附属高等看護学校第一部学生入学定員を 20 人から 40 人に変更
昭和 45 年 7 月	附属高等看護学校竣工 (2,293.60 m ²)
昭和 45 年 8 月	附属がんセンター増築 (1,619.50 m ²)
昭和 46 年 3 月	サービス棟増築 (854.9 m ²)
昭和 46 年 6 月	奈良県血液センターを日赤奈良支部へ移管
昭和 47 年 4 月	公衆衛生学講座設置
昭和 47 年 8 月	附属病院看護婦宿舍竣工 (3,517.52 m ²)
昭和 49 年 1 月	体育館竣工
昭和 49 年 3 月	塵埃焼却場竣工
昭和 49 年 4 月	麻酔科学講座設置
昭和 49 年 11 月	附属がんセンター増築 (190.9 m ²)
昭和 50 年 4 月	附属奈良病院を県立奈良病院に組織変更
昭和 51 年 4 月	医動物学講座設置
昭和 52 年 4 月	医動物学講座を寄生虫学講座に変更 学生入学定員を 60 人から 100 人に変更 内科学第三講座設置 附属高等看護学校を、専修学校移行に伴い附属看護専門学校に名称変更
昭和 52 年 10 月	全学協議会、教授会代議員会廃止
昭和 52 年 11 月	新教授会発足
昭和 53 年 3 月	基礎医学校舎竣工 (鉄筋 5 階建、8,500.75 m ²) 進学課程校舎増築 (鉄筋 4 階建、1,569.64 m ²)
昭和 53 年 6 月	神経精神科学講座を精神神経科学講座に変更
昭和 53 年 12 月	テニスコート (4 面)、バレーコート (1 面) 竣工
昭和 54 年 3 月	図書館竣工 (鉄筋 3 階建、1,303.18 m ²)
昭和 54 年 9 月	プール (6 コース) 竣工
昭和 56 年 1 月	臨床第 1 講義室竣工 (460.46 m ²)
昭和 56 年 3 月	エネルギーセンター竣工
昭和 56 年 4 月	外科学第三講座設置 神経内科学、口腔外科学設置 精神神経科学講座を精神医学講座に変更 附属看護専門学校、1 部の入学定員を 40 人から 70 人に変更、2 部の募集を停止
昭和 56 年 9 月	附属病院新本館竣工 (22,554.25 m ²)
昭和 56 年 10 月	附属病院に中央診療施設設置
昭和 56 年 12 月	附属看護専門学校合同講義室竣工 (162.00 m ²)
昭和 57 年 9 月	附属病院許可病床数 850 床 (一般 710, 結核 60, 精神 80) となる
昭和 57 年 12 月	東運動場整備 (8,077 m ²)
昭和 58 年 12 月	塵埃焼却場竣工 (285.5 m ²)
昭和 59 年 12 月	学生クラブ棟増築 (260.98 m ²) 附属看護専門学校講義室竣工 (162.65 m ²)
昭和 60 年 3 月	附属病院外来部門電算業務開始 独身住宅竣工 (橿原市南妙法寺町、鉄筋 4 階建、1,140.48 m ²)
昭和 60 年 4 月	附属看護専門学校に助産学科 (定員 15 人) を設置
昭和 61 年 3 月	附属病院入院部門電算業務開始
昭和 62 年 2 月	MR-CT 棟竣工 (227.42 m ²)、62 年 5 月より診断開始
昭和 63 年 3 月	附属病院中央手術場を 9 室から 11 室に改修
昭和 63 年 4 月	病態検査学、神経内科学、口腔外科学を講座とする 附属病院新生児病室 10 床から 15 床に増床、全 855 床となる
平成 元年 3 月	西運動場整備 (13,626 m ²)
平成 元年 4 月	附属がんセンターのペータートロン照射室をリニアック室に改修
平成 元年 8 月	救急医学講座設置
平成 2 年 3 月	附属病院救急棟竣工 (1,589.4 m ²)、集中治療室 5 床、救急病室 15 床設置により全 870 床となる
平成 2 年 4 月	附属病院救急科設置、2 年 5 月より診療開始
平成 2 年 6 月	第 1 駐車場整備 (8,077 m ²)
平成 3 年 4 月	附属がんセンター組織改正
平成 3 年 7 月	基礎医学校舎増築 (2,493.3 m ²) クラブ棟新築竣工 (354.9 m ²)

平成 4 年 4 月	第二本館建設推進本部及び同事務局設置
平成 4 年 6 月	老人性痴呆疾患センター設置
平成 4 年 8 月	附属病院土曜閉院となる
平成 5 年 3 月	総合研究棟竣工（5,919.64 m ² ）
平成 5 年 4 月	大学、附属看護専門学校土曜休業となる
平成 5 年 10 月	総合研究施設部設置
平成 5 年 11 月	総合研究棟供用開始
平成 6 年 3 月	大学の理念及び目的を制定 サービス棟竣工（1,340.85 m ² ）
平成 6 年 4 月	附属病院中央診療施設の中央内視鏡室、人工透析室、新生児病室の 3 室を部に変更
平成 6 年 5 月	教授会構成員変更
平成 6 年 8 月	エイズ拠点病院選定
平成 6 年 9 月	骨髄移植開始のため、附属病院に無菌室設置
平成 6 年 11 月	インターネット利用開始
平成 7 年 3 月	本学初の公開講座を実施
平成 7 年 9 月	開学 50 周年記念式典挙行
平成 8 年 2 月	特定機能病院承認
平成 8 年 4 月	看護短期大学部開学、附属看護専門学校看護学科の募集を停止 附属病院中央診療施設に病院病理部を新設し、人工透析部の名称を透析部に変更 学内 LAN 敷設
平成 8 年 11 月	災害拠点病院指定
平成 9 年 3 月	附属病院 B 棟（18,253.98 m ² ）及びエネルギーセンター（2,491.05 m ² ）竣工
平成 9 年 4 月	学生入学定員を 100 人から 95 人に変更 附属病院内に救命救急センター設置
平成 9 年 6 月	附属病院 B 棟供用開始
平成 9 年 9 月	ゲストハウス竣工（171.38 m ² ）
平成 9 年 11 月	本学公式ホームページ開設
平成 11 年 1 月	病態検査学講座を総合医療・病態検査学講座に変更 附属病院総合診療科設置
平成 11 年 3 月	附属看護専門学校閉校
平成 11 年 4 月	看護短期大学部に専攻科助産学専攻設置 附属病院感染症病棟 10 床設置により、全 880 床となる 附属病院事務部に電算室を設置
平成 13 年 3 月	附属病院感染症病棟（10 床）廃止により、全 870 床となる
平成 13 年 4 月	附属病院事務部を廃止し、事務局に病院第一課及び病院第二課を設置 オーダリングシステム（医療情報システム）全面稼働
平成 13 年 7 月	附属病院内に精神科救命医療情報センターを設置
平成 13 年 10 月	附属病院外来患者駐車場を有料化整備
平成 14 年 12 月	附属病院内に周産期医療センターを設置
平成 15 年 3 月	旧橿原伝染病棟敷地を橿原市より買収
平成 15 年 4 月	病理学第一講座を病理診断学講座に変更し臨床医学へ移行 病理学第二講座を病理病態学講座に変更 事務局病院第一課に課内室（医療情報システム室）を設置 事務局病院第二課に医療安全管理部門を設置
平成 15 年 9 月	附属病院内の救命救急センターを高度救命救急センターに変更 附属病院玄関前整備工事竣工
平成 15 年 10 月	附属病院内に感染症センターを設置 附属病院 C 棟（19,563.23 m ² ）及びエネルギーセンター（二期 306.96 m ² ）竣工
平成 16 年 3 月	臨床研修病院の指定
平成 16 年 4 月	医学部看護学科を開設、看護短期大学部看護学科の募集停止 大学院医学研究科を 3 専攻 7 領域に再編・整備 教育開発センターを設置 先端医学研究機構を設置（総合研究施設部を移管） 附属がんセンターの廃止（平成 16 年 3 月）に伴い、腫瘍病理学分野を分子病理学講座に、腫瘍放射線 医学分野を放射線腫瘍医学講座に変更 外科学第一講座を消化器・総合外科学講座に、外科学第二講座を脳神経外科学講座に、外科学第三講座 を胸部・心臓血管外科学講座に、総合医療・病態検査学講座を総合医療学講座に変更 附属病院内の中央内視鏡部と超音波診断室を統合し中央内視鏡・超音波部に変更 附属病院給食部を設置 事務局の再編により、総務課研究支援室、学務課、病院経営課、病院管理課を設置
平成 16 年 6 月	附属病院 C 棟完全供用開始により全 900 床となる
平成 16 年 8 月	旧大和平野土地改良区事務所敷地（704.13 m ² ・四条町 583）及び建物（1,158.67 m ² ）を買収
平成 16 年 12 月	附属病院定位放射線治療施設（ノバリス）（130.13 m ² 増築）竣工
平成 17 年 1 月	先端医学研究機構の研究単位として医療情報学分野を開設 地域がん診療拠点病院の指定

平成 17 年 3 月	附属病院定位放射線治療施設（ノバリス）供用開始 厳樫会館改築竣工（1,117.49 m ² ）
平成 17 年 4 月	事務局に総務課法人化準備室を設置 旧樫原伝染病棟（932.00 m ² ）を解体 女性専用外来開設
平成 17 年 5 月	厳樫会館供用開始 開学 60 周年記念式典挙行
平成 18 年 4 月	住居医学講座（寄附講座）を設置 衛生学講座を地域健康医学講座に、公衆衛生学講座を健康政策医学講座に変更 附属病院内に医療安全推進室を設置 給食部の名称を栄養管理部に変更 MD プログラム奈良 2006 を開始
平成 18 年 5 月	先端医学研究機構の研究単位として生命システム医科学分野を設置
平成 18 年 7 月	セカンドオピニオン外来開設 遺伝カウンセリング外来開設 精神医療センター（5,270.35 m ² ）竣工
平成 18 年 11 月	精神医療センター供用開始により全 930 床となる
平成 19 年 3 月	看護短期大学部開学 大学機関別認証評価（1 巡目）「適合」認定
平成 19 年 4 月	地方独立行政法人「公立大学法人奈良県立医科大学」へ移行 第 1 期中期計画（平成 19 ～ 24 年度）開始 事務局を法人企画部（総務課、財務企画課、財務企画課研究推進室、財産管理課、学務課）、病院経営部（経営企画課、経営企画課情報企画室、医療サービス課、病院管理課）に再編 附属病院内に遺伝カウンセリング室、外来化学療法室、地域医療連携室、臨床研修センターを設置 附属病院開設許可病床数 980 床 総合医療情報システム（電子カルテシステム）運用開始
平成 19 年 11 月	医療安全推進室内に医療技術トレーニングルームを設置
平成 20 年 2 月	先端医学研究機構の研究単位として生命システム医科学分野循環器システム医科学を開設 （循環器システム医科学の開設に合わせ、従来の生命システム医科学分野を生命システム医科学分野脳神経システム医科学と呼称） 都道府県がん診療連携拠点病院指定
平成 20 年 3 月	附属図書館に闘病記文庫を設置
平成 20 年 4 月	大学院医学研究科修士課程（医科学専攻）設置 推薦選抜試験（緊急医師確保特別入学試験）の実施により医学科の入学定員を 95 人から 100 人に変更 敷地内全面禁煙を実施 耳鼻咽喉科学講座を耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座に変更 看護学科領域の新設及び名称変更（臨床病態医学、人間発達学） 附属病院内に感染制御内科外来を設置（22 診療科となる） 附属病院中央診療施設名称の変更（腫瘍センター、医療情報部） 課内室を再編（研究推進室は研究推進課として財務企画課より独立。情報企画室を廃止、経営企画課に併合） 文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム（教育 GP）」として「地域に教育の場を拡大した包括的教育の取組」（H20 ～ H22）が採択
平成 20 年 5 月	附属病院内に総合周産期母子医療センターを設置
平成 21 年 3 月	大学内 30 箇所に無線 LAN アクセスポイントを敷設
平成 21 年 4 月	医学科の入学定員を 100 人から 105 人に変更 国際交流センターを設置 血栓制御医学講座（寄附講座）を設置 大学知的財産アドバイザーの設置（受入）
平成 21 年 5 月	附属病院内に緩和ケア外来を設置
平成 21 年 6 月	附属病院夜間救急玄関改修工事竣工 （総合相談窓口を設置 入退院・救急窓口を移設）
平成 21 年 10 月	附属病院内に緩和ケアセンターを設置 附属病院全診療科において初診紹介患者の予約診療を開始
平成 21 年 11 月	機関リポジトリ GINMU（ジンム：Global Institutional Repository of Nara Medical University）を公開 附属病院内に助産師外来を設置
平成 22 年 4 月	医学科の入学定員を 105 人から 113 人に変更 血圧制御学講座（寄附講座）を設置 附属病院の一般病棟に看護職員を 7：1 配置 附属病院内に治験センターと移植細胞培養センターを設置 地域基盤型医療教育コースを設置
平成 22 年 10 月	奈良県と「医師配置システム構築のための地域医療学講座の設置に関する協定」を締結し、地域医療学講座を設置 附属病院内にリウマチ外来、化学療法外来を設置
平成 22 年 11 月	附属病院開設許可病床数 978 床（D 棟 2 階改修）
平成 22 年 12 月	附属病院内に小児センター及びメディカルバースセンターを設置
平成 23 年 1 月	附属病院内に乳腺外科外来を設置
平成 23 年 2 月	女性研究者支援センターを設置
平成 23 年 4 月	監査室、健康管理センター、産学官連携推進センターを設置 寄生虫学講座を病原体・感染防御医学講座に変更 人工関節・骨軟骨再生医学講座（寄附講座）を設置 広域大学知的財産アドバイザーの設置（受入） 附属病院内にペインセンター、リウマチセンター及び糖尿病センター並びに医療技術センターを設置 病院経営部医療サービス課内に医療相談室を設置 授業料減免制度の創設
平成 23 年 5 月	附属病院内に糖尿病外来を設置 病院機能評価（Ver6.0）の認定を取得

平成 23 年 6 月	地域医療総合支援センターを奈良県とともに設置
平成 24 年 4 月	広報室を設置 「なかよし保育園」を建て替え、規模を拡大（定員 16 名→60 名）し、法人の組織として設置 地域看護学を公衆衛生看護学に変更 看護学科の入学定員を 80 人から 85 人に変更 大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）を設置 医学科に研究医養成コースを設置し、2 年次編入学定員を 2 名増員 附属病院内に形成外科センターを設置 Web メールシステム運用開始 学務課を教育支援課に改称
平成 24 年 6 月	研究者情報データベース運用開始
平成 24 年 8 月	教育研修棟に自習室（18 室約 180 人利用）を設置
平成 25 年 2 月	総合医療情報システムハードウェア更新
平成 25 年 4 月	第 2 期中期計画（平成 25 ～ 30 年度）開始 危機管理室、医療メディエーション室を設置 法人特命企画官の設置 スポーツ医学講座（寄附講座）を設置 老年看護学Ⅱ分野を設置 教務事務システム運用開始
平成 25 年 6 月	研究推進戦略本部を設置 特別共同研究助成事業及び若手研究者研究助成事業の創設
平成 25 年 8 月	認知症疾患医療センター（基幹型）の指定
平成 25 年 10 月	糖尿病学講座、県費奨学生配置センターを設置 附属病院内に先天性心疾患センターを設置 看護師宿舎をスキルスラボ棟に改修
平成 25 年 11 月	附属病院 E 棟（一期 4586.78 m ² ）竣工
平成 26 年 1 月	大和漢方医学薬学センターを設置 県民健康増進支援センターを設置
平成 26 年 3 月	大学機関別認証評価（2 巡目）「適合」認定
平成 26 年 4 月	基本構想策定局、県立医大医師派遣センター、看護実践・キャリア支援センターを設置 法人企画部財産管理課内にエネルギーセンターを設置 細菌学講座を微生物感染症学講座に名称変更 免疫学講座を設置 医療メディエーション室を患者・家族支援室に名称変更
平成 26 年 5 月	附属病院内に周術期管理センターを設置
平成 26 年 7 月	附属病院内に IVR センターを設置
平成 26 年 10 月	看護学科開設 10 周年記念式典举行
平成 26 年 12 月	附属病院内に入退院管理センターを設置 形成外科センターを形成外科に変更 リハビリテーション部をリハビリテーション科に変更
平成 27 年 2 月	職員証の発行を開始
平成 27 年 4 月	公立大学法人奈良県立医科大学未来への飛躍基金を設置 法人企画部に人事課を設置 基本構想策定局をキャンパス整備推進局に改組 なかよし保育園の定員を見直し（60 名→90 名）、運営を民間委託に移行 血友病治療・病態解析学講座（寄附講座）を設置
平成 27 年 4 月	血栓制御医学講座（寄附講座）の設置期間を 2 年延長 医学科、看護学科の一般教育組織を廃止し、医学部に教養教育部門を設置 看護学科に在宅看護学を設置 附属病院内に病理診断科、感染管理室を設置 教養教育部門に学科目臨床英語を設置（学科目英語を廃止）
平成 27 年 5 月	開学 70 周年記念式典举行
平成 27 年 7 月	手の外科講座（寄附講座）を設置 納品検収センター設置 附属病院内に臨床研究センターを設置
平成 27 年 9 月	附属病院の土日 ER 診療開始
平成 27 年 10 月	附属病院の心臓血管外科・呼吸器外科を組織変更し、心臓血管外科と呼吸器外科を設置 治験センターを廃止
平成 28 年 1 月	附属病院内に玉井進記念四肢外傷センターを設置
平成 28 年 4 月	医学科に医学科長を設置 大学院医学研究科に医学研究科長を設置 大学院看護学研究科に看護学研究科長を設置 法人企画部財産管理課及び財産管理課エネルギーセンターを廃止し、法人企画部施設管理室を設置 キャンパス整備推進局を総合企画局に改組し、同局内に総合企画室を設置 法人企画部財務企画課を財務会計課に名称変更 公立大学法人奈良県立医科大学学外有識者委員会を設置 「奈良県立医科大学教育改革 2015」に基づく新カリキュラム導入 血圧制御学講座（寄附講座）の設置期間を 2 年延長 附属病院内に総合画像診断センターを設置 附属病院中央内視鏡・超音波部を中央内視鏡部に名称変更
平成 28 年 5 月	附属病院内にめまいセンターを設置 附属病院耳鼻咽喉科・甲状腺外科から耳鼻咽喉・頭頸部外科に名称変更
平成 28 年 6 月	MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所を設置
平成 28 年 9 月	附属病院 E 棟竣工（21,162.49 m ² ）

平成 28 年 10 月	附属病院 E 棟供用開始 附属病院に高度外科技術センターを設置 地域健康医学講座を疫学・予防医学講座に名称変更 健康政策医学講座を公衆衛生学講座に名称変更
平成 29 年 1 月	附属病院に認知症センターを設置 阪奈中央病院にスポーツ医学研究センターを設置
平成 29 年 4 月	「奈良県立医科大学の将来像」を策定し、「建学の精神」及び「奈良県立医科大学の教育、研究、診療及び法人運営の理念と方針」を制定 法人のシンボルマーク及びイメージキャラクターを制定 人工関節・骨軟骨再生医学講座（寄附講座）の設置期間を 3 年延長 教養教育部門に学科目未来基礎医学を設置
平成 29 年 10 月	生体分子不均衡制御学共同研究講座を設置 附属病院内に脳卒中センターを設置
平成 29 年 11 月	今井町ゲストハウス開所
平成 30 年 1 月	内科学第一講座を分割し循環器内科学講座と腎臓内科学講座を設置 附属病院循環器・腎臓・代謝内科を組織変更し、循環器内科と腎臓内科を設置
平成 30 年 2 月	附属病院 B・C 棟屋上ヘリポート竣工
平成 30 年 3 月	医学教育分野別評価「適合」認定（認定期間 平成 29 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）
平成 30 年 4 月	総合企画局を廃止し、法人企画部にキャンパス整備推進室を設置 法人企画部財務会計課を財務企画課に名称変更 血友病教育講座（寄附講座）を設置 血栓止血分子病態学講座（寄附講座）を設置 血栓止血医薬生物学共同研究講座を設置 内科学第二講座を呼吸器内科学講座に名称変更 大学院看護学研究科に高度実践コース（高度実践看護師教育課程及び周麻酔期看護師教育課程）を設置 社会医療法人高済会高井病院に陽子線がん治療研究センターを設置 血栓止血研究センターを設置 IVR 研究センターを設置 附属病院ががんゲノム医療連携病院に指定
平成 30 年 7 月	神経内科学講座を脳神経内科学講座に名称変更 附属病院神経内科を脳神経内科に名称変更
平成 30 年 9 月	発生・再生医学講座を設置
平成 30 年 10 月	MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所タカトリラボを開設 なかよし保育園の定員を 90 名から 150 名に変更
平成 30 年 11 月	橿原市及び富士通株式会社等と妊娠期・子育て支援サービスの有用性を検討するための実証実験に関する覚書を締結 附属病院入退院管理センターを入退院支援センターに名称変更 附属病院内に乳腺センターを設置
平成 31 年 2 月	V-iCliniX 講座（寄附講座）を設置 附属病院入退院支援センターと地域医療連携室を統合し、入退院等支援部を設置
平成 31 年 3 月	大学院医学研究科（博士課程）にミシガン大学評議会との学術科学連携に関する基本合意書に基づく NM コースを設置 クラウド型グループウェア Microsoft365 導入
平成 31 年 4 月	第 3 期中期計画（平成 31 年～令和 6 年度）開始 総務課情報推進係と経営企画課情報企画係を統合し、事務局に情報推進室を設置
平成 31 年 4 月	医療サービス課医療相談室を医療相談室に組織改正 地域医療支援・教育学講座（寄附講座）を設置 骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座（寄附講座）を設置 医師・患者関係学講座を設置 血栓止血先端医学講座を設置 医学部看護学科の成人看護学を分割し、成人急性期看護学と成人慢性期看護学を設置 女性研究者支援センターを女性研究者・医師支援センターに名称変更 スポーツ医学講座（寄附講座）の設置期間を 6 年延長 附属病院の放射線科（画像診断・IVR）を放射線・核医学科に名称変更 附属病院の放射線治療・核医学科を放射線治療科に名称変更 附属病院内に生命倫理監理室を設置 附属病院が奈良県難病診療連携拠点病院に指定 附属病院が奈良県アレルギー疾患医療拠点病院に指定
令和 元年 5 月	総合医療情報システム全面更新
令和 元年 10 月	医学部医学科の内科学第三講座を消化器内科学講座に名称変更 医学部医学科に糖尿病・内分泌内科学講座を設置
令和 2 年 3 月	先端医学研究機構を廃止 附属病院が災害拠点精神科病院に指定
令和 2 年 4 月	法人企画部広報室を秘書・広報室に名称変更 施設管理室とキャンパス整備推進室を統合し、法人企画部に新キャンパス・施設マネジメント課を設置 病院経営部に医療職事務支援室を設置 先端医学研究支援機構を設置し、研究力向上支援センター、医学研究支援センターを新設、産学官連携推進センターを移管 大学院医学研究科（博士課程）を 1 専攻 3 領域に再編・整備 大学院看護学研究科（修士課程）看護学コース高度実践コース（高度実践看護師教育課程）にがん看護分野を設置 前立腺小線源治療講座（寄附講座）を設置
令和 2 年 6 月	附属病院の消化器・内分泌代謝内科を組織変更し、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科を設置
令和 2 年 7 月	医学部医学科にリハビリテーション医学講座を設置
令和 2 年 8 月	医学教育分野別評価 認定期間延長（認定期間 平成 29 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）
令和 2 年 9 月	附属病院の糖尿病センターを廃止
令和 2 年 10 月	医学部医学科にがんゲノム・腫瘍内科学講座を設置 附属病院内に腫瘍内科を設置 附属病院の腫瘍センターを廃止
令和 3 年 3 月	大学機関別認証評価（3 巡目）「適合」認定

令和 3 年 4 月	法人に医療人育成機構を設置し、卒前の医師及び看護師教育育成部門、卒後の医師教育育成部門および卒後の看護師育成部門を新設 医学部医学科の放射線医学講座を放射線診断・IVR 学講座に名称変更 医学部教養教育部門の数学を臨床数学に名称変更 附属病院のリウマチセンターを廃止
令和 4 年 4 月	総務課と秘書・広報室を統合し、法人企画部に総務広報課を設置 附属病院の入退院等支援部に在宅医療支援センターを設置 附属病院の高度外科技術センターを高度治療技術センターに名称変更 附属病院の 24 時間 365 日 ER 診療開始
令和 4 年 7 月	附属病院で来院者向け公衆無線 LAN サービスの供用開始
令和 4 年 11 月	医学部医学科に血液内科学講座を設置 附属病院の呼吸器・アレルギー・血液内科を組織変更し、呼吸器・アレルギー内科と血液内科を設置
令和 5 年 1 月	附属病院のめまいセンターをめまい・難聴センターに名称変更
令和 5 年 3 月	前立腺小線源治療講座（寄附講座）の設置期間を 3 年延長 地域医療支援・教育学講座（寄附講座）の設置期間を 2 年延長
令和 5 年 4 月	医学部看護学科の基礎看護学を組織変更し、理論基礎看護学と実践基礎看護学を設置 附属病院に医療クラーク部を設置 附属病院入退院等支援部の地域医療連携室と入退院支援センターを統合し、地域連携・入退院支援センターを設置 附属病院ががんゲノム医療拠点病院に指定
令和 5 年 6 月	手の外科講座（寄附講座）の設置期間を 3 年延長
令和 5 年 10 月	医学部医学科に感染症内科学講座を設置 附属病院感染制御内科を感染症内科に名称変更 附属病院の感染症センターを廃止 附属病院に高度生殖医療センターを設置
令和 5 年 11 月	附属病院の医療安全推進室を医療の質・安全管理センターに名称変更
令和 6 年 3 月	血栓止血医薬生物学共同研究講座の設置期間を 2 年延長 血栓止血分子病態学（寄附講座）の設置期間を 3 年延長
令和 6 年 4 月	病院経営部医療職事務支援室を廃止し、法人企画部に職員厚生室を設置 分子動態創薬講座（共同研究講座）及び稀少性止血血栓異常症講座（共同研究講座）を設置 戦略的医療情報連携推進講座を設置 大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）を設置 大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）を大学院看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）に名称変更 オートファジー・抗老化研究センターを設置 社会医療法人平成記念会平成まほろば病院に奈良県立医科大学ロボット技術活用地域リハビリテーション研究センターを設置 附属病院にがん相談支援センターを設置 附属病院の生命倫理監理室を廃止
令和 6 年 7 月	附属病院に肝疾患相談センターを設置
令和 6 年 10 月	附属病院にリウマチセンターを設置
令和 6 年 11 月	畝傍山キャンパス竣工（115,627.12 m ² ）
令和 7 年 3 月	スポーツ医学講座（寄附講座）の設置期間を 1 年延長 骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座（寄附講座）の設置期間を 2 年延長 地域医療支援・教育学講座（寄附講座）の設置期間を 1 年延長 医学部教養教育部門の統計・情報学、臨床数学及びドイツ語を廃止 医学部医学科の病原体・感染防御医学講座を廃止 医師・患者関係学講座を廃止
令和 7 年 4 月	畝傍山キャンパス供用開始 公立大学法人奈良県立医科大学学歌を制定 第 4 期中期計画（令和 7 ～ 12 年度）開始 教育支援課内に畝傍山キャンパス事務室を設置 新キャンパス・施設マネジメント課を施設マネジメント課に名称変更 情報推進室を法人企画部情報推進課に組織変更 医学部教養教育部門の臨床英語を組織変更し、基礎医学英語と実践臨床英語を設置 医学部医学科に数理 AI 医学講座及び応用システム医科学講座を設置 止血異常育薬科学講座（共同研究講座）を設置 附属病院に看護師特定行為支援センターを設置
令和 7 年 5 月	開学 80 周年及び畝傍山キャンパスオープン記念式典挙行
令和 7 年 7 月	在宅リハビリテーション医療システム学講座（寄附講座）を設置
令和 7 年 9 月	附属病院に睡眠医療・呼吸管理センターを設置
令和 7 年 11 月	国際学術無線 LAN ローミング基盤 (eduroam) 接続開始
令和 7 年 12 月	AI システム医学融合イノベーションセンターを設置
令和 8 年 1 月	附属病院に小耳症 かたちと聞こえのセンターを設置
令和 8 年 3 月	開学 80 周年国際交流記念式典挙行 スポーツ医学講座（寄附講座）の設置期間を 1 年延長 地域医療支援・教育学講座（寄附講座）の設置期間を 2 年延長 前立腺小線源治療講座（寄附講座）の設置期間を 3 年延長 分子動態創薬共同研究講座の設置期間を 1 年延長
令和 8 年 4 月	附属病院に病院長補佐職を設置 病院経営部医療サービス課、医療相談室、患者・家族支援室を医事課と医療相談課に再編 附属病院の精神科を精神科・児童精神科に名称変更 附属病院の遺伝カウンセリング室を遺伝医療センターに名称変更 薬剤耐性制御学（寄附講座）を設置

2. 名称・位置

奈良県立医科大学（四条キャンパス）	奈良県橿原市四条町 840 番地
奈良県立医科大学（畝傍山キャンパス）	奈良県橿原市四条町 88 番地
奈良県立医科大学附属病院	奈良県橿原市四条町 840 番地
奈良県立医科大学附属図書館（畝傍山キャンパス）	奈良県橿原市四条町 88 番地

3. 施設

(1) 土地

R8. 5. 1 現在

四条 キャンパス 敷地	畝傍山 キャンパス 敷地	附属病院敷地	保育園 敷地	厳樞会館 敷地	ゲストハウス 敷地	第２・３・５ 駐車場 敷地	駐車場案内 看板設置用 敷地
m ² 51,067.46	m ² 115,627.12 グラウンド・ テニスコート敷地 19,245.70 を含む	m ² 48,973.52	m ² 1,335.61	m ² 704.13	m ² 132.23 (民間からの 借地)	m ² 3,144.32 (民間からの 借地)	m ² 1.00 (民間からの 借地)
小計 217,707.84 m ²					小計 3,277.55 m ²		
合計 220,985.39 m ²							

(2) 建物

R8. 5. 1 現在

四条キャンパス 敷地	畝傍山キャンパス 敷地	附属病院建物	保育園建物	厳橿会館建物	ゲストハウス建物
m ² 33,238.07	m ² 28,529.16	m ² 107,628.42	m ² 1,068.38	m ² 1,117.49	m ² 158.43
合計 171,739.95 m ²					

4. 公立大学法人奈良県立医科大学 組織機構図

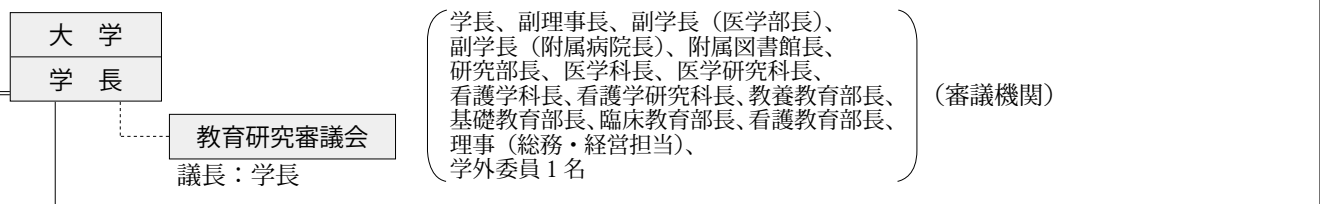
R8. 5. 1 現在

【法人運営組織】



【大学運営組織】

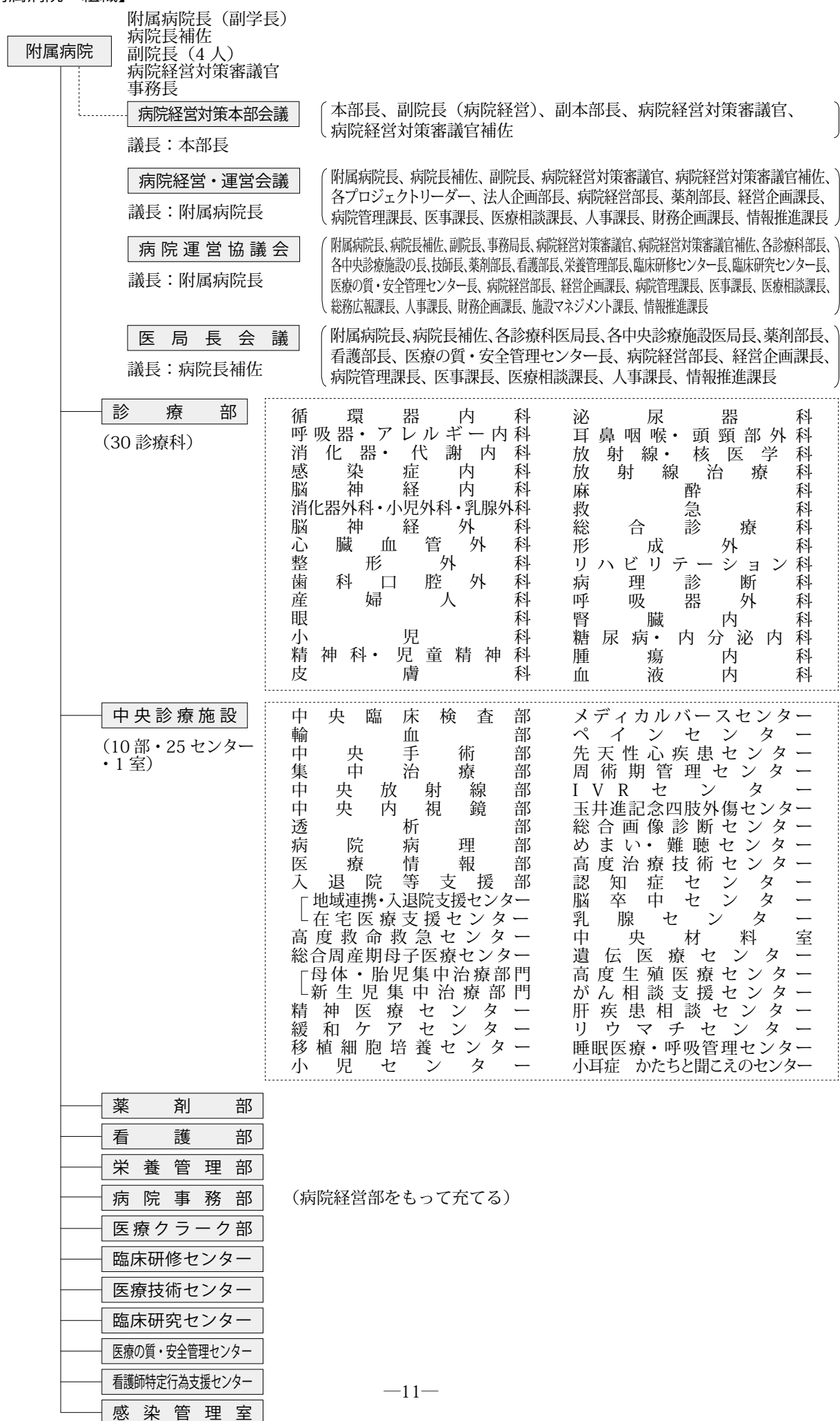
法人（大学）の意思決定



【大学：教育研究組織】



【附屬病院：組織】



5. 役 職 員

(1) 役職員名簿

法 人	人 員			
○役				
理 事 長		嶋 村	緑 倫	
副 理 事 長		木 村	茂 和	
理 事	(総務・経営担当)	西 橋	奈 穂	
事務局長(兼)				
理 事	(教育・研究担当)	堀 江	恭 二	
理 事	(医療担当)	吉 川	公 彦	
監 事		山 藤	敦 陽	
監 事				
○理事長・学長補佐				
理事長・学長補佐	(地域連携担当)	吉 治	仁 志	
理事長・学長補佐	(キャンパス企画担当)	川 口	昌 彦	
理事長・学長補佐	(渉外・企画担当)	笠 原	正 登	
理事長・学長補佐	(産学官連携担当)	細 川	洋 治	
○経営審議会委員				
理 事 長		嶋 村	緑 倫	
副 理 事 長		木 村	茂 和	
理 事	(総務・経営担当)	西 橋	奈 穂	
理 事	(教育・研究担当)	堀 江	恭 二	
理 事	(医療担当)	吉 川	公 彦	
学 外 委 員		大 大	畑 建	
学 外 委 員		川 副	浩 治	
学 外 委 員		本 間	敬 平	
学 外 委 員		松 村	理 之	
法 人 企 画 部				
法人企画部長		上 野	聡 富	
総務広報課長		古 川	義 浩	
人 事 課 長		小 池	浩 司	
職員厚生室長(兼)		小 池	浩 司	
財務企画課長心得		華 学	元 昌	
研究推進課長		石 田	西 國	
教育支援課長		小 日	浦 崎	
教育支援課岡山キャンパス事務室長		山 崎	木 正	
施設マネジメント課長				
情報推進課長		松 木		
病 院 経 営 部				
病院経営部長		上 本	昇 実	
経営企画課長		高 井	克 良	
病院管理課長		柏 原	直 亮	
医事課長心得		谷 村	泰 子	
医療相談課長		中 村	英 子	
危 機 管 理 室				
室 長(兼)		古 川	義 富	
監 査 室				
室 長		瀬 川	直 樹	
県立医大医師派遣センター				
センター長事務取扱		嶋 井	緑 倫	
副センター長(兼)		赤 元	靖 宏	
副センター長		岩 博	美 子	
県費奨学生配置センター				
センター長事務取扱		嶋 井	緑 倫	
副センター長(兼)		赤 元	靖 宏	
副センター長(兼)		岩 博	美 子	
県民健康増進支援センター				
センター長(兼)		嶋 佐	緑 倫	
マネージャー(兼)		伯 圭	吾 夫	

R8. 5. 1 現在

コーディネーター	特任教授	富 岡 公 子
健康管理センター		
センター長	病院教授	山 室 和 彦
看護実践・キャリア支援センター		
センター長(兼)		石 飛 悦 子
寄 附 講 座		
スポーツ医学	教授(寄附講座)	小 川 宗 宏
血栓止血分子病態学	教授(寄附講座)(兼)	野 上 恵 嗣
	講師(寄附講座)	下 西 成 人
地域医療支援・教育学	教授(寄附講座)(兼)	河 村 健 二
	講師(寄附講座)	川 崎 佐 智 子
骨軟部腫瘍制御・機能再建医学	教授(寄附講座)	朴 木 寛 弥
前立腺小線源治療	教授(寄附講座)	田 中 宣 道
	講師(寄附講座)(兼)	中 井 靖 靖
在宅リハビリテーション医療システム学	教授(寄附講座)(兼)	城 戸 顕
薬剤耐性制御学	准教授(寄附講座)	石 田 由 佳 子
	教授(寄附講座)(兼)	矢 野 寿 一
	講師(寄附講座)	堀 内 沙 央 里
共 同 研 究 講 座		
分子動態創薬	教授(共同研究講座)(兼)	杉 江 和 馬
稀少性止血血栓異常症	教授(共同研究講座)(兼)	野 上 恵 嗣
止血異常常薬科学	教授(共同研究講座)(兼)	野 上 恵 嗣
地 域 医 療 学 講 座		
地 域 医 療 学	教授(地域医療学講座)	赤 井 靖 宏
	准教授	周 藤 俊 治
戦略的医療情報連携推進講座		
戦略的医療情報連携推進	教授(戦略的医療情報連携推進講座)	玉 本 哲 郎
	講師(戦略的医療情報連携推進講座)	山 内 哲 司
医療人育成機構		
	機構長(兼)	堀 江 恭 二
卒前の医師及び看護師教育教育部門	部門長(兼)	若 月 幸 平
卒後の医師教育教育部門	部門長(兼)	赤 井 靖 宏
卒後の看護師教育教育部門	部門長(兼)	石 飛 悦 子
大 学		
学 長		嶋 村 緑 倫
副 学 長	(医学部長)	堀 江 恭 二
副 学 長	(附属病院長)	吉 川 公 彦
○教育研究審議会委員		
学 長		嶋 村 緑 倫
副 理 事 長		木 村 茂 和
副 学 長	(医学部長)	堀 江 恭 二
副 学 長	(附属病院長)	吉 川 恭 二
附属図書館長(兼)		堀 吉 江 栖 正 典
研 究 部 長		堀 吉 伊 藤 利 洋
医 学 科 長		吉 川 栖 正 典
医学研究科長(兼)		吉 川 上 正 典
看護学科長		川 上 正 典
看護学研究科長(兼)		川 上 正 典
教養教育部長		酒 井 伯 宏
基礎教育部長		佐 伯 宏 吾
臨床教育部長		坂 東 春 美
看護教育部長		坂 東 春 美
理 事	(総務・経営担当)	西 橋 奈 穂
学 外 委 員		池 田 康 夫

○部 局 長
 附属図書館長(兼)
 研究部 長
 医 学 科 長
 医学研究科長(兼)
 看護学 科長(兼)
 看護学研究科長(兼)
 教養教育部長
 基礎教育部長
 臨床教育部長
 看護教育部長

医 学 部
 教 養 教 育 部
 哲 理 学
 物 理 学
 化 学
 生 物 学
 基礎医学英語
 実践臨床英語
 保健体育
 未来基礎医学

医 学 科
 基 礎 医 学
 解 剖 学 第 一
 解 剖 学 第 二
 生 理 学 第 一
 生 理 学 第 二
 生 化 学
 微生物感染症学
 免 疫 学
 薬 理 学
 疫学・予防医学
 公衆衛生学
 法 医 学
 分子病理学
 発生・再生医学
 血栓止血先端医学
 数理AI医学

医 学 科
 臨 床 医 学
 循環器内科学
 教授
 准教授
 講師
 学内講師

堀吉伊古川酒佐庄坂
 江栖藤栖上上井伯東
 恭正利正あ宏圭雅春
 二典洋典ささ水吾之美

池藤高酒山松永小
 遑本木井本平
 Mathieson Paul
 Murray Claire Elizabeth
 Bolstad Francesco
 石森 宏通 英一朗

井堀服辰石齋眞堀坂中堀矢王中中伊北吉中京佐大田今次西粕工國谷栗辰野川
 上井部巳川藤部江野村川野寺野藤島栖平谷伯林井村橋岡田藤安 本巳島口
 浩謹剛晃達康寛恭公修 寿幸竜章利正正毅陽圭賢義知幸祐承弘里一公陽

彦尾西上
 惣上田田
 俊健友
 吾児卓哉

腎 臓 内 科 学
 呼 吸 器 内 科 学
 血 液 内 科 学
 感 染 症 内 科 学
 消 化 器 内 科 学
 糖尿病・内分泌内科学
 脳 神 經 内 科 学
 消化器・総合外科学
 脳 神 經 外 科 学
 胸部・心臓血管外科学
 整 形 外 科 学
 口 腔 外 科 学
 産 婦 人 科 学
 眼 科 学
 小 児 科 学
 精 神 医 学
 皮 膚 科 学
 泌 尿 器 科 学

中鶴江里松室甲山谷松久笠今吉鍛西北佐辻藤高杉形桐江小庄安井横長中朴西竹木横金細山濱川阿河重藤内井黒塚野山柳木川前山加西辻野荻石石長榊岡山高新正三
 川屋口井 斐本村本保原北治治村川藤 永橋江岡山浦林 田上谷井川 村島次山 野岸路口部村松井原上川本上川生村口川田瀬 中上原川原川原田内田熊島宅
 和雅 繁吉佳和雅政 菜津 仁孝典 慎裕幸 和博敬信正雅里 倫美奈 一永文靖将昇泰光正政剛毅健英宏好和紘真晋之宏裕則二亮紀論智生嗣一朗卓理文俊平悟夏人
 仁彦裕勝郎史哉則之敬子志祐久洸哉樹久裕馬史生之樹之司隆世子郎銖彦浩史平均治明嗣史寿二樹真信也章治介宏裕則二亮紀論智生嗣一朗卓理文俊平悟夏人

総合周産期母子医療センター	センター長（兼）	吉木	川村	公文	彦則
	副センター長（兼）	内田	村田	文優	則美
	副センター長 病院教授	釜本	田本	智美	子之
	講師	岡田	本田		
精神医療センター	センター長（兼）	岡田	田本		俊之
緩和ケアセンター	センター長 准教授	西尾	福本	英雅	之則
移植細胞培養センター	センター長（兼）	松野	本上	恵嗣	
小児センター	センター長（兼）	松野	上尾	昌伍	
	副センター長（兼）	洲木	尾村	昌文	則彦
メディカルバスセンター	センター長（兼）	木川	村口	昌恵	介明
ペインセンター	センター長（兼）	川渡	邊岸		
	副センター長 病院教授	山福	場口	正彦	平彦
先天性心疾患センター	センター長（兼）	福川	川中	利成	
	副センター長（兼）	田市	橋田		卓郎
玉井進記念四肢外傷センター	副センター長（兼）	西中	田川	一健	
	副センター長（兼）	河前	村川	尚輝	二宜
	副センター長 病院教授	宮坂	越智		
総合画像診断センター	センター長 准教授	北西	原村		忠己
	講師	吉岡	川田	和俊	馬和
めまい・難聴センター	センター長（兼）	杉中	江川	和一	郎
	副センター長 病院教授	斎藤	藤田	こず	え
高度治療技術センター	副センター長（兼）	山庄	堀口	修雅	一之
	病院教授	赤川	堀口	宇昌	広彦
乳腺センター	センター長（兼）	杉野	江上	昌恵	馬嗣
中央材料室	室長（兼）	木村	村田	文真	則幸
	副センター長（兼）	武吉	田本	清良	巳太
遺伝医療センター	副センター長 学内講師	原森		貴仁	義志
	副センター長 病院教授	森浪	治崎		
肝疾患相談センター	センター長（兼）	山本	内本	基佳	正雄
	副センター長 特任准教授	山北	原上		
睡眠医療・呼吸管理センター	センター長（兼）	野新	熊田	恵和	史紀
	副センター長（兼）	池谷	田田		嗣悟
薬 剤 部	副センター長（兼）	谷治	田田		之彩
	部長	松井	井飛	匡俊	平典
	薬剤部副部長	石中	村口	悦由	子美
	薬剤部副部長心得	南浅	浦西	淳子	寿
看 護 部	薬剤部副部長心得	小藤	川田	ゆかり	かり
	看護部長	吉井	井西	哲幸	平男
	看護副部長	赤仲	井西	公靖	彦宏
	看護副部長	岡田	田川	康定	顕規
栄 養 管 理 部	看護副部長	吉小	川西	公康	彦司
	看護副部長	北三	村浦	哲晃	郎裕
	部長 病院教授	笠原	原田	正登	裕登
	部長（兼）	笠原	田藤		潔
医療クラーク部	看護副部長	伊藤			雪
	看護副部長				
臨床研修センター	看護副部長				
	看護副部長				
医療技術センター	看護副部長				
	看護副部長				
臨床研究センター	看護副部長				
	看護副部長				
	看護副部長				
	看護副部長				

講師 講師 特任講師	武倉井川口昌彦	内上昌彦	治弘	郎幸隆
医療の質・安全管理センター	センター長（兼）			
副センター長 准教授	西和田			忠二
副センター長（兼）	恵川口井飛原			淳昌靖悦
看護師特定行為支援センター	センター長（兼） 副センター長（兼） 副センター長（兼）			彦宏子敬
感 染 管 理 室	室長（兼）			
先端医学研究支援機構				
機構長（兼）	吉栖正典			
研究力向上支援センター	センター長（兼） ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター	吉栖上村富田中昌一栗杉菓金子米吉栖梅細	正典陽一郎英子基樹郎輔弘典	
医学研究支援センター	センター長（兼） 特任教授 准教授 准教授			
産 学 官 連 携 推 進 セ ン タ ー	センター長（兼） 研究教授 MBT担当教授			
セ ン タ ー				
教育開発センター	教育教授	若城吉岡	月戸井本	幸平楓美和子
セ ン タ ー 長	講師 講師 特任講師			
国際交流センター	センター長（兼）		伊藤利洋	
女性研究者・医師支援センター	センター長 教育教授		須崎康恵	
MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所	所長事務取扱 副所長（兼） 副所長（兼）	嶋細梅	緑川智	倫治広
スポーツ医学研究センター	センター長（兼）		堀江恭二	
陽子線がん治療研究センター	センター長（兼）		堀江恭二	
大和漢方医学薬学センター	センター長事務取扱 特 任 准 教 授	嶋岡安	緑安	倫唯
血栓止血研究センター	センター長（兼）		野上恵嗣	
IVR 研究センター	センター長（兼）		田中利洋	
オートファジー・抗老化研究センター	センター長（兼） 副センター長（兼） 講師	中杉井	村江本	修馬ひとみ

(2) 大学院研究指導教員名簿

医学研究科
博士課程

R8.5.1 現在

専 攻	主 科 目	研 究 指 導 教 員
医科学	疫 公 衆 衛 生 学	佐伯 圭吾・大林 賢史
	法 医 科 学	今村 知明・次橋 幸男
	M B T 学	粕田 承吾
	梅田 智広	
	医療情報・病院管理学	玉本 哲郎・水流 聡子・井上 貴裕
	生 体 高 分 子 学	酒井 宏水・山本 惠三・松平 崇
	分 子・細 胞 動 態 学	永淵 昭良・小林千余子
	相 分 離 生 物 学	森 英一朗
	分 子 生 体 構 造 科 学	井上 浩一・堀井 謹子
	機 能 形 態 学	服部 剛志・辰巳 晃子・石川 達也
	脳 神 經 生 理 学	齋藤 康彦・眞部 寛之
	生 体 機 能 制 御 機 構 学	堀江 恭二・坂野 公彦
	老 化 生 物 学	中村 修平・井本ひとみ・堀川 誠
	生 体 防 御・修 復 医 学	王寺 幸輝
	微 生 物 学	矢野 寿一・中野 竜一・中野 章代・堀内沙央里
	免 疫 学	伊藤 利洋・北畠 正大
	情 報 伝 達 薬 理 学	吉栖 正典・中平 毅一
	分 子 腫 瘍 病 理 学	國安 弘基・谷 里奈
	発 生・再 生 医 学	栗本 一基
	血 栓 止 血 先 端 医 学	辰巳 公平
	応 用 医 学・医 療 学	吉栖 正典・菓子野元郎・金子 涼輔・米田 明弘
	循 環 器 シ ス テ ム 医 科 学	小亀 浩市・中川 修
	循 環 器 病 態 制 御 医 学	彦惣 俊吾
	腎 臓 病 態 制 御 医 学	鶴屋 和彦・江理口雅裕・松井 勝
	呼 吸 器 病 態 制 御 医 学	室 繁郎・山内 基雄・藤田 幸男・山本 佳史・谷村 和哉・甲斐 吉郎
	血 液 病 態 制 御 医 学	松本 雅則・久保 政之
	消化器病態・代謝機能制御医学	吉治 仁志・美登路 昭・浪崎 正・鍛治 孝祐
	糖 尿 病・内 分 泌 内 科 学	高橋 裕・岡田 定規
	臨 床 神 經 筋 病 態 学	杉江 和馬・形岡 博史・桐山 敬生・斎藤こずえ・江浦 信之
	消 化 器 機 能 制 御 医 学	庄 雅之・小山 文一・赤堀 宇広・安田 里司
	脳 神 經 機 能 制 御 医 学	中川 一郎・朴 永銖・西村 文彦・山田 修一・竹島 靖浩
	循 環・呼 吸 機 能 制 御 医 学	細野 光治・濱路 政嗣
	運 動 器 再 建 医 学	河村 健二・朴木 寛弥・城戸 顕・稲垣 有佐・小川 宗宏・重松 英樹・藤井 宏真・石田由佳子
	ス ポ ー ツ 医 科 学	河村 健二・小川 宗宏
	女性生殖器病態制御医学	木村 文則・川口 龍二・前川 亮
	視 覚 統 合 医 学	加瀬 諭・西 智・辻中 大生
	発 達・成 育 医 学	野上 恵嗣・荻原 建一
	発 生・発 達 医 学	内田優美子
	精神医学行動神経科学	岡田 俊・山内 崇平・山室 和彦・高田 涼平
	皮 膚 病 態 医 学	新熊 悟・桑原 理充
	泌尿器病態機能制御医学	田中 宣道・米田 龍生・三宅 牧人・中井 靖・後藤 大輔
	前 立 腺 小 線 源 治 療 学	田中 宣道・中井 靖
	耳鼻咽喉・頭頸部機能制御医学	北原 紘・上村 裕和・西村 忠己
	画像診断・低侵襲治療学	田中 利洋・西尾福英之・市橋 成夫
	放 射 線 腫 瘍 学	磯橋 文明・玉本 哲郎
	侵襲制御・生体管理医学	川口 昌彦・林 浩伸・恵川 淳二・内藤 祐介・田中 暢洋
	臨 床 神 經 モ ニ タ ー 学	川口 昌彦・中川 一郎・林 浩伸・重松 英樹
	総 合 臨 床 病 態 学	吉本 清巳・矢田 憲孝・大野 史郎・森田 貴義
	口腔・顎顔面機能制御医学	野上晋之介・山川 延宏・柳生 貴裕
	救 急 病 態 制 御 医 学	福島 英賢
	病 理 診 断 学	吉澤 明彦・内山 智子
	腫 瘍 薬 物 治 療 学	武田 真幸
	リハビリテーション医学	城戸 顕・稲垣 有佐・石田由佳子
	臨 床 検 査 医 学	田中 裕滋・水野 麗子
	血液・血流機能再建医学	松本 雅則・酒井 和哉
	感 染 病 態 制 御 医 学	笠原 敬・今北菜津子
	臨 床 実 証 医 学	笠原 正登・浅田 潔・倉上 弘幸・武内 治郎
	先端画像下治療開発応用学	穴井 洋
	陽 子 線 腫 瘍 学	吉村 均
	医 療 セ ン シ ン グ 学	山本 貢平・児玉 秀和

専 攻	主 科 目	研 究 指 導 教 員
医科学	疫 公 衆 衛 生 学	佐伯 圭吾・大林 賢史
	医 療 経 営 学	今村 知明・次橋 幸男
	医 療 教 育 学	今村 知明・次橋 幸男
	M B T 学	若月 幸平・城戸 楓・岡本左和子
	医 療 情 報・病 院 管 理 学	梅田 智広
	高 分 子 医 化 学	玉本 哲郎・水流 聡子・井上 貴裕
	分 子・細 胞 動 態 学	酒井 宏水・山本 惠三・松平 崇
	相 分 離 生 物 学	永渕 昭良・小林千余子
	分 子 生 体 構 造 科 学	森 英一朗
	機 能 形 態 学	井上 浩一・堀井 謹子
	脳 神 經 生 理 学	服部 剛志・辰巳 晃子・石川 達也
	生 体 機 能 制 御 機 構 学	齋藤 康彦・眞部 寛之
	老 化 生 物 学	堀江 恭二・板野 公彦
	微 生 物 学	中村 修平・井本ひとみ・堀川 誠
	感 染 免 疫 学	矢野 寿一・中野 竜一・中野 章代・堀内沙央里
	情 報 伝 達 薬 理 学	伊藤 利洋・北畠 正大
	分 子 腫 瘍 病 理 学	吉栖 正典・中平 毅一
	発 生・再 生 医 学	國安 弘基・谷 里奈
	血 栓 止 血 先 端 医 学	栗本 一基
	応 用 医 学・医 療 学	辰巳 公平
	循 環 器 シ ス テ ム 医 科 学	吉栖 正典・菓子野元郎・金子 涼輔・米田 明弘
	循 環 器 病 態 制 御 医 学	小亀 浩市・中川 修
	腎 臓 病 態 制 御 医 学	彦惣 俊吾
	呼 吸 器 病 態 制 御 医 学	鶴屋 和彦・江里口雅裕・松井 勝
	血 液 病 態 制 御 医 学	室 繁郎・山内 基雄・藤田 幸男・山本 佳史・谷村和哉・吉郎
	脳 神 經 機 能 制 御 医 学	松本 雅則・久保 政之
	循 環・呼 吸 機 能 制 御 医 学	中川 一郎・西村 文彦・朴 永銖
	運 動 器 再 建 医 学	細野 光治・濱路 政嗣
	ス ポ ー ツ 医 科 学	河村 健二・朴木 寛弥・城戸 顕・稲垣 有佐・小川 宗宏・重松 英樹・藤井 宏真・石田由佳子
	小 児 病 態 制 御 医 学	河村 健二・小川 宗宏
	発 生・発 達 医 学	野上 恵嗣・荻原 建一
	皮 膚 病 態 医 学	内田優美子
	画 像 診 断・低 侵 襲 治 療 学	新熊 悟・桑原 理充
	放 射 線 腫 瘍 学	田中 利洋・西尾福英之・市橋 成夫
	侵 襲 制 御・生 体 管 理 医 学	磯橋 文明・玉本 哲郎
	臨 床 神 經 モ ニ タ ー 学	川口 昌彦・林 浩伸・惠川 淳二・内藤 祐介・田中 暢洋
	口 腔・顎 顔 面 機 能 制 御 医 学	川口 昌彦・中川 一郎・林 浩伸・重松 英樹
	病 理 診 断 学	野上晋之介・山川 延宏・柳生 貴裕
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 学	吉澤 明彦・内山 智子
	臨 床 検 査 医 学	城戸 顕・稲垣 有佐・石田由佳子
	血 液・血 流 機 能 再 建 医 学	田中 裕滋・水野 麗子
	臨 床 実 証 医 学	松本 雅則・酒井 和哉
	先 端 画 像 下 治 療 開 発 応 用 学	笠原 正登・浅田 潔・倉上 弘幸・武内 治郎
	陽 子 線 腫 瘍 学	穴井 洋
		吉村 均

看護学研究科

博士後期課程

専 攻	主 科 目	研 究 指 導 教 員
看護学	生 涯 発 達 看 護 学 分 野	川上 あずさ・太田 豊作・澤見 一枝・五十嵐 稔子・奥田 淳
	療 養・生 活 支 援 看 護 学 分 野	石澤 美保子・山内 基雄・松田 明子・小竹 久実子

博士前期課程

専 攻	主 科 目	研 究 指 導 教 員
看護学	健 康 科 学	(心と脳の発達学) 太田 豊作・(睡眠学) 山内 基雄
	薬 理 と 看 護 学	松田 明子
	実 践 基 礎 看 護 学	升田 茂章
	看 護 実 践 応 用 学	石澤 美保子
	高 齢 者 看 護 学	澤見 一枝
	小 児 看 護 学	川上 あずさ
	女 性 健 康・助 産 学	(女性健康学) 五十嵐 稔子・(周産期看護学) 五十嵐 稔子
	精 神 看 護 学	奥田 淳
	在 宅 看 護 学	小竹 久実子
	公 衆 衛 生 看 護 学	坂東 春美
	周 麻 酔 期 看 護 学	川口 昌彦

6. 職員構成

(1) 役職員数

R8. 5. 1 現在

	学長等	教授	准教授	講師	学内講師	助教	小計	事務	技術	看護	教務	小計	総計
役員	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
小計	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
教養教育	0	3	6	4	0	2	15	0	0	0	0	0	15
基礎医学教育	0	13	9	8	2	18	50	0	1	0	7	8	58
臨床医学教育	0	27	22	40	21	96	206	0	0	0	0	0	206
小計	0	43	37	52	23	116	271	0	1	0	7	8	279
看護学教育	0	12	4	11	0	10	37	0	0	0	0	0	37
小計	0	12	4	11	0	10	37	0	0	0	0	0	37
法人企画部	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
監査室	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
危機管理室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総務広報課	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	5
人事課	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15	15
職員厚生室	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7	7
財務企画課	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10	10
研究推進課	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15	15
教育支援課	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	1	10	10
岐阜山キャンパス事務室	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	11	11
施設マネジメント課	0	0	0	0	0	0	0	10	14	0	0	24	24
情報推進課	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	9	9
小計	0	0	0	0	0	0	0	93	15	0	1	109	109
病院経営部	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
経営企画課	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8	8
病院管理課	0	0	0	0	0	0	0	15	3	0	0	18	18
医事課	0	0	0	0	0	0	0	22	1	0	0	23	23
医療相談課	0	0	0	0	0	0	0	8	3	1	0	12	12
小計	0	0	0	0	0	0	0	54	7	1	0	62	62
県立医大医師派遣センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
県費奨学生配置センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県民健康増進支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康管理センター	0	0	1	0	0	1	2	0	0	3	0	3	5
看護実践・キャリア支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3
スポーツ医学講座	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
血栓止血分子病態学講座	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
地域医療学講座	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
地域医療支援・教育学講座	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
前立腺小線源治療講座	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
分子動態創薬共同研究講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稀少性止血血球異常症共同研究講座	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
止血異常骨科学共同研究講座	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
寄附講座在宅リハビリテーション医療システム学講座	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
寄附講座薬剤耐性制御学講座	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
戦略的医療情報連携推進講座	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2
教育開発センター	0	0	1	2	0	0	3	0	0	0	0	0	3
国際交流センター	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
MBT研究所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ医学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性研究者・医師支援センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
大和漢方医学薬学センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血栓止血研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IVR研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先端医学研究支援機構	0	0	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
オートファジー・抗老化研究センター	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
腸子線がん治療研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロボット技術活用地域リハビリテーション研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	5	9	6	0	4	24	2	0	7	0	9	33
形成外科	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
中央臨床検査部	0	0	1	1	0	0	2	0	60	0	0	60	62
輸血部	0	0	0	1	0	1	2	0	9	0	0	9	11
中央手術部	0	0	1	0	2	4	7	0	0	0	0	0	7
集中治療部	0	0	1	0	0	4	5	0	0	0	0	0	5
中央放射線部	0	0	1	0	0	0	1	0	64	0	0	64	65
中央内視鏡部	0	0	2	0	0	2	4	0	0	0	0	0	4
透析部	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
病院病理部	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9	9
医療情報部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度救命救急センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合周産期母子医療センター	0	0	1	1	0	8	10	0	0	0	0	0	10
精神医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9	9
緩和ケアセンター	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2
移植細胞培養センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メディカルバースセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペインセンター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
先天性疾患センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周術期管理センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IVRセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉井進記念四肢外傷センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
総合画像診断センター	0	0	1	1	1	5	8	0	0	0	0	0	8
めまい・難聴センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
高度治療技術センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳卒中センター	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
乳腺センター	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
リウマチセンター	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	2
中央材料室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝カウンセリング室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度生殖医療センター	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
がん相談支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肝疾患相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
睡眠医療・呼吸管理センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤部	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	0	62	62
看護部	0	0	0	0	0	0	0	0	1,157	0	1,158	1,158	1,158
栄養管理部	0	0	0	1	0	0	1	0	15	0	0	15	16
医療クラーク部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床研修センター	0	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	0	3
医療技術センター	0	0	0	0	0	0	0	0	119	0	0	119	119
臨床研究センター	0	1	1	3	1	1	7	6	6	8	0	20	27
医療の質・安全管理センター	0	0	1	0	0	0	1	0	1	4	0	5	6
感染管理室	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
地域連携・入退院支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	9	15	0	24	24
在宅医療支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2
看護師特定行為支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	6
小計	0	1	19	11	5	28	64	6	365	1,192	0	1,563	1,627
総合計	5	61	69	80	28	158	401	155	388	1,200	8	1,751	2,152

(2) 教 員 数

R8. 5. 1 現在

	教授	准教授	講師	学内講師	助教	現員
教 養 教 育	哲学	0	1	0	0	1
	物理学	0	1	1	0	2
	化学	1	1	1	0	3
	生物学	1	0	1	0	1
	基礎医学英語	0	1	1	0	2
	実践臨床英語	1	0	0	0	1
	保健体育	0	1	0	0	1
	未来基礎医学	0	1	0	0	1
	教養教育 計	3	6	4	0	15
	第一解剖学	1	0	1	0	1
基 礎 医 学 教 育	第二解剖学	1	1	1	0	3
	第一生理学	1	1	0	0	1
	第二生理学	0	0	1	0	1
	生化学	1	0	1	0	2
	分子病理学	1	0	1	0	1
	微生物感染症学	1	2	1	0	1
	免疫学	1	0	1	0	2
	薬理学	1	1	0	1	1
	疫学・予防医学	1	1	0	0	1
	公衆衛生学	1	1	0	1	1
臨 床 医 学 教 育	法医学	1	0	1	0	2
	発生・再生医学	1	0	0	0	3
	血栓止血先端医学	0	1	0	0	1
	数理 A I 医学	1	1	0	0	2
	応用システム医科学	0	0	0	0	0
	基礎医学教育 計	13	9	8	2	18
	循環器内科学	1	1	1	2	3
	腎臓内科学	1	0	2	0	1
	呼吸器内科学	1	1	2	0	2
	血液内科学	1	1	0	0	2
臨 床 医 学 教 育	感染症内科学	1	1	0	0	2
	消化器内科学	1	1	2	3	10
	糖尿病・内分泌内科学	1	0	0	0	3
	脳神経内科学	1	1	2	1	2
	消化器・総合外科学	1	0	2	2	6
	脳神経外科学	1	2	2	2	4
	胸部・心臓血管外科学	1	1	1	1	5
	整形外科	1	1	2	3	4
	口腔外科学	1	1	1	0	2
	産婦人科学	1	1	1	1	9
臨 床 医 学 教 育	眼科学	1	1	1	0	5
	小児科学	1	1	2	2	3
	精神医学	1	1	1	0	8
	皮膚科学	1	0	1	0	3
	泌尿器科学	0	1	2	0	5
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1	1	1	1	4
	放射線診断・I V R 学	1	1	2	1	4
	放射線腫瘍医学	1	0	2	1	1
	麻酔科学	1	0	2	1	4
	救急医学	1	0	3	0	5
臨 床 医 学 教 育	総合医療学	1	1	2	0	3
	病理診断学	1	1	1	0	2
	リハビリテーション医学	1	1	1	0	1
	がんゲノム・腫瘍内科学	1	1	1	0	3
	臨床医学教育 計	27	22	40	21	96
	人間発達学	1	0	0	0	0
	臨床病態医学	1	0	0	0	1
	理論基礎看護学	1	0	0	0	1
	実践基礎看護学	1	0	0	0	3
	成人急性期看護学	1	1	1	0	1
看 護 学 教 育	成人慢性期看護学	1	0	2	0	3
	老年看護学	1	0	1	0	1
	小児看護学	1	0	2	0	3
	母性看護学	1	1	1	0	3
	精神看護学	1	0	2	0	3
	在宅看護学	1	1	1	0	1
	公衆衛生看護学	1	1	1	0	1
	看護学教育 計	12	4	11	0	10
	県立医大医師派遣センター	0	0	0	0	0
	県費奨学生配置センター	0	0	0	0	0
セ ン タ ー 等	県民健康増進支援センター	0	0	0	0	0
	健康管理センター	0	1	0	0	1
	看護実践・キャリア支援センター	0	0	0	0	0
	地域医療学講座	1	1	0	0	2
	戦略的医療情報連携推進講座	1	0	0	0	1
	教育開発センター	0	1	2	0	3
	国際交流センター	0	0	0	0	0
	M B T 研究所	0	0	0	0	0
	スポーツ医学研究センター	0	0	0	0	0
	女性研究者・医師支援センター	0	1	0	0	1
セ ン タ ー 等	大和漢方医学薬学センター	0	0	0	0	0
	血栓止血研究センター	0	0	0	0	0
	I V R 研究センター	0	0	0	0	0
	研究力向上支援センター	0	0	0	0	0
	医学研究基盤センター	0	0	0	0	0
	大学共同研究施設	0	0	0	0	0
	動物実験施設	0	1	0	0	1
	組織換え DNA 実験施設	0	1	0	0	1
	ラジオアイソトープ実験施設	0	1	0	0	1
	産学官連携推進センター	0	1	0	0	1
セ ン タ ー 等	オートファジー・抗老化研究センター	0	0	1	0	1
	陽子線がん治療研究センター	0	0	0	0	0
	ロボット技術活用地域リハビリテーション研究センター	0	0	0	0	0
	学長付	0	0	0	0	0
	未配置定数	0	0	0	0	0
	センター等 計	2	8	3	0	2

	教授	准教授	講師	学内講師	助教	現員
中 央 部 門	形成外科	0	1	0	0	1
	中央臨床検査部	0	1	1	0	2
	輸血部	0	0	1	0	1
	中央手術部	0	1	0	2	4
	集中治療部	0	1	0	0	1
	中央放射線部	0	1	0	0	1
	中央内視鏡部	0	2	0	0	2
	透視部	0	1	0	0	1
	病院病理部	0	0	0	0	0
	医療情報部	0	0	0	0	0
中 央 部 門	高度救命救急センター	0	0	0	0	0
	総合周産期母子医療センター	0	0	0	0	1
	NICU	0	1	1	0	7
	感染症センター	0	0	0	0	0
	精神医療センター	0	0	0	0	0
	緩和ケアセンター	0	1	0	0	1
	移植細胞培養センター	0	0	0	0	0
	小児センター	0	0	0	0	0
	メディカルバースセンター	0	0	0	0	0
	ペインセンター	0	1	0	0	1
中 央 部 門	先天性心疾患センター	0	0	0	0	0
	周術期管理センター	0	0	0	0	0
	I V R センター	0	0	0	0	0
	玉井進記念四肢外傷センター	0	1	0	0	1
	総合画像診断センター	0	1	1	1	5
	めまい・難聴センター	0	1	0	0	1
	高度治療技術センター	0	0	0	0	0
	肝疾患相談センター	0	0	0	0	0
	認知症センター	0	0	0	0	0
	脳卒中センター	0	2	0	0	2
中 央 部 門	乳腺センター	0	0	1	0	1
	リウマチセンター	0	1	0	1	2
	中央材料室	0	0	0	0	0
	遺伝カウンセリング室	0	0	0	0	0
	高度生殖医療センター	0	0	0	0	1
	がん相談支援センター	0	0	0	0	0
	肝疾患相談センター	0	0	0	0	0
	睡眠医療・呼吸管理センター	0	0	0	0	0
	薬剤部	0	0	0	0	0
	看護部	0	0	0	0	0
中 央 部 門	栄養管理部	0	0	1	0	1
	臨床研修センター	0	0	2	0	1
	医療技術センター	0	0	0	0	0
	臨床研究センター	1	1	3	1	1
	医療の質・安全管理センター	0	1	0	0	1
	感染管理室	0	0	0	0	0
	地域連携・入退院支援センター	0	0	0	0	0
	在宅医療支援センター	0	0	0	0	0
	看護師特定行為支援センター	0	0	0	0	0
	中央部門 計	1	19	11	5	28
総 計		58	68	77	28	156

	教授	准教授	講師	学内講師	助教	現員
寄 附 講 座 等	県立医大医師派遣センター	0	0	0	0	0
	県費奨学生配置センター	0	0	0	0	0
	県民健康増進支援センター	0	0	0	0	0
	スポーツ医学講座	1	0	0	0	1
	血栓止血分子病態学講座	0	0	1	0	1
	地域医療支援・教育学講座	0	0	1	0	1
	骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	1	0	0	0	1
	前立腺小線源治療講座	1	0	0	0	1
	地域医療学講座	1	1	0	0	2
	分子動態創薬共同研究講座	0	0	0	0	1
寄 附 講 座 等	稀少性止血血栓異常症共同研究講座	0	0	0	0	1
	止血異常常薬科学共同研究講座	0	0	0	0	1
	寄附講座在宅リハビリテーション医療システム学講座	0	1	0	0	1
	寄附講座薬剤耐性制御学講座	0	0	1	0	1
	戦略的医療情報連携推進講座	1	0	0	0	1
	寄附講座等 計	5	2	3	0	4
	特任教授	特任准教授	特任講師	特任助教	特任助手	現員
	県立医大医師派遣センター	0	0	0	0	0
	県費奨学生配置センター	0	0	0	0	0
	県民健康増進支援センター	1	0	0	0	1
特 任 教 員	スポーツ医学講座	0	0	0	0	0
	血栓止血分子病態学講座	0	0	0	0	0
	地域医療支援・教育学講座	0	0	0	0	0
	骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	0	0	0	0	0
	前立腺小線源治療講座	0	0	0	0	0
	地域医療学講座	0	0	0	3	0
	分子動態創薬共同研究講座	0	0	0	0	0
	稀少性止血血栓異常症共同研究講座	0	0	0	0	0
	止血異常常薬科学共同研究講座	0	0	0	0	0
	寄附講座在宅リハビリテーション医療システム学講座	0	0	0	0	0
特 任 教 員	寄附講座薬剤耐性制御学講座	0	0	0	0	0
	戦略的医療情報連携推進講座	0	0	0	0	0
	保健体育	0	0	0	0	0
	未来基礎医学	0	0	0	0	0
	疫学・予防医学	1	0	0	0	1
	血栓止血先端医学	0	0	0	0	0
	胸部・心臓血管外科学	1	0	0	0	1
	小児科学	0	0	0	1	0
	皮膚科学	0	0	0	1	0
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	0	0	1	0	1
特 任 教 員	総合医療学	0	0	0	0	0
	がんゲノム・腫瘍内科学	0	0	1	0	1
	教育開発センター	0	0	1	0	1
	M B T 研究所	0	0	0	0	0
	大和漢方医学薬学センター	0	1	0	0	1
	肝疾患相談センター	0	1	0	0	1
	臨床研究センター	0	0	1	1	2
	在宅医療支援センター	0	0	0	1	1
	特任教員 計	3	2	4	7	0

7. 歴代校長・学長

初代校長 (事務取扱)	今村 荒男	昭20・4・21～21・12・28
第二代校長	緒方 準一	昭21・12・28～22・4・16
初代学長	岩永 仁雄	昭22・4・16～22・6・18
第二代学長	岩永 仁雄	昭22・6・18～27・1・23
第三代学長	吉松 信宝	昭27・1・23～35・2・8
第四代学長	緒方 準一	昭35・2・9～47・2・8
(事務取扱)	安澄 権八郎	昭47・2・9～47・5・31
第五代学長	鳥居 健三	昭47・6・1～47・8・4
第六代学長	石川 昌義	昭47・8・5～51・8・4
(事務取扱)	堀 浩	昭51・8・5～52・11・24
第七代学長	梅垣 健三	昭52・11・25～53・4・17
第八代学長	梅垣 健三	昭53・4・18～59・3・31
第九代学長	増原 建二	昭59・4・1～平2・3・31
第十代学長	石川 兵衛	平2・4・1～6・3・31
第十一代学長	辻井 正	平6・4・1～10・3・31
(事務取扱)	岡島 英五郎	平10・4・1～13・6・30
第十二代学長	市島 國雄	平13・7・1～13・9・30
第十三代学長	吉田 修	平13・10・1～20・3・31
第十四代学長	吉岡 章	平20・4・1～26・3・31
第十五代学長	細井 裕司	平26・4・1～令8・3・31
	嶋 緑倫	令8・4・1～

8. 歴代部局長

医学部長（平19・4・1から副学長兼務）

大西 武雄	平18・4・1～20・3・31
喜多 英二	平20・4・1～26・3・31
車谷 典男	平26・4・1～令2・3・31
嶋 緑倫	令2・4・1～8・3・31
堀江 恭二	令8・4・1～

附属病院長（平19・4・1から副学長兼務）

緒方 準一	昭20・7・1～31・5・31
中島 佐一	昭31・6・1～41・5・31
宝来 善次 (事務代理)	昭41・6・1～44・9・8
堀 浩 (事務取扱)	昭44・7・16～44・9・8
堀 浩	昭44・9・9～45・3・31
吉田 邦男	昭45・4・1～47・3・31
堀 浩	昭47・4・1～51・3・31
増原 建二	昭51・4・1～55・3・31
白鳥 常男	昭55・4・1～59・3・31
石川 兵衛	昭59・4・1～63・3・31
辻井 正	昭63・4・1～平4・3・31
一條 元彦	平4・4・1～6・3・31
岡島英五郎	平6・4・1～8・3・31
松永 喬	平8・4・1～10・3・31
打田日出夫	平10・4・1～12・3・31
中野 博重	平12・4・1～12・11・14
平尾 佳彦 (事務取扱)	平12・11・15～12・12・31
榊 壽右	平13・1・1～14・3・31
吉岡 章	平14・4・1～16・3・31
高倉 義典	平16・4・1～19・3・31
榊 壽右	平19・4・1～24・3・31
古家 仁	平24・4・1～令2・3・31
吉川 公彦	令2・4・1～

附属図書館長

鎌倉 勝夫	昭25・10・31～37・10・31
小谷 尚三	昭37・11・1～39・8・31
中馬 一郎	昭39・9・1～40・3・31
柴田 衛敏	昭40・4・1～44・3・31
黒河内 寛	昭44・4・1～46・3・31
北村 旦	昭46・4・1～48・3・31
榎 泰義	昭48・4・1～52・3・31
鳥居 健三	昭52・4・1～52・12・6
高楠 彰 (事務取扱)	昭52・12・7～53・3・31
高楠 彰	昭53・4・1～55・3・31
螺良 義彦	昭55・4・1～59・3・31
荒木 恒治	昭59・4・1～61・3・31
福井 弘	昭61・4・1～63・3・31
神谷 知彌	昭63・4・1～平2・3・31
廣田 忠臣	平2・4・1～6・3・31
山下 節義	平6・4・1～8・3・31
米増 國雄	平8・4・1～12・3・31
中嶋 敏勝	平12・4・1～16・3・31
宮川 幸子	平16・4・1～18・3・31
中村 忍	平18・4・1～20・3・31
平尾 佳彦	平20・4・1～24・3・31
木村 弘	平24・4・1～28・3・31
車谷 典男	平28・4・1～令2・3・31
嶋 緑倫	令2・4・1～8・3・31
堀江 恭二	令8・4・1～

研究部長

喜多 英二	平16・4・1～18・3・31
東野 義之	平18・4・1～20・3・31
大崎 茂芳	平20・4・1～21・3・3
喜多 英二	平21・3・4～21・3・31
小西 登	平21・4・1～26・3・31
嶋 緑倫	平26・4・1～令2・3・31

吉栖 正典	令 2・4・1～
医学科長	
吉原紘一朗	平 16・4・1～18・3・31
車谷 典男	平 28・4・1～令 2・3・31
嶋 緑倫	令 2・4・1～令 6・3・31
伊藤 利洋	令 6・4・1～

医学研究科長

嶋 緑倫	平 28・4・1～令 2・3・31
吉栖 正典	令 2・4・1～

看護学科長

伊藤 明子	(兼看護教育部長) 平 16・4・1～18・3・31
飯田 順三	平 20・4・1～26・3・31
軸丸 清子	平 26・4・1～28・3・31
飯田 順三	平 28・4・1～30・3・31
石澤美保子	平 30・4・1～令 4・3・31
川上あずさ	令 4・4・1～

看護学研究科長

飯田 順三	平 28・4・1～30・3・31
石澤美保子	平 30・4・1～令 4・3・31
川上あずさ	令 4・4・1～

教養教育部長(昭 57.3.31 までは進学主事、平 6.3.31 までは進学部長、平 27.3.31 までは一般教育部長)

大原 親	昭 48・6・1～49・4・30
鳥居 健三	昭 49・5・1～50・4・30
池邊 義教	昭 50・5・1～51・4・30
春日 隆	昭 51・5・1～52・4・30
河野洋太郎	昭 52・5・1～53・4・30
野津 敬一	昭 53・5・1～54・4・30
山本 稔	昭 54・5・1～55・3・31
鳥居 健三	昭 55・4・1～56・3・31
池邊 義教	昭 56・4・1～57・3・31
鳥居 健三	昭 57・4・1～59・3・31
野津 敬一	昭 59・4・1～63・3・31
池邊 義教	昭 63・4・1～平 4・3・31
河野洋太郎	平 4・4・1～6・3・31
高橋 賢博	平 6・4・1～8・3・31
伊藤 善將	平 8・4・1～10・3・31
大西 武雄	平 10・4・1～14・3・31
豊田 剛	平 14・4・1～16・3・31
大崎 茂芳	平 16・4・1～20・3・31
大西 武雄	平 20・4・1～22・3・31
大崎 茂芳	平 22・4・1～24・3・31
平井 國友	平 24・4・1～27・3・31
酒井 宏水	平 27・4・1～

基礎教育部長

高木 都	平 16・4・1～20・3・31
羽竹 勝彦	平 20・4・1～24・3・31
車谷 典男	平 24・4・1～26・3・31
吉栖 正典	平 26・4・1～令 2・3・31
堀江 恭二	令 2・4・1～8・3・31
佐伯 圭吾	令 8・4・1～

臨床教育部長

平尾 佳彦	平 16・4・1～20・3・31
-------	------------------

古家 仁	平 20・4・1～24・3・31
福井 博	平 24・4・1～26・3・31
上野 聡	平 26・4・1～28・3・31
吉川 公彦	平 28・4・1～30・3・31
長谷川正俊	平 30・4・1～令 4・3・31
田中 康仁	令 4・4・1～令 6・3・31
庄 雅之	令 6・4・1～

看護教育部長

守本とも子	平 18・4・1～20・3・31
脇田満里子	平 20・4・1～24・3・31
軸丸 清子	平 24・4・1～26・3・31
石澤美保子	平 26・4・1～30・3・31
川上あずさ	平 30・4・1～令 4・3・31
田中 登美	令 4・4・1～令 6・3・31
五十嵐稔子	令 6・4・1～8・3・31
坂東 春美	令 8・4・1～

学生部長

妻鹿 友一	昭 39・4・1～43・3・31
伊藤 登	昭 43・4・1～44・4・24
螺良 義彦	(事務取扱) 昭 44・4・25～44・11・25
鳥居 健三	昭 44・12・9～46・12・8
黒河内 寛	昭 46・12・9～48・12・8
螺良 義彦	昭 48・12・9～50・12・8
桎葉 周三	昭 50・12・9～52・12・6
榎 泰義	(事務取扱) 昭 52・12・7～53・3・31
榎 泰義	昭 53・4・1～57・3・31
高楠 彰	昭 57・4・1～59・3・31
村田 吉郎	昭 59・4・1～61・3・31
山本 浩司	昭 61・4・1～63・3・31
廣田 忠臣	昭 63・4・1～平 2・3・31
神谷 知彌	平 2・4・1～6・3・31
日浅 義雄	平 6・4・1～10・3・31
山本 浩司	平 10・4・1～12・3・31
市島 國雄	平 12・4・1～14・3・31
吉原紘一朗	平 14・4・1～16・3・31

総合研究施設部長

神谷 知彌	平 6・4・1～8・3・31
小西 陽一	平 8・4・1～12・3・31
東野 義之	平 12・4・1～14・3・31
米増 國雄	平 14・4・1～16・3・31

看護短期大学部長

白井 利彦	平 8・4・1～10・3・31
西信 元嗣	平 10・4・1～12・3・31
森川 肇	平 12・4・1～16・3・31
伊藤 明子	平 16・4・1～18・3・31
守本とも子	平 18・4・1～19・3・31

附属看護専門学校長

緒方 準一	昭 29・2・10～35・3・31
中島 佐一	昭 35・4・1～41・7・31
宝来 善次	昭 41・8・1～43・7・31
石川 昌義	昭 43・8・1～45・7・31
福井 定光	昭 45・8・1～47・7・31
堀 浩	(事務取扱) 昭 47・8・1～47・8・4
坂本 邦樹	昭 47・8・5～52・7・31
堀 浩	(事務取扱) 昭 52・8・1～52・11・24

梅垣 健三	(事務取扱)	昭 52・11・25 ～ 52・12・6
中尾 主一	(事務取扱)	昭 52・12・7 ～ 53・3・31
中尾 主一		昭 53・4・1 ～ 57・3・31
石川 兵衛		昭 57・4・1 ～ 59・3・31
一條 元彦		昭 59・4・1 ～ 63・3・31
内海庄三郎		昭 63・4・1 ～ 平 2・3・31
松永 喬		平 2・4・1 ～ 6・3・31
玉井 進		平 6・4・1 ～ 8・3・31
白井 利彦		平 8・4・1 ～ 10・3・31
西信 元嗣		平 10・4・1 ～ 11・3・31

事務局長

片岡 忠治		昭 21・1・1 ～ 28・6・21
福本 政雄		昭 28・6・22 ～ 32・2・27
岡本 俊雄		昭 32・2・28 ～ 32・10・11
松本 善裕		昭 32・10・12 ～ 43・4・30
岡本 俊雄		昭 43・5・1 ～ 45・12・1
伊藤 和夫		昭 45・12・2 ～ 46・4・30
竹田 初生		昭 46・5・1 ～ 46・7・9
三井 善一		昭 46・7・10 ～ 50・3・31
南本 佐		昭 50・4・1 ～ 53・3・31
今西 寅二		昭 53・4・1 ～ 54・3・31
今西 三良		昭 54・4・1 ～ 55・3・31
戴田 忠昭		昭 55・4・1 ～ 58・3・31
梅垣 健三	(事務取扱)	昭 58・4・1 ～ 58・4・12
榊井 勝		昭 58・4・13 ～ 59・3・31
喜多 清		昭 59・4・1 ～ 59・11・30
西川 公二		昭 59・12・1 ～ 60・3・31
木岡 源次		昭 60・4・1 ～ 61・3・31
八田 栄次		昭 61・4・1 ～ 63・3・31
安曾田 豊		昭 63・4・1 ～ 平元・3・31
力馬 通郎		平元・4・1 ～ 2・3・31
大森光三郎		平 2・4・1 ～ 4・7・31
岩本 正雄	(事務取扱)	平 4・8・1 ～ 5・3・31
辻 政紀		平 5・4・1 ～ 8・3・31
福井 常夫		平 8・4・1 ～ 10・3・31
大倉 潔		平 10・4・1 ～ 12・3・31
安川 宣彦		平 12・4・1 ～ 14・6・6
上森 健廣		平 14・6・7 ～ 16・3・31
松田 光央		平 16・4・1 ～ 18・3・31
瓜生 英明		平 18・4・1 ～ 19・3・31
山下 昌宏	(事務取扱)	平 26・4・1 ～ 28・3・31
中川 裕介	(事務取扱)	平 28・4・1 ～ 29・3・31
杉山 孝	(事務取扱)	平 29・4・1 ～ 31・3・31
西浦 嘉彦	(事務取扱)	平 31・4・1 ～ 令 3・3・31
宇都宮弘和	(事務取扱)	令 3・4・1 ～ 6・3・31
松山 善之	(事務取扱)	令 6・4・1 ～ 7・3・31
木村 茂和	(事務取扱)	令 7・4・1 ～ 8・3・31
西橋 奈穂	(事務取扱)	令 8・4・1 ～

9. 歴代役員

理事長

吉田 修	平 19・4・1 ～ 平 20・3・31
吉岡 章	平 20・4・1 ～ 平 26・3・31
細井 裕司	平 26・4・1 ～ 令 8・3・31
嶋 緑倫	令 8・4・1 ～

副理事長

瓜生 英明	平 19・4・1 ～ 平 19・5・10
西尾 哲夫	平 19・5・11 ～ 平 23・3・31
米田 隆史	(職務代理) 平 23・4・1 ～ 平 23・5・8
橋本 弘隆	平 23・5・9 ～ 平 26・3・31
林 洋	平 26・4・1 ～ 令 3・3・31
栢井 和也	令 3・4・1 ～ 令 8・3・31
木村 茂和	令 8・4・1 ～

理事 (総務・経営担当)

瓜生 英明	平 19・4・1 ～ 平 22・3・31
米田 隆史	平 22・4・1 ～ 平 24・3・31
大西 峰夫	平 24・4・1 ～ 平 26・3・31
山下 昌宏	平 26・4・1 ～ 平 28・3・31
中川 裕介	平 28・4・1 ～ 平 29・3・31
杉山 孝	平 29・4・1 ～ 平 31・3・31
西浦 嘉彦	平 31・4・1 ～ 令 3・3・31
宇都宮弘和	令 3・4・1 ～ 令 6・3・31
松山 善之	令 6・4・1 ～ 令 7・3・31
木村 茂和	令 7・4・1 ～ 令 8・3・31
西橋 奈穂	令 8・4・1 ～

理事 (教育・研究担当)

大西 武雄	平 19・4・1 ～ 平 20・3・31
喜多 英二	平 20・4・1 ～ 平 26・3・31
車谷 典男	平 26・4・1 ～ 令 2・3・31
嶋 緑倫	令 2・4・1 ～ 令 8・3・31
堀江 恭二	令 8・4・1 ～

理事 (医療担当)

榊 壽右	平 19・4・1 ～ 平 24・3・31
古家 仁	平 24・4・1 ～ 令 2・3・31
吉川 公彦	令 2・4・1 ～

理事 (渉外・企画担当)

吉岡 章	平 19・4・1 ～ 平 20・3・31
------	----------------------

理事 (広報・渉外担当)

細井 裕司	平 24・4・1 ～ 平 26・3・31
細井 裕司	(事務取扱) 平 26・4・1 ～ 令 2・3・31
中川 裕介	令 2・4・1 ～ 令 2・10・31
細井 裕司	(事務取扱) 令 2・11・1 ～ 令 8・3・31

監事

當麻 一郎	平 19・4・1 ～ 平 21・3・31
石黒 良彦	平 19・4・1 ～ 平 22・3・31
伊藤 一博	平 21・4・1 ～ 平 25・3・31
瓜生 英明	平 22・4・1 ～ 平 24・3・31
山田 陽彦	平 24・4・1 ～
岸 秀隆	平 25・4・1 ～ 平 28・6・30
篠藤 敦子	平 28・7・1 ～

10. 名誉教授

発令番号	氏 名	授与年月日
1	今村 荒男	昭35・5・1
2	岩永 仁雄	昭35・5・1
3	吉松 信宝	昭35・5・1
4	上田 常吉	昭35・5・1
5	神谷 貞義	昭46・8・1
6	緒方 準一	昭47・5・1
7	中島 佐一	昭47・5・1
8	安澄 権八郎	昭47・7・1
9	伊藤 登	昭48・5・1
10	内海 貞夫	昭48・5・1
11	宝来 善次	昭48・5・1
12	高田 博	昭49・5・1
13	鎌倉 勝夫	昭50・5・1
14	吉田 邦男	昭50・6・1
15	石川 昌義	昭51・10・1
16	妻鹿 友一	昭55・5・1
17	中尾 主一	昭58・10・1
18	春日 隆	昭59・1・1
19	梅垣 健三	昭59・5・1
20	鳥居 健三	昭59・5・1
21	白鳥 常男	昭63・7・12
22	螺良 義彦	昭63・7・12
23	野津 敬一	昭63・7・12
24	濱田 信夫	昭63・7・12
25	村田 吉郎	平元・4・1
26	坂本 邦樹	平元・4・1
27	増原 建二	平2・4・1
28	内海 庄三郎	平2・4・1
29	黒河内 寛	平3・4・1
30	池邊 義教	平4・4・1
31	森山 忠重	平5・4・1
32	福井 弘	平5・4・1
33	石川 兵衛	平6・4・1
34	堀 浩	平6・7・1
35	原 富之	平6・7・1
36	荒木 恒治	平7・4・1
37	檜葉 周三	平7・4・1
38	廣田 忠臣	平7・4・1
39	奥田 孝雄	平7・4・1
40	高楠 彰	平8・4・1
41	榎 泰義	平8・4・1
42	神谷 知彌	平8・4・1
43	井川 玄朗	平8・4・1
44	一條 元彦	平8・4・1
45	伊東 信行	平8・6・1
46	佐藤 壽昌	平8・10・1
47	河野 洋太郎	平9・4・1
48	岡島 英五郎	平9・4・1
49	北村 惣一郎	平9・10・1
50	辻井 正	平10・4・1
51	北村 旦	平10・11・1
52	田端 司郎	平11・4・1
53	元木 澤文昭	平11・4・1
54	日浅 義雄	平11・4・1
55	山下 節義	平11・4・1
56	高柳 哲也	平11・4・1
57	中野 博	平11・4・1
58	松永 喬	平11・4・1
59	玉井 進	平12・4・1
60	西信 元嗣	平12・4・1
61	白井 利彦	平12・4・1
63	小西 陽一	平13・4・1
64	成田 亘啓	平13・4・1
65	打田 日出夫	平13・4・1
66	山本 浩司	平14・4・1

発令番号	氏 名	授与年月日
67	杉村 正仁	平14・4・1
68	市島 國雄	平15・4・1
69	大石 元	平15・4・1
70	伊藤 善將	平16・4・1
71	高橋 賢博	平16・4・1
72	中嶋 敏勝	平16・4・1
73	三井 宜夫	平16・12・1
74	本田 陽太郎	平17・4・1
75	米増 國雄	平17・4・1
76	森川 肇	平17・4・1
77	吉原 紘一朗	平18・4・1
78	宮川 幸子	平19・4・1
79	吉田 修	平20・4・1
80	東野 義之	平21・4・1
81	高倉 義典	平21・4・1
82	中村 忍	平21・4・1
83	豊田 剛	平22・4・1
84	大西 武雄	平22・4・1
85	原 嘉昭	平22・4・1
86	石坂 重昭	平23・4・1
87	榑 壽右	平24・4・1
88	大崎 茂芳	平24・4・1
89	高木 都	平24・4・1
90	平尾 佳彦	平24・4・1
91	吉岡 章	平26・4・1
92	喜多 英二	平26・4・1
93	藤村 吉博	平26・4・1
94	澤浦 博	平27・4・1
95	福井 博	平27・4・1
96	脇田 満里子	平27・4・1
97	中島 祥介	平28・4・1
98	高橋 幸博	平28・4・1
99	岡本 康幸	平28・4・1
100	上野 聡	平29・4・1
101	木村 弘	平29・4・1
102	小西 登	平29・4・1
103	平井 國友	平30・4・1
104	奥地 一夫	平30・4・1
105	羽竹 勝彦	平31・4・1
106	三笠 桂一	令元・7・1
107	車谷 典男	令2・4・1
108	古家 仁	令2・4・1
109	藤本 眞一	令2・4・1
110	小林 浩	令2・4・1
111	谷口 繁樹	令3・4・1
112	岸本 年史	令3・4・1
113	飯田 順三	令3・4・1
114	斎藤 能彦	令4・4・1
115	長谷川 正俊	令4・4・1
116	西 真弓	令5・4・1
117	高澤 伸	令5・4・1
118	吉川 正英	令5・4・1
119	中瀬 裕之	令5・4・1
120	西尾 健治	令5・4・1
121	濱田 薫	令5・4・1
122	和中 明生	令6・4・1
123	桐田 忠昭	令6・4・1
124	緒方 奈保子	令6・4・1
125	城島 哲子	令6・4・1
126	藤本 圭男	令7・4・1
127	田中 康仁	令7・4・1
128	浅田 秀夫	令7・4・1
129	細井 裕司	令8・4・1
130	藤本 清秀	令8・4・1

第2章 予算・決算

1. 令和7年度 決算

貸借対照表

(令和8年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部		負債・純資産の部	
固定資産	42,025,369	固定負債	22,416,790
（うち有形固定資産）	(39,510,909)	（うち長期借入金）	(12,791,230)
（うち無形固定資産）	(509,957)	流動負債	15,837,232
（うち投資その他の資産）	(2,004,503)	（うち未払金）	(8,951,988)
		負債合計	38,254,021
流動資産	13,727,119	資本金	20,066,173
（うち現金及び預金）	(1,038,954)	資本剰余金	2,200,278
（うち未収入金）	(11,869,943)	繰越欠損金	△ 4,767,983
		（うち当期総損失）	△ 2,405,125
		純資産合計	17,498,467
資産合計	55,752,488	負債純資産合計	55,752,488

注：千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない箇所があります。

損益計算書

(令和6年度・令和7年度対比)

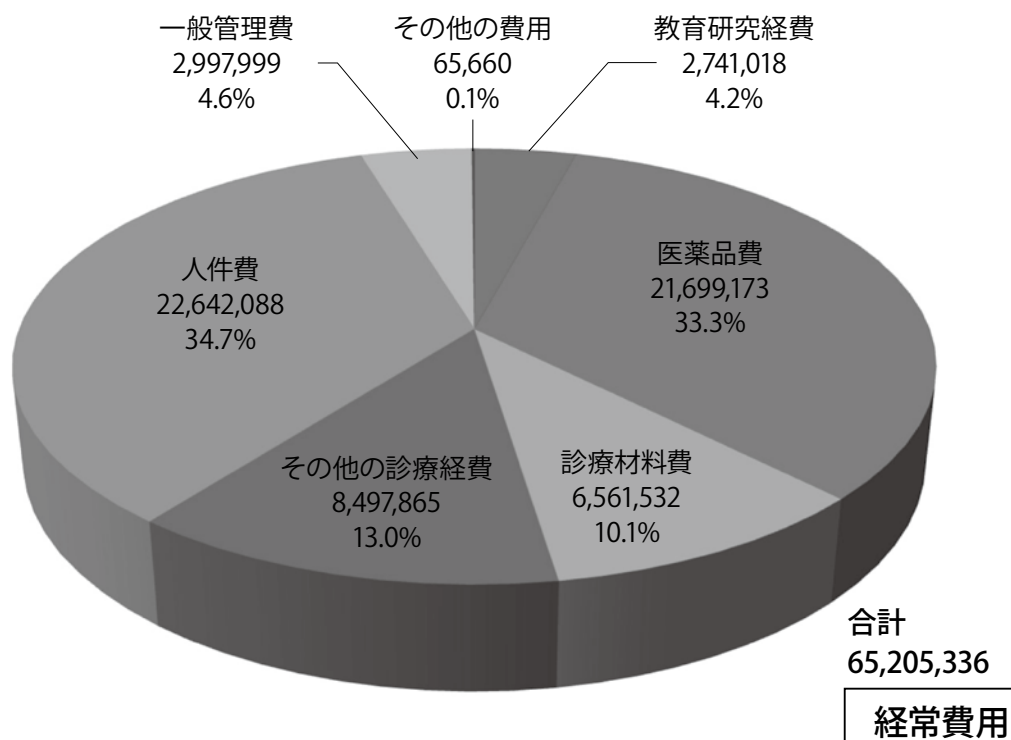
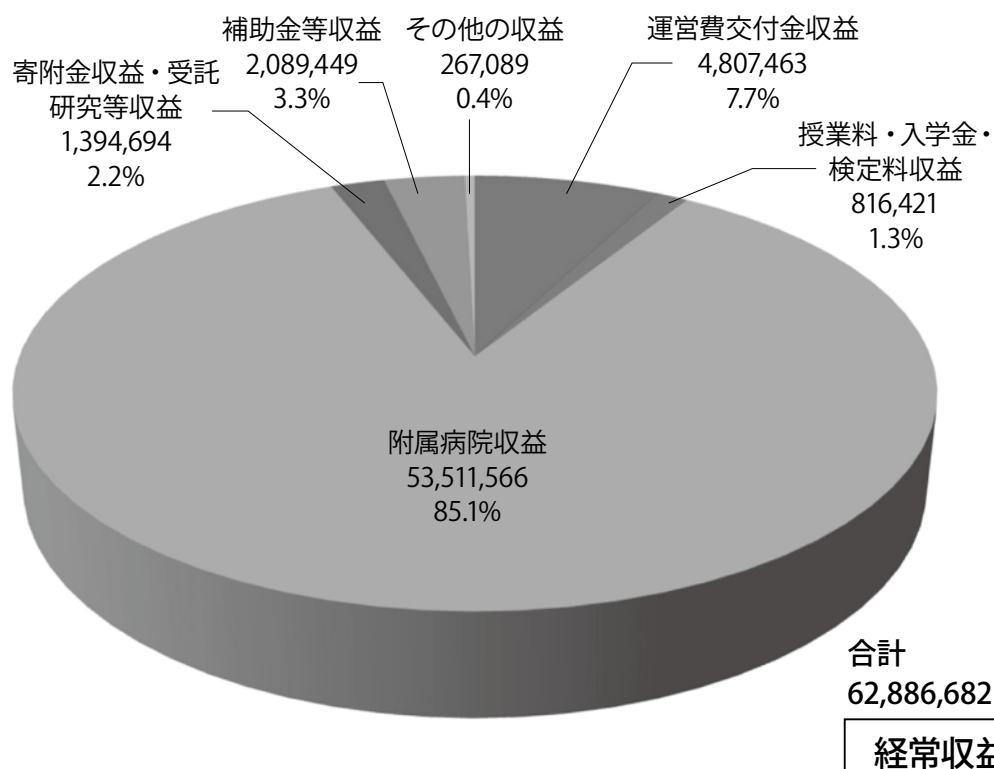
(単位：千円)

項 目	令和6年度	令和7年度	増減
経常費用			
教育研究経費（受託研究費含む）	2,959,016	2,741,018	△ 217,998
診療経費	34,362,024	36,758,570	2,396,546
人件費	21,746,247	22,642,088	895,841
一般管理費	2,994,359	2,997,999	3,640
その他の費用	52,356	65,660	13,304
経 常 費 用 合 計	62,114,002	65,205,336	3,091,334
経常収益			
運営費交付金収益	4,939,419	4,807,463	△ 131,956
授業料・入学金・検定料収益	816,714	816,421	△ 293
附属病院収益	50,258,246	53,511,566	3,253,320
寄附金収益・受託研究等収益	1,697,798	1,394,694	△ 303,104
補助金等収益	2,016,634	2,089,449	72,815
その他の収益	294,272	267,089	△ 27,183
経 常 収 益 合 計	60,023,083	62,886,682	2,863,599
経 常 損 失	△ 2,090,919	△ 2,318,654	△ 227,735
臨時損失	207,747	99,117	△ 108,630
臨時利益	7,757	12,646	4,889
当 期 総 損 失	△ 2,290,909	△ 2,405,125	△ 114,216

注：千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない箇所があります。

令和7年度決算 収益・費用の構成

(単位：千円)



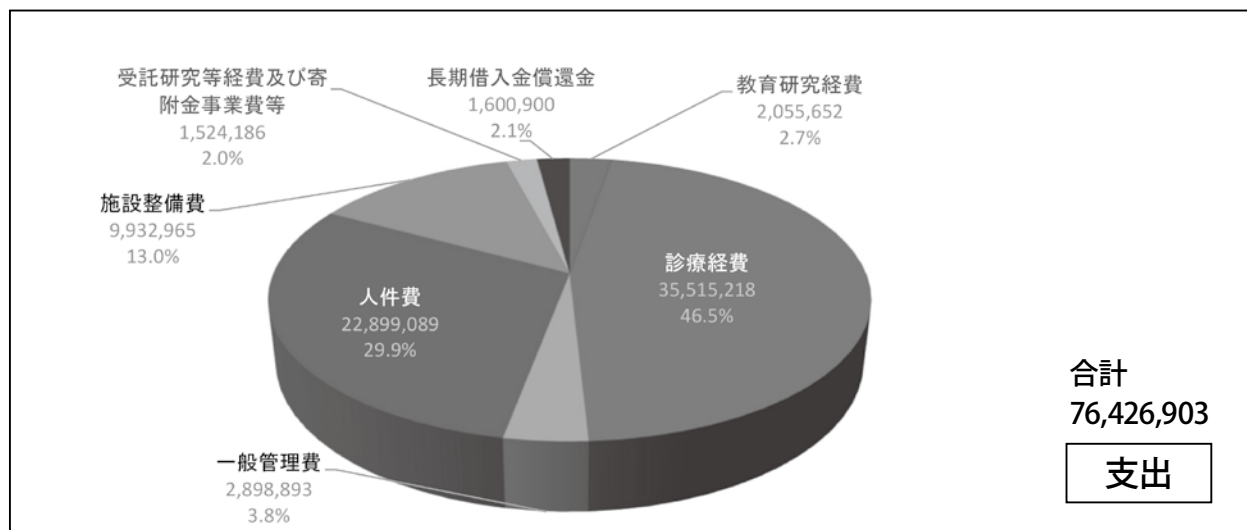
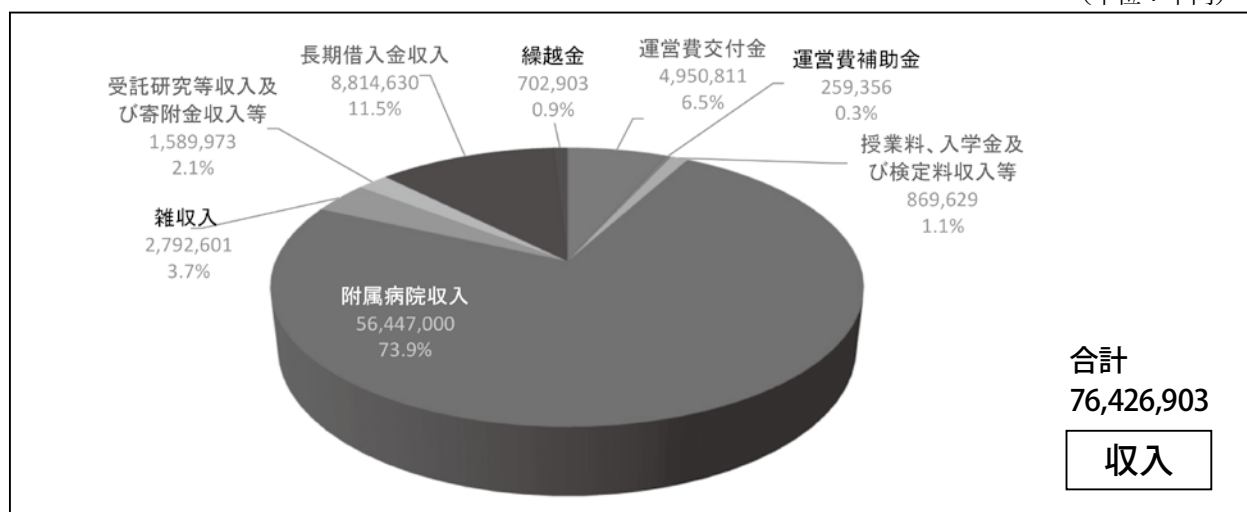
2. 年度別予算

(単位：千円)

区 分		令和 7 年度	令和 8 年度	増 減
収 入	運営費交付金	4,818,663	4,950,811	132,148
	運営費補助金	311,018	259,356	△ 51,662
	自己収入	56,153,746	60,109,230	3,955,484
	授業料、入学金及び検定料収入等	(837,550)	(869,629)	(32,079)
	附属病院収入	(53,418,000)	(56,447,000)	(3,029,000)
	雑収入	(1,898,196)	(2,792,601)	(894,405)
	受託研究等収入及び寄附金収入等	1,678,497	1,589,973	△ 88,524
	長期借入金収入	2,809,900	8,814,630	6,004,730
	繰越金	821,922	702,903	△ 119,019
計		66,593,746	76,426,903	9,833,157
支 出	業務費	60,161,058	63,368,852	3,207,794
	教育研究経費	(2,113,143)	(2,055,652)	(△ 57,491)
	診療経費	(33,689,855)	(35,515,218)	(1,825,363)
	一般管理費	(2,804,544)	(2,898,893)	(94,349)
	人件費	(21,553,516)	(22,899,089)	(1,345,573)
	施設整備費	3,311,681	9,932,965	6,621,284
	受託研究等経費及び寄附金事業費等	1,544,561	1,524,186	△ 20,375
	長期借入金償還金	1,576,446	1,600,900	24,454
	計	66,593,746	76,426,903	9,833,157

令和 8 年度予算 収入・支出の構成

(単位：千円)



第3章 大学・大学院

教育目標

医学科

ディプロマ・ポリシー

所定の期間在学し、カリキュラム・ポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位と時間数を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観とプロフェッショナリズムを身につけている。
2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。
3. 医療を適切に実践できる知識、技能、態度を身につけている。
4. 良好な医療コミュニケーション能力を身につけている。
5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

1. 倫理観とプロフェッショナリズムの育成、コミュニケーション教育
教養教育では、自律心の向上と倫理学教育に重点を置く。プロフェッショナリズム、コミュニケーション教育に資するため、早期から、高齢者や乳幼児、障害者の施設を見学する機会を持ち、現場で人間的触れ合いを通じて知識だけでなく実践的な医療倫理的素養を培うカリキュラムを配置する。
2. 医学、医療とこれらに関連する領域の知識、技能、態度の習得
医学の基盤となる知識を早期から段階的に積み上げていく教育カリキュラムを配置する。
 - ①教養教育では語学や自然科学の基本を習得し、生命科学を学ぶための基盤を作り上げるカリキュラムを配置する。
 - ②基礎医学では、医学の根幹となる解剖学、生理学、生化学を学び、さらに、発展的な基礎医学知識を獲得できるように段階的なカリキュラムを配置する。
 - ③臨床医学では、広範な知識と基本的臨床技能を習得できるようなカリキュラムを配置する。知識、技能、態度が共用試験（CBT、臨床実習前 OSCE）による全国共通試験でも確認された後に、臨床実習生（医学）として臨床実習に参加させる。
 - ④臨床実習では、診療参加の実態を確保し、医療面接と診療技法を中心に実践的な教育を行う。また、臨床実習の終了時点で臨床実習後 OSCE を実施し、得られた臨床技能、態度の確認を行う。
3. 国際的な視野と科学的探究心の育成
すべての学生に、研究マインドを涵養するべく、リサーチ・クラークシップを実施する。関心の高い学生には、早期から生命科学系の研究に参加できるように、6年一貫の「研究医養成コース」を設けている。海外での実習の機会も設ける。
4. 医療を通じた地域社会への貢献
医療システムについての理解を深めることはもちろんであるが、大学内のみならず、奈良県を中心に地域社会、地域医療と関わりを持つ体験を通じて、奈良の医療を良くしたいという意欲を高める体験型の教育を行っていく。このための6年一貫の「地域基盤型医療教育コース」を設ける。

アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

理念を踏まえ、地域の医療と世界の医学・医療の発展を担い、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、次のような資質を持った人を求めています。

＜医学部医学科が求める学生像＞

1. 医師となる自覚が強く、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人
医師に求められる旺盛な科学的探求心、自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自ら問題を解決しようとする主体性を持った人を求めます。加えて、豊かな人間性、高い倫理観ならびに社会性を有する人を求めます。
2. 患者の立場に立って判断し、患者が安心して受診できる医師となる人
医師には医学的知識とともに、良好な患者・医師関係を築くことができる十分なコミュニケーション能力、他職種と連携しチーム医療をリードできる能力が必要です。医師として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに、協調性に優れた人を求めます。
3. 将来性豊かで、奈良県だけでなく日本、世界の医学界をリードできる人
地域医療に貢献するとともに、国際的にも活躍できる医師・研究者を育成します。入学後、世界の医学界でも活躍できる意欲と能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

＜入学選抜の基本方針＞

高等学校等で学習する全ての教科が医学科教育の土台になるため、いずれの入試においても、大学入学共通テストで、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

【一般選抜（前期日程及び後期日程）】

本個別学力検査では、医学科の学修に十分対応できる知識とそれを利活用した思考力、判断力及び表現力を確認します。さらに、面接を行い、本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

【学校推薦型選抜】

緊急医師確保枠をはじめ、地域における高度な医療を推進し発展させることを目指す地域枠への入学を希望する人を対象に行います。個別学力検査、面接等で将来、地域医療・医学に貢献しようとする志し及び本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

看護学科

ディプロマ・ポリシー

絶え間なく変化する社会のニーズに対応し、地域社会に貢献することができる看護師・保健師を育成する。所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修の上、履修要領で定められた卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 倫理観、態度、意欲
生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観を持ち、自ら学習し成長し続ける姿勢を身につけている。
2. 創造性、探究力、国際的視野
幅広い教養と国際的視点から看護に関する課題を探究できる。
3. 知識、批判的思考力
対象者の健康、環境に関する知識を修得し、諸問題を科学的根拠や批判的思考に基づいて検討できる。
4. 実践力、応用力、共感能力
対象者の健康状態と生活を的確にとらえ、人への尽きない関心と思いやりをもって看護技術を提供できる実践力を身につけている。
5. コミュニケーション能力、チームマネジメント
地域社会における健康課題を把握し、保健医療における関連職種との協働やヘルスケアシステムにおけるマネジメントができる。

カリキュラム・ポリシー

医学部看護学科であることを最大限に生かし、医学教育と連携して、ディプロマ・ポリシーの5つの能力を習得するために看護教育カリキュラムを構成する。

1. 教育内容
 - (1) 系統的・段階的に学修できるよう、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3つの区分を設け、カリキュラムを構成する。
 - (2) 基礎分野は、「人間・社会の理解」及び「国際理解」の区分で構成し、看護職者に求められる豊かな人間性の基盤となる倫理観や学び続ける姿勢、国際的視野、批判的思考力及びコミュニケーション能力を養う。また、医学看護学合同科目を配置し、多職種連携の基盤を育成する。
 - (3) 専門基礎分野は、「生活・環境の理解」及び「健康の理解」の区分で構成し、対象者の健康・看護の基礎となる知識を養う。
 - (4) 専門分野は、「看護学の基本」、「看護学の展開」、「看護学の発展と探求」及び「公衆衛生看護学」の区分で構成する。「看護学の基本」、「看護学の展開」及び「公衆衛生看護学」では、修得した知識を基盤とする批判的思考力、実践力、応用力及び共感能力を養う。「看護学の発展と探求」では、それまで養った能力を統合・発展させ、看護研究能力やマネジメント能力を養う。
2. 教育方法
授業形態は講義・演習・実習とし、特に専門分野においては、概論・援助論の構成で理論と実践が融合できる配置とする。主体的な学習を推進するために、アクティブラーニングを基本とする多様な学修方法の提供を行う。
3. 学習成果の評価
各科目の学習成果は、シラバスに定めるとおり、定期試験、レポート、実技及び授業への取り組み状況等によって評価することとし、成績の評価基準は、本学医学部看護学科授業科目履修要領に定める。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学は、医療の分野において看護学の立場から社会に貢献できる人材を育成するため、次のような資質を持った人を求めています。

＜医学部看護学科が求める学生像＞

1. 自らを律し、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人
看護は人々の健康にかかわる日々の生活を支える営みであり、対象となる人の考えや気持ちを理解し、信頼関係を築くことが大切です。そのために、人との交流を大切にし、多様な価値観を受け入れ、他者と信頼関係を築ける豊かな人間性と高い倫理観を持つことを求めます。
2. 幅広い知識と確かな基礎学力を有し、看護学への興味と科学的探究心をもって学習に取り組める人
看護の専門的知識を学ぶためには、その前提となる基礎学力を身につけておく必要があります。そのうえで、看護の対象となる人を多面的に理解して、科学的根拠のある看護を探求し、努力を惜しまず学習する姿勢を求めます。
3. 国際的な視野で考え行動できるとともに、地域の保健・医療・福祉に貢献する熱意と行動力のある人
人々の健康を取り巻く社会は目まぐるしく変化します。地域のみならず国際社会に関心を持ち、地域の保健・医療・福祉に貢献する熱意をもって行動できる人を求めます。
4. 奈良県立医科大学を愛し、その将来を担う志をもつ人
卒業生には、看護学とその関連領域においてマネジメント能力を発揮し活躍できることが期待されます。本学の理念および教育目標を十分に理解し、奈良県内の医療機関において看護職者として貢献する明確な目標をもっている人を求めます。

＜入学者選抜の基本方針＞

【一般選抜（前期日程）】

大学入学共通テストで、高等学校教育段階において目指す基礎学力の達成度を測ります。また、個別学力検査では、小論文試験により、図表の解釈を含めた理解力、思考力、表現力及び論理的思考力等の看護学を学ぶために必要な能力を備えているかを評価し、面接試験により、学ぶ意欲や看護への関心を確認します。

【学校推薦型選抜】

卒後、奈良県内で活躍し、地域医療に貢献しようとする積極的な意志を持つ学生を対象とします。調査書、推薦書及び志望理由書によって、高等学校教育段階において目指す基礎学力の達成度と学習への意欲をみます。また、個別学力検査では、小論文試験により、理解力、思考力、表現力及び論理的思考力等の看護学を学ぶために必要な能力を備えているかを評価し、面接試験により、学ぶ意欲や看護への関心を確認します。

医学研究科

ディプロマ・ポリシー

(修士課程)

本大学院に2年以上(優れた研究業績を上げた者については1年以上)在学し、指導教員の研究分野に所属して研究指導を受け、講義、演習、特別研究の30単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。

1. 医科学に関する確かな専門的知識と深い学識を修得している。
2. 生命科学、社会科学、情報科学などの知識を活用して、研究能力が発揮できる。

(博士課程)

本大学院に4年以上(優れた研究業績を上げた者については3年以上)在学し、指導教員の研究分野に所属して研究指導を受け、講義、演習、実験・実習の34単位以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。

1. 医学に関する高度な学識と研究能力を修得し、未開の領域を切り開く能力と意欲が身につけている。
2. 先端医学・医療に貢献できる高度の専門的な能力が身につけている。

カリキュラム・ポリシー

(修士課程)

1. 大学院研修プログラムを受講し、専攻する領域と医科学全体の関係をよく理解し、幅広い知識、技能を身につけるためのカリキュラムを配置する。
2. 医科学分野の専門的知識を修得し、新たな研究を企画、展開できる能力を培うためのカリキュラムを配置し、地域社会に貢献する人材を育成する。

(博士課程)

1. 大学院研修プログラムの受講と学位公聴会の聴講を通して、高度な医学専門知識を修得し、専攻科目に関連する幅広い知識、技能を身に付けるための必要なカリキュラムを配置する。
2. 2年次終了時の中間報告会において、研究評価を行うことで、最終年度での研究成果のとりまとめに資する。
3. 研究指導教員および研究指導補助教員による個別指導カリキュラムによって、自立した研究活動が行える能力を培う。

アドミッション・ポリシー

1. 独創的な発想と科学的探究心に富み、豊かな人間性をもつ人
2. 医学、医療の分野において、高度の知識、技能を習得し、地域社会に貢献する人
3. 国際的な視野に立ち、高度の研究を通して医学の発展に寄与する人
4. 研究、教育、臨床のいずれの分野においても指導者となる志をもつ人

看護学研究科

(博士前期課程)

ディプロマ・ポリシー

本大学院に2年以上(優れた研究業績を上げた者については1年以上)在学し、授業科目について、看護学コースのうち、論文コースにあっては30単位以上修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格することが、高度実践コースの高度実践看護師教育課程(専門看護師教育課程)にあっては40単位以上、同コースの周産期看護師教育課程にあっては46単位以上修得し、かつ、特定の課題についての研究の成果(以下、「課題研究成果物」という。)の審査及び最終試験に合格することが、助産学実践コースにあっては、61単位以上修得し、かつ、課題研究成果物の審査及び最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。修了時には以下の能力が求められる。

1. 看護学に関する確かな専門知識と深い学識を修得している。
2. 生命科学、社会科学、情報科学などの知識を活用して研究能力が発揮できる。
3. 看護専門職者(論文コース修了者)として、地域医療での指導能力を発揮できる。
4. 看護専門職者(高度実践コース修了者)として、高度な実践能力と指導能力を発揮できる。
5. 看護専門職者(助産学実践コース修了者)として、地域における周産期医療での指導能力と高度な実践能力を発揮できる。

カリキュラム・ポリシー

1. 教育理念・目的に基づき、豊かな感性、人間性と高度専門職業人としての倫理観を備え、高度化、専門分化および多様化していく医療に要求される知識や技術を的確に習得、発展させながら、実践科学としての看護学を探究する高度な実践能力と基礎的な研究能力を育成するために必要なカリキュラムを配置する。
2. 看護学コースと助産学実践コースを置き、すべての学生が幅広く専門知識を修得するために共通科目を配置する。看護学コースでは各専門分野に必要な能力を養成するために、特論、演習、特別研究の授業科目を配置する。さらに助産学実践コースでは助産師となるために必要な特論、演習、実習科目を配置する。

アドミッション・ポリシー

1. 人間に対する深い関心と生命倫理や医療倫理を身につけている人
2. 専攻分野における基礎知識を身につけている人
3. 自ら進んで課題に取り組む意欲と探究心がある人
4. 看護学の教育、研究、実践の分野で地域社会に貢献する意志があり、看護学関連分野を学習してきた人

(博士後期課程)

ディプロマ・ポリシー

看護学研究科博士後期課程においては、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。修了時には以下の能力が求められる。

1. 高度化・専門分化及び多様化していく医療に要求される学識を有し、看護学の発展を牽引できる能力を修得している。
2. 深い専門知識や技能を持って、国際的視野から幅広く看護学を探究し、自立して研究及び教育を行うことができる能力を修得している。
3. 豊かな感性・人間性と高度専門職業人としての倫理観に基づき、創造的な研究を行い、看護実践につなげ、地域・社会に展開できる能力を修得している。

カリキュラム・ポリシー

教育理念・目的に基づき、豊かな感性、人間性と高度専門職業人としての倫理観を備え、高度化、専門分化および多様化していく医療に要求される学識を修得、発展させながら、実践科学としての看護学の深奥を極め、自立して研究を行うに必要な、高度な能力を育成するために2つの分野を設けカリキュラムを配置する。

1. 様々な健康レベルや健康に対するニーズを持つ人のライフサイクルに応じ、より個別性を見据えた健康回復・維持・増進に対応するため、生涯発達看護学分野及び療養・生活支援看護学分野を設ける。生涯発達看護学分野は、発達し続ける人間の存在に対する深い理解を基盤に看護を探究する分野であり、療養・生活支援看護学分野は、人々の生活を基盤に高度な専門性と実践を探究する分野である。
2. 系統的・段階的に学修できるよう、教育課程では共通科目、専門科目及び研究科目の3つの区分を設け、専門科目及び研究科目に生涯発達看護学分野及び療養・生活支援看護学分野を配置する。
3. 共通科目は、必修科目として、実践科学としての看護学の学識を深めるため看護の理論と概念を配置し、研究遂行の基盤を養うため看護学研究法を配置する。
また、選択科目として、高度な病態生理学的思考を養うため看護病態学を、国際的な発信力を養うためアカデミックライティングを、地域及び国際社会に活用可能なケアシステムを創造する能力を養うため看護ケアシステム開発を、生涯教育としての教育のあり方を探究する能力を養うため看護人材育成論を配置する。
4. 専門科目は、看護学の発展に寄与する創造的な研究課題を導き出し、研究に取り組む能力を養うため分野ごとに特論を配置し、医療、看護に関する深い学識と幅広い視野から自立して研究及び教育を行う能力を養うため分野ごとに演習を配置する。
5. 研究科目は、高度専門職業人及び研究者としての高い倫理感と、創造的な研究を看護実践につなげ、地域・社会に展開できる能力を養うため分野ごとに特別研究を配置する。

[教育方法]

授業形態は講義・演習とし、主体的な学習を推進するために、アクティブラーニングを基本とする多様な学修方法の提供を行う。

[教育評価]

学習成果は、授業における授業貢献度、課題、レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、中間報告会及び研究成果等で総合的に評価する。

アドミッション・ポリシー

1. 豊かな感性・人間性と生命倫理や医療倫理を身につけている人
2. 看護学に対する深い関心があり、専攻する学問分野の専門知識と応用能力を身につけている人
3. 学際的・国際的視野を持ち、自ら進んで課題に取り組む意欲と探究心がある人
4. 看護学の教育、研究、実践の分野で地域社会に貢献する意志があり、牽引することができる人

1. 学生定員及び現員 R8. 5. 1 現在

(1) 医学部医学科

学年 区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
定員	111	113	114	114	114	114	680
現員	男	76	79	70	89	81	485
	女	39	34	48	35	35	220
	計	115	113	118	124	116	705

(2) 医学部看護学科

学年 区分	1年	2年	3年	4年	合計
定員	85	85	85	85	340
現員	男	4	1	5	13
	女	82	83	84	333
	計	86	84	89	346

(3) 大学院医学研究科

① 博士課程

学年 区分	1年	2年	3年	4年	合計
定員	40	40	40	40	160
現員	男	33	31	44	144
	女	11	10	9	45
	計	44	41	53	189

② 修士課程

学年 区分	1年	2年	合計
定員	5	5	10
現員	男	8	11
	女	1	5
	計	9	16

(4) 大学院看護学研究科

① 博士後期課程

学年 区分	1年	2年	3年	合計
定員	2	2	2	6
現員	男	0	0	0
	女	3	4	10
	計	3	4	10

② 博士前期課程

学年 区分	1年	2年	合計
定員	10	10	20
現員	男	0	1
	女	10	16
	計	10	17

2. 県内・県外別学生数 R8. 5. 1 現在

(1) 医学部医学科

学年 区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
県内	54	24	35	32	37	28	210
県外	61	89	83	92	79	91	495
計	115	113	118	124	116	119	705

(2) 医学部看護学科

学年 区分	1年	2年	3年	4年	合計
県内	56	61	56	55	228
県外	30	23	33	32	118
計	86	84	89	87	346

(3) 大学院医学研究科

① 博士課程

学年 区分	1年	2年	3年	4年	合計
県内	30	31	36	42	139
県外	14	10	17	9	50
計	44	41	53	51	189

② 修士課程

学年 区分	1年	2年	合計
県内	6	2	8
県外	3	5	8
計	9	7	16

(4) 大学院看護学研究科

① 博士後期課程

学年 区分	1年	2年	3年	合計
県内	2	4	2	8
県外	1	0	1	2
計	3	4	3	10

② 博士前期課程

学年 区分	1年	2年	合計
県内	7	3	10
県外	3	4	7
計	10	7	17

3. 志願者数及び入学者数

(1) 医学部医学科

年 度	令和 3				令和 4				令和 5				令和 6					令和 7				令和 8				
種 別	推 薦		一 般		推 薦		一 般		推 薦		一 般		推 薦		一 般			推 薦		一 般		推 薦		一 般		
	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	前期 2次	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	
入学定員	113				113				113				113					112				111				
日程別 入学定員	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	11	53	15	22	22	53	15	21	22	53	
志願者数 A	75	143	153	888	78	140	143	1,311	75	143	224	997	112	138	57	249	895	117	123	48	981	117	99	48	1,085	
第 1 段階選抜 合格者数	実施なし			742	実施なし			748	実施なし			743	実施なし			なし	742	実施なし			40	743	実施なし		46	639
受験者数 B	72	140	123	271	74	137	117	201	72	138	189	251	109	136	44	249	282	112	121	25	254	112	97	34	199	
合格者数 C	13	25	22	67	13	25	22	60	13	25	22	61	13	25	12	11	61	15	22	22	63	15	21	23	58	
追加合格者数 (C の内数)	—	—	—	14	—	—	—	7	—	—	—	8	—	—	—	—	8	—	—	—	10	—	—	1	5	
入学者数	113				113				113				113					112				111				
日程別 入学者数	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	11	11	53	15	22	22	53	15	21	22	53	
志願倍率 A/C	5.8	5.7	7.0	13.3	6.0	5.6	6.5	21.9	5.8	5.7	10.2	16.3	8.6	5.5	4.8	22.6	14.7	7.8	5.6	2.2	15.6	7.8	4.7	2.1	18.7	
競争倍率 B/C	5.5	5.6	5.6	4.0	5.7	5.5	5.3	3.4	5.5	5.5	8.6	4.1	8.4	5.4	3.7	22.6	4.6	7.5	5.5	1.1	4.0	7.5	4.6	1.5	3.4	

(2) 医学部看護学科

年 度	令和 3			令和 4			令和 5			令和 6			令和 7			令和 8		
日程別	推 薦	一 般		推 薦	一 般		推 薦	一 般		推 薦	一 般		推 薦	一 般		推 薦	一 般	
		一般枠	地域枠		一般枠	地域枠		一般枠	地域枠		一般枠	地域枠		一般枠	地域枠		一般枠	地域枠
入学定員	35	40	10	35	40	10	35	40	10	35	40	10	35	40	10	35	40	10
志願者数 A	88	105	40	70	73	37	72	95	35	88	73	44	93	50	43	75	61	27
第 1 段階選抜 合格者数	実施なし			実施なし			実施なし			実施なし			実施なし			実施なし		
受験者数 B	88	102	38	69	71	37	72	91	32	88	71	44	93	48	41	75	57	26
合格者数 C	35	40	10	35	40	10	35	42	10	35	41	10	35	41	10	35	44	10
追加合格者数 (C の内数)	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	—	—	1	—	—	4	—
入学者数	35	40	10	35	40	10	35	40	10	35	40	10	35	40	10	35	40	10
志願倍率 A/C	2.5	2.6	4.0	2.0	1.8	3.7	2.1	2.3	3.5	2.5	1.8	4.4	2.7	1.2	4.3	2.1	1.4	2.7
競争倍率 B/C	2.5	2.6	3.8	2.0	1.8	3.7	2.1	2.2	3.2	2.5	1.7	4.4	2.7	1.2	4.1	2.1	1.3	2.6

注：一般選抜後期日程は平成 27 年度に廃止、編入学試験は平成 28 年度に廃止、社会人特別選抜試験は平成 31 年度に廃止しています。

(3) 大学院医科学研究科

① 博士課程

区 分		令和 3		令和 4		令和 5		令和 6		令和 7		令和 8	
			秋		秋		秋		秋		秋		秋
志 願 者 数		45	8	41	11	49	9	45	3	40	12	35	
入学者数	本学出身者	25	6	26	10	32	6	30	2	20	8	25	
	他大学出身者	17	1	12	1	14	2	12	1	18	4	6	
	計	42	7	38	11	46	8	42	3	38	12	31	

② 修士課程

区 分		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
志 願 者 数		6	5	6	6	7	9
入学者数	本学出身者	0	0	0	0	1	0
	他大学出身者	6	5	5	6	6	9
	計	6	5	5	6	7	9

(4) 大学院看護学研究科

① 博士前期課程※¹

区 分 年 度		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
志 願 者 数		16	15	27	24	8	17
入学者数	本学出身者	2	7	3	2	4	5
	他大学出身者	7	2	7	6	4	4
	計	9	9	10	8	8	9

② 博士後期課程

区 分 年 度		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
志 願 者 数		—	—	—	6	4	3
入学者数	本学出身者	—	—	—	0	3	2
	他大学出身者	—	—	—	3	1	1
	計	—	—	—	3	4	3

※ 1…令和 5 年度以前は看護学研究科修士課程

4. 卒業者数

(1) 医学部 医学科

回 卒業年 男女別	医学専門 学校 合 計	旧制県立 医科大学 合 計	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	新制医科 大学 合 計	卒業者数 合 計
男	95	151	75	74	91	78	88	76	70	82	82	60	4,228	4,626
女	—	—	34	33	25	27	25	36	31	27	24	41	1,226	1,284
計	95	151	109	107	116	105	113	112	101	109	106	101	5,454	5,910

(2) 医学部 看護学科

卒業年 男女別	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	卒業者数 合 計
男	3	5	2	4	2	4	2	3	7	7	39
女	83	83	82	80	81	72	86	83	74	72	796
計	86	88	84	84	83	76	88	86	81	79	835

(3) 大学院医学研究科

① 博士課程（単位修了者数）

卒業年 男女別	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	単位修了者数 合 計
男	17	17	36	51	38	35	37	50	35	37	1,031
女	5	4	9	8	6	11	6	9	16	5	170
計	22	21	45	59	44	46	43	59	51	42	1,201

② 修士課程

卒業年 男女別	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	修了者数 合 計
男	9	4	5	7	7	7	6	2	4	5	88
女	3	2	2	3	0	2	0	3	1	1	37
計	12	6	7	10	7	9	6	5	5	6	125

(4) 大学院看護学研究科

博士前期課程

卒業年 男女別	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	修了者数 合 計
男	1	0	0	1	0	2	0	0	0	1	5
女	10	8	11	10	8	12	10	7	10	7	93
計	11	8	11	11	8	14	10	7	10	8	98

5. 卒業後の状況

(1) 医学部医学科

状 況			卒業年 (年度)	令和 4 (R3)	令和 5 (R4)	令和 6 (R5)	令和 7 (R6)	令和 8 (R7)
卒業 者	卒業者数			112	101	109	106	101
	内 訳	県内出身者		37	30	27	28	28
		県外出身者		75	71	82	78	73
県 内	卒業 後 臨 床 研 修	プ ロ グ ラ ム 名	奈良医療圏	10	11	13	13	10
			西和医療圏	9	5	3	4	7
			東和医療圏	4	0	4	4	2
			中南和医療圏 (内数 医大単独型)	49 (42)	29 (25)	41 (34)	37 (31)	34 (31)
		その他医療機関		0	0	0	0	0
	小 計		72	45	61	58	53	
県 外	床 卒 後 研 臨 修	他大学附属病院	7	6	9	8	10	
		その他医療機関	27	49	33	36	35	
	小 計		34	55	42	44	45	
そ の 他			6	1	6	4	3	

(2) 医学部看護学科

状 況			卒業年 (年度)	令和 4 (R3)	令和 5 (R4)	令和 6 (R5)	令和 7 (R6)	令和 8 (R7)
卒業者	卒業者数			76	88	86	81	79
	内 訳	県内出身者		43	51	52	47	43
		県外出身者		33	37	34	34	36
県内	看護 師	本学附属病院		46	45	57	48	46
		県内病院		1	1	1	4	0
	保 健 師			5	6	2	1	0
県外	看護 師	公立病院		12	18	11	9	10
		私立病院		4	9	3	10	13
	保 健 師			3	3	0	2	1
進 学				3	5	7	5	9
そ の 他				2	1	5	2	0

6. 学位授与者数

区分 / 年度	大学院修了者 (甲)	学位論文提出者 (乙)	計
令和 3	48	17	65
令和 4	43	5	48
令和 5	45	0	45
令和 6	40	3	43
令和 7	38	1	39
新制学位 授与者累計	1,006	1,534	2,540

7. 研究生数、専修生数、医科学研究生数及び博士研究員数

各年度 5 月 1 日現在

区分 \ 年度	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
医科学研究生	18	19	19	17	16
博士研究員	169	167	167	176	181

8. 解剖件数

種別 \ 年度	系統解剖	病管	法医学	計
令和 3	27	13	226 (司法解剖：201 調査法解剖：25)	266
令和 4	27	17	200 (司法解剖：178 調査法解剖：22)	244
令和 5	27	15	271 (司法解剖：247 調査法解剖：24)	313
令和 6	27	23	225 (司法解剖：202 調査法解剖：23)	275
令和 7	27	23	204 (司法解剖：181 調査法解剖：23)	254

9. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業

R8. 5. 1 現在
(件、千円)

年 度	令和 6 年度				令和 7 年度				令和 8 年度			
区 分	応募件数	応募金額	交付内定件数	交付内定金額	応募件数	応募金額	交付内定件数	交付内定金額	応募件数	応募金額	交付内定件数	交付内定金額
学術変革領域研究 (A)	9	60,900	3	11,600 (3,480)	7	25,200	1	16,100 (4,830)	11	50,600	4	20,600 (6,180)
学術変革領域研究 (B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究 (S)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究 (A)	6	81,442	3	23,100 (6,930)	6	79,767	1	6,600 (1,980)	3	32,544	2	19,100 (5,730)
基盤研究 (B)	30	162,798	13	50,400 (15,120)	31	152,930	12	46,400 (13,920)	39	216,306	15	60,300 (18,090)
基盤研究 (C)	293	438,693	142	151,500 (45,450)	326	476,959	153	169,400 (50,820)	338	506,480	170	189,300 (56,790)
挑戦的研究 (開拓)	4	27,150	0	0	1	13,000	0	0	2	21,220	—	—
挑戦的研究 (萌芽)	18	37,368	1	4,800 (1,440)	20	38,561	3	7,100 (2,130)	25	50,972	—	—
若手研究	113	154,228	78	84,900 (25,470)	112	149,402	73	76,700 (23,010)	109	161,936	72	87,100 (26,130)
研究活動スタート支援	11	13,531	1	2,200 (660)	27	36,289	7	6,400 (1,920)	25	33,193	—	—
奨励研究	0	0	0	0	5	3,663	2	960	1	870	0	0
計	484	976,110	241	328,500 (98,550)	535	975,771	252	329,660 (98,610)	553	1,074,121	263	376,400 (112,920)

注：() は外数で、間接経費として措置された金額

応募件数、金額は応募当初の数値

交付決定 (交付内定) 件数、金額は配分機関より本学あてに行われた交付決定 (交付内定) 通知の数値

10. 総合研究棟の状況

1. 共同利用施設

(1) 動物実験施設

令和7年度動物実験施設利用者数(延べ) 7,584人(実験申請件数 178件)

R8.5.1現在

動物種	飼育数	動物種	飼育数	動物種	飼育数
ラット	162匹	ウサギ	10羽	ヌードラット	0匹
マウス	4,816匹	モルモット	0匹	合計	4,989
ハムスター	0匹	ヌードマウス	1匹		

(2) 組換えDNA実験施設

組換えDNA実験課題件数 113件(承認63・届出50) (令和8年5月1日現在)

令和7年度組換えDNA実験施設教育訓練受講者数 456人(令和8年5月1日現在)

(3) ラジオアイソトープ(RI)実験施設

○業務従事者登録者数 315人(令和8年5月1日現在)

○令和7年度利用者数(延べ) 5階RI実験室 13,326人

○令和7年度RI購入件数 3本

使用可能核種と購入量(令和8年4月1日現在)

(単位: MBq)

使用可能核種	³ H	¹²⁵ I	¹⁴ C	³² P	³⁵ S	⁵¹ Cr	³³ P	¹⁸ F	²¹¹ At
購入量(令和7年度実績)	—	—	—	—	—	—	—	333	—

2. 総合研究棟の主な共同利用大型研究機器設置状況

R8.5.1現在

機器名	設置場所
X線照射装置	総合研究棟1階「飼育室9」
CT装置	総合研究棟3階「実験室11」
X線透視装置	総合研究棟3階「実験室12」
リアルタイムPCR (Applied Biosystems, StepOnePlus) 1	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
リアルタイムPCR (Applied Biosystems, StepOnePlus) 2	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
マルチモードプレートリーダー (Molecular Devices, Spectra max iD3)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
PCRシステム (GeneAmp, 9700)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
フローサイトメトリーシステム (セルソーター SONY, SH800)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
フローサイトメトリーシステム (セルアナライザー SONY, SA3800)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
デジタルPCRシステム (ライフテクノロジーズ, QuantStudio Absolute Q)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
紫外可視微量分光計度計 (BECKMAN, DU730)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
ゲル (UVサンプル) 撮影装置 (NIPPON Genetics, FAS-Digi PRO)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
FACSデータ解析用ソフト (Becton Dickinson, FlowJo)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
大型高圧蒸気滅菌器 (三浦工業, S-060CWBH)	総合研究棟4階「P3実験室」
酸素濃度可変機能付きCO2インキュベーター (Thermo, HERACELL 150i)	総合研究棟4階「細胞培養室1」
シーケンサー (Thermo, SeqStudio Genetics Analyzer)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
蛍光顕微鏡システム (キーエンス BZ-X700)	総合研究棟5階「RI測定室」
レーザー共焦点顕微鏡システム (エビデント FV3000)	総合研究棟5階「RI微生物実験室」
化学発光検出装置 (Vilber Bio Imaging Fusion Solo)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」
X線照射装置 (日立 MBRI520R)	総合研究棟5階「RI遠心機室」
自動顕像機 (ダイトマイテック AP9000)	総合研究棟5階「β核種用暗室」
蛍光顕微鏡システム (エビデント APX100)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室5」
レーザー共焦点顕微鏡システム (Zeiss LSM900)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室9」
微量サンプル分光光度計 (GEヘルスケア NanoVue)	総合研究棟4階「組換えDNA実験室10」

その他、安全キャビネット、クリーンベンチ、遠心機、フリーザーなど

11. 寄附・共同研究等講座の設置状況

R8. 5. 1 現在

種類	講座名	出資者	設置期間	寄附総額
寄附講座	スポーツ医学講座	学校法人 栗岡学園 医療法人 和幸会	平成 25 年度～令和 8 年度	2 億 900 万円
寄附講座	血栓止血分子病態学講座	CSL ベーリング株式会社	平成 30 年度～令和 8 年度	9,900 万円
寄附講座	骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	京セラ株式会社	平成 31 年度～令和 8 年度	1 億 2,300 万円
寄附講座	地域医療支援・教育学講座	宇陀市	平成 31 年度～令和 9 年度	1 億 5,800 万円
寄附講座	前立腺小線源治療講座	日本メジフィジックス株式会社	令和 2 年度～令和 10 年度	1 億 4,850 万円
寄附講座	在宅リハビリテーション医療システム学講座	医療法人健和会	令和 7 年度～令和 8 年度	2,600 万円
寄附講座	薬剤耐性制御学講座	合同会社日本耐性菌研究所	令和 8 年度～令和 10 年度	4,500 万円
共同研究講座	分子動態創薬共同研究講座	—	令和 6 年度～令和 8 年度	—
共同研究講座	稀少性止血血栓異常症共同研究講座	—	令和 6 年度～令和 8 年度	—
共同研究講座	止血異常育薬科学共同研究講座	—	令和 7 年度～令和 9 年度	—

12. 国際交流協定締結機関

R8. 5. 1 現在

機関名	国・地域	締結年月
チェンマイ大学	タイ	平成 8 年 8 月
福建医科大学	中国	平成16年12月
ルール大学	ドイツ	平成22年 4 月
ミシガン大学	アメリカ	平成30年12月
ブリガム教育研究所	アメリカ	平成31年 3 月
プリンス・オブ・ソングラー大学	タイ	令和 6 年 1 月
サンライズジャパン病院	カンボジア	令和 6 年10月
キングス・カレッジ・ロンドン	イギリス	令和 7 年 8 月
シドニー大学	オーストラリア	令和 8 年 2 月

13. 国内協定締結機関

R8. 5. 1 現在

機関名	締結年月
同志社女子大学	平成19年 6 月
早稲田大学	平成20年12月
奈良先端科学技術大学院大学	平成21年 3 月
明日香村	平成24年 7 月
株式会社タカトリ	平成25年 6 月
京都府立医科大学、和歌山県立医科大学、大阪市立大学医学部（関西公立医科大学・医学部連合）	平成26年 9 月
橿原市（まちづくり等に関する包括協定）	平成27年 6 月
京都府立医科大学、兵庫医科大学、大阪市立大学医学部、和歌山県立医科大学、大阪医科大学、関西医科大学、近畿大学医学部（関西公立医科大学・医学部連合）	平成27年11月
京都大学	平成29年 3 月
北関東総合警備保障株式会社、栃木県高根沢町（MBT 研究所との部局間協定）	平成29年10月
橿原市（災害時における給水支援に関する協定）	令和 2 年 3 月
MBT リンク株式会社、北海道沼田町（MBT 研究所との部局間協定）	令和 2 年 7 月
一般社団法人北海道総合研究調査会（MBT 研究所との部局間協定）	令和 2 年 7 月
国立大学研究開発法人量子科学技術研究開発機構	令和 2 年12月
株式会社南都銀行	令和 4 年 4 月
よい仕事おこしフェア実行委員会	令和 5 年 2 月
奈良教育大学、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良国立博物館、奈良文化財研究所、奈良工業高等専門学校、奈良県立大学、奈良県立橿原考古学研究所	令和 5 年 3 月
日本郵便近畿支社、一般社団法人 MBT コンソーシアム	令和 6 年 8 月
株式会社モンベル、一般社団法人 MBT コンソーシアム	令和 6 年11月
立命館大学	令和 7 年 1 月
株式会社飛鳥 FC、一般社団法人 MBT コンソーシアム	令和 7 年 8 月

14. 教育研究に関する協定（連携大学院） 15. 大学発ベンチャー企業

R8. 5. 1 現在

機関名	締結年月
独立行政法人国立循環器病研究センター（循環器システム医学）	平成27年3月
公益社団法人地域医療振興協会 市立奈良病院（先端画像下治療開発応用学）	平成29年9月
社会医療法人高清水 高井病院（陽子線腫瘍学）	平成30年3月
一般財団法人小林理学研究所（医療センシング学）	平成30年3月

R8. 5. 1 現在

機関名	認定年月
MBT リンク株式会社	平成30年10月
MBT 微生物学研究所株式会社	令和 3 年 7 月
MBT 感染対策支援コンサルティング株式会社	令和 3 年10月
株式会社 MBT 保健医療衛生研究開発機構	令和 4 年 1 月
モルミル株式会社	令和 4 年 6 月
株式会社 MBT ジョブレオーネ	令和 4 年10月
株式会社オキシキャリア	令和 6 年10月
NPO 法人 MBT 奈良画像診断・IVR 支援ネットワーク	令和 6 年12月
株式会社 NeuroK	令和 8 年 2 月

16. 公開講座「くらしと医学」開催状況

年度（回数）	演 題	演 者	会 場	参加人数
令和7年度特別回 （第55回） 令和8年2月22日	古代奈良の食から広がる世界へー科学でつなぐぐと今の食・健康 奈良からユーラシアへつなぐ四千年の食の考古学 発酵の都・奈良の食をつむいできた微生物たちの力 奈良の柿を科学するー感染症予防の新展開	奈良文化財研究所 国際遺跡研究室室長 庄田 慎矢 奈良先端科学技術大学院大学 ハイオサイエンス領域准教授 渡辺 大輔 医学科長・免疫学教授 伊藤 利洋	畝傍山キャンパス 講堂	220名
令和7年度後期 （第54回） 令和7年10月11日	命の話をしませんか？～救急・若い・人生会議（ACP）～ 夜間頻尿の治し方、付き合ひ方	総合医療学教授 吉本 清巳 泌尿器科学教授 藤本 清秀	畝傍山キャンパス 講堂	250名
令和7年度前期 （第53回） 令和7年9月20日	がん治療を支える“栄養の力” 血液がんに対する治療の進歩 固形がん患者に於ける個別化医療について	栄養管理部部长 藤田 幸男 血液内科学講師 久保 政之 がんゲノム・腫瘍内科学教授 武田 真幸	畝傍山キャンパス 講堂	210名
令和6年度後期 （第52回） 令和6年11月10日	からだに潜むヘルペスウイルスについて知ろう 変形と痛みを伴う足の病気～外反母趾から扁平足まで～	皮膚科学教授 浅田 秀夫 整形外科学教授 田中 康仁	橿原文化会館大 ホール	320名
令和6年度前期 （第51回） 令和6年5月11日	「奈良医大高度生殖医療センター」開設記念シンポジウム 新しい生命の誕生を支援～最新医学と最新システムで不妊症を克服する！～ 基調講演：“高度生殖医療センター”の設立背景と役割 特別講演：本邦における小児・AYA世代がん患者に対するがん・ 生殖医療の現状と課題ーがんとの共生を目指して パネルディスカッション： 患者の期待に応える不妊治療、がん・生殖医療の充実	産婦人科学教授 木村 文則 国際妊孕性温存学会理事 鈴木 直 聖マリアンナ医科大学産婦人科学講座主任教授 木村 文則 モデルーター：産婦人科学教授 遠藤 富美子 パネラー：読売新聞記者 赤崎 正佳 奈良県医師会理事・奈良県産婦人科医会会長 中尾 朋子 関西医科大学高度生殖医療センター 通山 雅司	奈良県 コンベンションセンター 天平ホール	200名
令和5年度後期 （第50回） 令和6年2月3日	奈良医大における保健師教育 見逃してはならないお口の病気ー口腔がんー	公衆衛生看護学教授 城島 哲子 口腔外科学教授 桐田 忠昭	橿原文化会館 大ホール	250名
令和5年度前期 （第49回） 令和5年9月2日	眼の健康が長寿のヒケツ！ 痛みの新しいメカニズム	眼科学教授 緒方 奈保子 解剖学第二教授 和中 明生	橿原文化会館 大ホール	250名
令和4年度後期 （第48回） 令和5年2月11日	災害時に医療者はどう動くか！ーあなたは災害時どうしますか？ー ストレスと脳：脳はストレスにどのように反応するのか あなたのいびき大丈夫ですか？	総合医療学教授 西尾 健治 解剖学第一教授 西 真弓 生化学教授 高澤 伸	奈良県文化会館 国際ホール	250名
令和4年度前期 （第47回） 令和4年10月1日	間質性肺炎について 生魚とアニサキス 脳卒中の予防と治療	臨床病態医学教授 濱田 薫 病原体・感染防御医学教授 吉川 正英 脳神経外科学教授 中瀬 裕之	橿原文化会館 大ホール	250名

第4章 附属図書館

1. 蔵書

R8. 5. 1 現在（冊）

区 分	和 書	洋 書	計	令和7年度 受入雑誌種類数
一般教養図書	15,065	5,177	20,242	26
医学専門図書	45,112	39,979	85,091	272
計	60,177	45,156	105,333	298

2. 利用者数（令和7年度）

区 分	学 生	教職員	一般者	計
館外帯出人	2,078 人	893 人	0 人	2,971 人
館外帯出冊数	3,965 冊	2,207 冊	0 冊	6,172 冊

3. 図書館間相互協力（令和7年度）

区 分	文献複写	現物貸借	計
他機関から依頼を受けた件数	585	16	601
他機関へ依頼した件数	417	59	476

4. 情報提供サービス（令和7年度）

区 分	計
事項調査	320 件
所在調査	471 件
利用説明	481 件

5. 電子ジャーナル・電子ブック（R8. 5. 1 現在）

提供元	電子ジャーナル	電子ブック
Springer Nature	2,100 誌	8,700 点
OVID (LWW)	59 誌	99 点
Oxford University Press	182 誌	12 点
Proquest	5,800 誌	19,700 点
Science Direct (Elsevier)	40 誌	-
Wiley Online Library	842 誌	18 点
メディカルオンライン（国内）	1,648 誌	8,735 点
医書.jp（国内）	120 誌	-
Maruzen eBook Library（国内）	-	1,247 点
その他	837 誌	181 点
合計 電子ジャーナル・電子ブック	11,628 誌	38,692 点

第5章 附 属 病 院

◎理 念

(平成29年4月4日制定)

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

◎方 針

1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践

奈良県内唯一の特定機能病院として高度医療・先端医療を推進します。

また高度救命救急センターに加え、E R救急の整備等により救急医療体制を強化するとともに、奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献します。

2 奈良県内基幹病院としての機能の充実

5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応するとともに、患者安全の取組を推進し、奈良県内基幹病院としての役割を果たしていきます。

3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進

地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支えます。

4 各領域の担い手となる医療人の育成

附属病院における卒後教育を通じて、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムをはじめ各領域の担い手となる患者と心が通い合う医療人を育成し、地域医療の向上に貢献します。

◎行動指針

- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します。

1. 診療体制

(1) 許可病床数

R8.5.1 現在

病 棟		診 療 科		種 別	病床数		
A 病棟	4 階南	眼科 皮膚科 形成外科		一般	32		
	4 階北	総合診療科 救急科			26		
B 病棟	4 階	整形外科		一般	64		
	5 階		SCU		60		
	6 階	脳神経外科 消化器外科・小児外科・乳腺外科			63		
	7 階	消化器・代謝内科 糖尿病・内分泌内科			64		
	8 階	血液内科 耳鼻咽喉・頭頸部外科			63		
C 病棟	1 階	高度救命救急センター	HCU ICU	一般	40		
	3 階	集中治療室			14		
	4 階	泌尿器科			34		
	5 階	脳神経内科 歯科口腔外科 麻酔科 救急科			58		
	6 階	放射線・核医学科 消化器外科・小児外科・乳腺外科 心臓血管外科 呼吸器外科 呼吸器・アレルギー内科			63		
	7 階	循環器内科 腎臓内科			63		
	8 階	呼吸器・アレルギー内科 感染症内科 腫瘍内科 放射線治療科			50		
		感染症内科（感染症センター）			9		
	D 病棟	2 階	精神科・児童精神科		精神	56	
		3 階	精神科・児童精神科		精神	52	
E 病棟	4 階	総合周産期母子医療センター	NICU GCU MFICU	一般	21 32 6		
	5 階		産科		30		
	6 階		バースセンター 婦人科		6 39		
	7 階	小児センター			38		
	その他				9		
	合 計				一般	875	
感染症					9		
精神					108		
開設許可					992		

(2) 外来診療室数

各年度 5 月 1 日現在

診療科名	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8
循環器内科	4	4	4	4	4
呼吸器・アレルギー内科	8	8	8	5	5
消化器・代謝内科	7	7	7	6	6
感染症内科	3	3	3	3	3
脳神経内科	4	4	4	4	4
消化器外科・小児外科・乳腺外科	6	6	6	6	6
脳神経外科	3	3	3	3	3
心臓血管外科／呼吸器外科／先天性心疾患センター	3	3	3	3	3
整形外科／四肢外傷センター	7	7	7	6	6
歯科口腔外科	3	3	3	5	3
産婦人科	4	4	4	4	4
眼科	6	6	6	6	6
小児科	4	4	4	4	4
精神科・児童精神科	8	8	8	8	8
皮膚科	3	3	3	3	3
泌尿器科	4	4	4	3	3
耳鼻咽喉科・頭頸部外科／めまいセンター	6	6	6	6	6
放射線・核医学科	3	3	3	3	3
放射線治療科	4	4	4	4	4
総合診療科	8	8	8	8	8
形成外科	1	1	1	1	1
腎臓内科	2	2	2	2	2
腫瘍内科	2	2	2	2	2
血液内科	-	2	2	3	3
緩和ケアセンター	2	2	2	2	2
周術期管理センター	5	5	5	2	2
ペインセンター	5	5	5	5	5
リウマチセンター	-	-	-	1	1
乳腺センター	3	3	3	3	3
糖尿病・内分泌内科	6	6	6	5	5
新生児・発達外来	2	2	2	2	2
高度生殖医療センター	-	-	2	1	1
合 計	126	128	130	123	121

注：令和 2 年 10 月 1 日腫瘍内科の設置にともない、化学療法外来の表記を腫瘍内科に変更
 令和 5 年 10 月 1 日高度生殖医療センターを開設

2. 患者統計

(1) 入院・外来患者数

(ア) 入院患者数（年度別）

年 度	区 分	一 般 病 棟														精 神 科 病 棟																	
		循環 器内科	腎臓 内科	呼吸器・アレルギー 血液内科	感染症 内科	消化器・代謝内科 糖尿病・内分泌内科	脳神経 内科	消化 器外科・小腸外科・乳腺外科	脳神経 外科	心血管 外科	呼吸器 外科	整形 外科	歯科口腔 外科	産婦人科 産科 (分娩 加算セクター)	小児 科	総合周産期母子 医療センター NICU GCU MFCU			眼科	耳鼻 咽喉・頭頸部 外科	皮膚科	泌尿 器科	放射線・放射線 検査科	麻酔科	救急科	総合 診療科	形成 外科	腫瘍 内科	計				
令和 3	入院患者 延数	11,152	6,389	16,417	3,661	14,563	880	9,677	17,113	16,859	8,570	2,296	13,528	4,891	6,971 (662)	9,299	7,409	5,957	4,381	1,395	4,632	7,859	2,442	8,004	4,167	773	519	12,908	5,078	2,070	0	25,778	235,638
	一日平均 入院患者数	31	18	45	10	40	2	27	47	46	23	6	37	13	19 (1.8)	25	20	16	12	4	13	22	7	22	11	2	1	35	14	6	0	71	646
令和 4	入院患者 延数	10,876	5,633	16,526	2,644	14,886	849	10,045	17,022	16,835	7,692	2,250	15,837	4,883	6,307 (726)	8,369	6,765	5,434	4,063	1,330	5,018	7,707	2,095	7,937	3,710	767	820	14,896	4,668	2,215	482	26,294	234,855
	一日平均 入院患者数	30	15	45	7	41	2	28	47	46	21	6	43	13	17 (2.0)	23	19	15	11	4	14	21	6	22	10	2	2	41	13	6	1	72	643
令和 5	入院患者 延数	11,901	6,240	11,361	2,273	15,946	888	10,620	20,530	17,615	6,591	2,375	17,159	5,976	7,766 (158)	8,701	8,069	6,232	4,314	1,754	4,757	8,767	2,908	9,323	4,765	512	632	15,002	4,483	2,422	1,259	29,556	258,045
	一日平均 入院患者数	33	17	31	20	44	2	29	56	48	18	6	47	16	21 (0.4)	24	22	17	12	5	13	24	8	25	13	1	2	41	12	7	3	81	705
令和 6	入院患者 延数	13,425	6,240	13,701	3,285	17,697	1,010	10,818	23,437	18,477	6,596	2,926	18,703	6,287	8,805 (239)	9,384	8,501	5,994	3,892	2,020	5,038	8,449	2,898	10,481	4,816	393	929	15,976	5,287	2,429	2,071	31,240	279,897
	一日平均 入院患者数	37	17	38	24	48	3	30	64	51	18	8	51	17	24 (0.7)	26	23	16	11	6	14	23	8	29	13	1	3	44	14	7	6	86	767
令和 7	入院患者 延数	14,625	6,312	14,996	9,905	17,176	1,163	11,206	24,810	19,113	7,400	2,696	17,976	3,982	10,819 (705)	9,938	8,866	6,462	3,448	2,190	6,306	8,706	3,059	10,611	4,361	33	816	16,762	4,600	2,339	1,791	34,535	289,403
	一日平均 入院患者数	40	17	41	27	47	3	31	68	52	20	7	49	11	30 (1.9)	27	24	18	9	6	17	24	8	29	12	0	2	46	13	6	5	95	793

注：令和4年11月1日から呼吸器・アレルギー・血液内科を呼吸器・アレルギー内科と血液内科に変更。ただし令和4年度データは両診療科合計。

令和5年10月1日から感染制御内科を感染症内科に変更。

令和8年4月1日から精神科を精神科・児童精神科に変更。

(イ) 新入退院患者数・平均在院日数（年度別）

年 度	区 分	一 般 病 棟										精 神 科 病 棟																						
		循環 器内科	腎臓 内科	呼吸器・アレルギー内科		消化器・代謝内科		脳神経 内科	消化 器科・小児科・乳腺外科	脳神経 外科	心臓血 管 外科	呼吸 器 外科	整形 外科	歯科口 腔 外科	産婦人科			眼科	耳鼻 咽喉・頭頸部 外科	皮膚 科	泌尿 器科	放射線・核医学 診療科	放射線 治療科	麻酔 科	救急 科	総合 診療 科	形成 外科	腫瘍 内科	計					
				アレルギー 血液内科	感染症 内科	糖尿病・内分泌 内科	消化器・代謝内科								産科 (分娩 加算) 婦人科	小児 科	総合周産期母子 医療センター																	
令和3	新入院	1,072	382		735	206	1,619	73	507	1,469	944	226	211	875	218	746 (79)	1,065	678	188	167	164	1,237	632	162	1,000	454	25	100	918	224	113	0	349	16,759
	退院	1,066	393		758	183	1,599	75	534	1,459	943	240	211	877	217	876 (71)	1,048	687	73	285	34	1,226	618	154	1,007	453	22	100	780	229	123	0	388	16,658
	平均 在院日数	7.0	12.9		16.3	9.3	7.5	9.8	13.6	10.3	10.9	14.9	5.5	13.9	17.8	6.7 (6.9)	7.7	9.0	27.3	13.7	7.3	7.3	10.4	13.1	6.8	7.7	28.9	4.1	7.8	17.1	15.7	0.0	61.0	11.2
令和4	新入院	1,092	353		832	196	1,558	71	424	1,384	1,018	229	214	1,032	217	745 (85)	1,106	750	196	180	189	1,441	635	151	1,048	475	21	106	984	241	166	21	344	17,419
	退院	1,090	374		883	181	1,552	70	432	1,390	1,009	239	214	1,014	216	886 (85)	1,106	768	52	325	53	1,435	637	146	1,047	477	22	105	886	236	173	23	361	17,402
	平均 在院日数	6.7	12.7		16.0	7.6	8.0	9.4	16.3	10.1	9.7	13.8	4.3	13.7	16.2	5.8 (6.3)	6.5	7.5	24.9	11.0	6.0	6.9	10.5	12.4	6.5	6.5	33.1	6.7	8.6	15.0	11.8	15.3	67.3	10.8
令和5	新入院	1,197	376	749	326	173	1,717	84	462	1,631	1,031	230	222	1,081	252	771 (18)	1,137	755	194	149	214	1,294	795	163	1,192	490	16	115	1,155	249	159	79	313	18,771
	退院	1,184	374	769	340	164	1,697	80	459	1,653	1,027	244	224	1,063	251	947 (31)	1,135	760	35	289	46	1,306	800	167	1,196	499	16	117	1,086	247	160	82	348	18,765
	平均 在院日数	6.9	13.9	13.3	19.4	8.4	8.1	8.9	17.6	10.3	9.3	11.6	3.9	14.9	18.6 (3.8)	7.1	6.6	8.9	29.4	13.2	7.5	6.5	9.3	15.6	6.7	8.1	24.2	4.4	7.5	15.0	14.3	13.8	80.4	11.0
令和6	新入院	1,268	362	860	427	278	1,750	88	468	1,789	1,038	225	258	1,145	328	779 (21)	1,292	830	222	166	281	1,428	830	188	1,197	524	12	149	1,149	251	208	136	384	20,310
	退院	1,253	371	904	439	245	1,715	86	477	1,816	1,023	209	253	1,142	326	994 (50)	1,296	847	66	312	52	1,431	827	186	1,196	528	11	145	1,072	248	211	145	388	20,214
	平均 在院日数	7.3	14.9	14.2	18.1	8.3	9.0	10.0	17.3	11.3	9.7	11.7	3.8	15.0	16.9 (3.4)	7.6	6.4	8.3	24.6	10.9	6.5	4.8	8.5	13.2	7.6	7.5	30.6	5.2	7.8	17.8	10.4	12.3	73.6	11.1
令和7	新入院	1,570	387	903	495	174	1,675	92	481	1,792	1,046	241	277	1,075	270	956 (31)	1,442	909	225	164	214	1,736	862	209	1,344	536	1	131	1,135	235	234	122	426	21,359
	退院	1,545	394	944	506	155	1,662	92	484	1,807	1,045	266	282	1,074	277	1,083 (137)	1,466	911	83	300	64	1,718	870	200	1,347	529	1	131	1,036	232	240	125	446	21,315
	平均 在院日数	6.6	13.1	14.6	17.7	10.3	9.1	10.8	17.5	11.4	10.0	11.2	3.3	15.3	13.1 (4.0)	7.9	5.7	8.1	26.5	10.1	7.2	2.9	8.3	13.3	6.6	6.6	32.0	5.2	8.3	17.0	8.7	12.3	68.9	10.6

注：令和4年11月1日から呼吸器・アレルギー・血液内科を呼吸器・アレルギー内科と血液内科に変更。ただし令和4年度データは両診療科合計。

令和5年10月1日から感染制御内科を感染症内科に変更。

令和8年4月1日から精神科を精神科・児童精神科に変更。

(ウ) 外来患者数（年度別）

年 度	区 分	循環器 内科	腎臓 内科	呼吸器・アレルギー 内科		感染症 内科	消化器・代謝内科 糖尿病・ 内分泌科			脳神経 内科	消化器 外科・ 小児外科・ 乳腺外科	脳神経 外科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	整形 外科	歯科口腔 外科	産婦 人科	小児科	眼科	耳鼻 咽喉・ 頭頸部 外科	皮膚科	泌尿 器科	精神科・ 児童 精神科	放射線・ 核医学科 (件数)	放射線 治療科	麻酔科	救急科	総合 診療科	形成 外科	腫瘍 内科	専門 外来等	リハビリ テーション科 (療養型)	計
令和3	外来患者 延数	32,414	17,800	39,484		5,067	37,648	20,954		16,992	34,630	19,285	3,435	3,863	25,818	25,593	29,736	18,178	22,109	23,281	20,816	24,981	64,376	5,204 (118,862)	13,329	11,330	1,579	11,645	4,512	1,632	10,750	(88,494)	546,261 (753,617)
	一日平均 外来患者数	134	74	163		21	156	87		70	143	80	14	15	107	106	123	75	91	96	86	103	286	22 (491)	55	47	4	48	19	7	44	(366)	2,257 (3,113)
令和4	外来患者 延数	32,581	18,290	39,908		6,529	36,996	21,345		18,400	35,659	19,505	3,620	3,733	25,929	26,226	29,914	18,920	24,644	24,089	22,780	26,939	63,483	5,433 (123,176)	13,590	12,051	1,574	14,662	4,731	1,907	10,191	(95,677)	565,629 (784,482)
	一日平均 外来患者数	134	75	164		27	152	88		76	147	80	15	15	107	108	123	78	101	99	94	111	289	22 (509)	56	50	4	60	19	8	42	(394)	2,228 (3,230)
令和5	外来患者 延数	33,438	18,750	13,120		4,249	36,764	22,412		18,478	37,484	19,811	3,636	3,871	25,577	27,832	32,110	18,785	22,335	25,855	23,459	28,446	62,092	5,914 (128,793)	15,890	13,067	1,830	14,436	4,984	2,648	10,480	(110,441)	577,658 (816,892)
	一日平均 外来患者数	138	77	123		17	151	92		76	154	82	15	16	105	115	132	77	92	106	97	117	256	24 (530)	65	54	5	59	21	11	43	(454)	2,377 (3,359)
令和6	外来患者 延数	33,940	18,504	30,081		4,020	36,149	22,572		18,237	38,661	18,437	3,646	4,187	26,314	26,594	31,610	19,262	23,133	25,830	24,243	28,846	51,034	5,955 (132,737)	15,451	13,701	2,098	15,341	5,155	3,387	10,167	(120,172)	570,973 (823,882)
	一日平均 外来患者数	139	76	124		17	149	93		75	139	76	15	17	108	109	130	79	95	106	100	119	210	25 (544)	64	56	9	63	21	14	42	(495)	2,350 (3,388)
令和7	外来患者 延数	34,039	18,702	29,535		3,334	34,927	23,217		18,174	33,432	18,662	3,973	4,339	24,633	24,672	35,005	19,565	24,970	24,926	24,062	28,994	48,469	5,616 (131,764)	14,712	14,311	2,023	15,324	5,125	3,212	11,437	(114,058)	564,791 (810,613)
	一日平均 外来患者数	141	77	122		16	144	96		75	138	77	16	18	102	102	145	81	103	103	99	120	200	23 (540)	61	59	8	63	21	13	47	(469)	2,334 (3,343)

注：診療科以外の各専門外来等の受診患者合計数を「専門外来等」欄に記載。

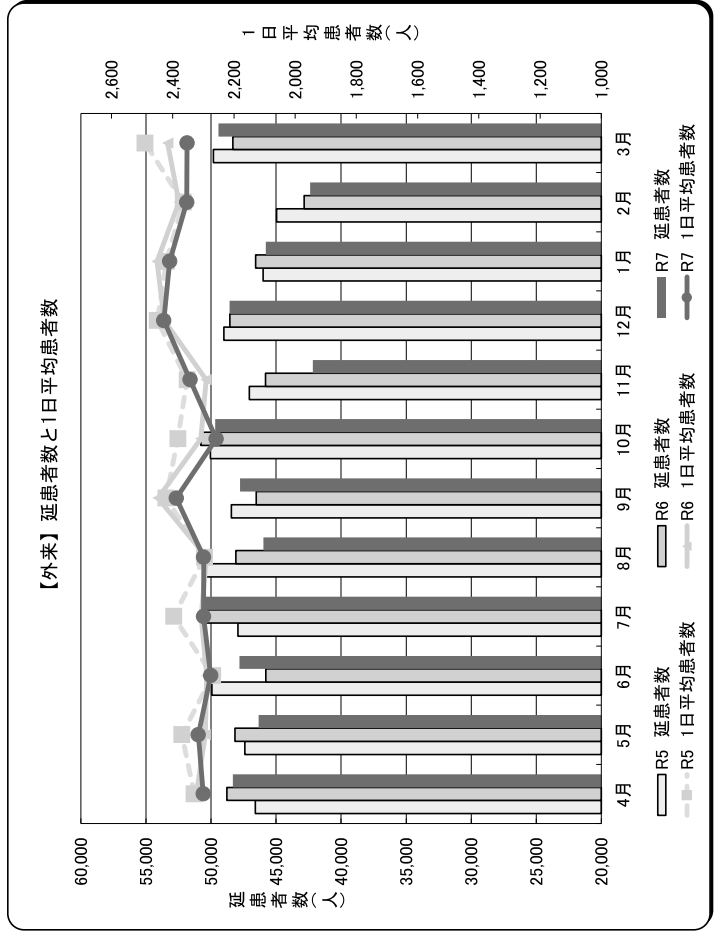
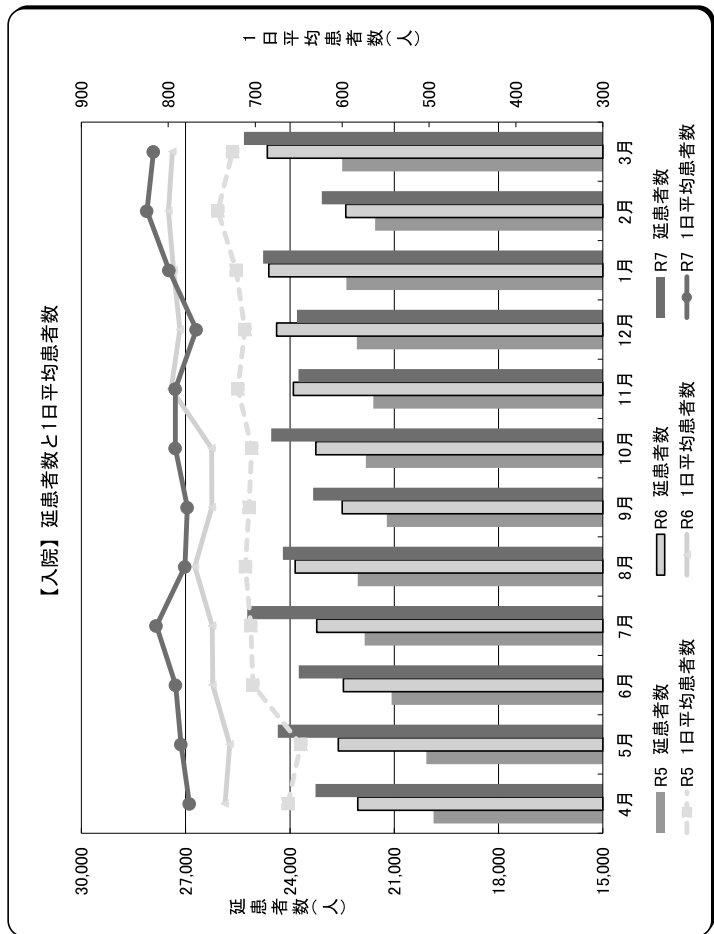
令和4年11月1日から呼吸器・アレルギー・血液内科を呼吸器・アレルギー内科と血液内科に変更。ただし令和4年度データは両診療科合計。

令和5年10月1日から感染制御内科を感染症内科に変更。

令和8年4月1日から精神科を精神科・児童精神科に変更。

(二) 入院・外来患者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院延患者数	19,871	20,073	21,075	21,854	22,048	21,217	21,818	21,597	22,073	22,378	21,546	22,495	258,045
令和5年度													
令和6年度	22,045	22,608	22,466	23,230	23,853	22,495	23,253	23,904	24,388	24,609	22,395	24,651	279,897
令和7年度	23,265	24,346	23,744	25,225	24,205	23,337	24,543	23,755	23,799	24,772	23,087	25,325	289,403
1日平均患者数	662	648	703	705	711	707	704	720	712	722	743	726	705
令和5年度													
令和6年度	735	729	749	749	770	750	750	797	787	794	800	795	767
令和7年度	776	785	792	814	781	778	792	792	768	799	825	817	793
外来延患者数	46,593	47,400	49,936	47,937	50,501	48,437	50,046	47,055	49,009	45,992	44,948	49,804	577,658
令和5年度													
令和6年度	48,779	48,167	45,779	50,761	48,089	46,514	50,786	45,810	48,556	46,575	42,829	48,328	570,973
令和7年度	48,308	46,329	47,801	50,592	45,975	47,769	49,673	42,174	48,582	45,783	42,369	49,422	564,777
1日平均患者数	2,330	2,370	2,270	2,397	2,296	2,422	2,383	2,353	2,451	2,421	2,366	2,490	2,377
令和5年度													
令和6年度	2,323	2,294	2,289	2,307	2,290	2,448	2,309	2,291	2,428	2,451	2,379	2,416	2,350
令和7年度	2,300	2,317	2,276	2,300	2,299	2,389	2,258	2,343	2,429	2,410	2,354	2,353	2,334



(2) 中央診療施設稼働状況

(ア) 中央臨床検査部検査件数（年度別）

年 度 検査項目	令和 3		令和 4		令和 5		令和 6		令和 7	
	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数
血液検査	1,632,058	25,502,537	1,695,750	26,050,151	1,793,302	28,198,683	1,845,180	28,525,791	1,855,141	28,642,982
生化学検査	4,684,310	65,265,557	4,880,462	68,290,687	5,148,676	72,128,372	5,290,650	75,402,018	5,360,302	78,154,860
微生物検査	65,481	14,123,079	73,162	15,515,063	68,208	11,926,442	69,048	11,627,045	69,066	11,638,317
免疫検査	110,408	12,248,889	115,231	12,272,699	123,641	13,261,376	127,904	14,218,181	133,093	14,133,599
生理機能検査	63,753	24,957,255	66,543	25,892,613	72,019	27,372,524	73,827	27,862,452	75,432	27,190,450
緊急検査	1,748,484	14,597,265	1,909,975	15,030,435	1,987,719	15,747,067	2,007,365	16,627,201	2,036,359	16,139,472
外注分	132,819	30,992,284	140,317	35,135,991	150,578	39,307,243	153,451	41,380,393	159,752	41,407,541
集中治療	201,314	7,794,766	184,762	7,078,480	168,809	6,409,177	177,422	6,667,167	190,170	7,039,869
合 計	8,638,627	195,481,632	9,066,202	205,266,119	9,512,952	214,350,884	9,744,847	222,310,248	9,879,315	224,347,090

注：微生物検査に職員細菌検査も含む

(イ) 輸血部関係 (年度別)

1. 検査件数

検査項目		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
血液型	(件)	12,412	13,780	14,949	14,941	15,126
赤血球不規則抗体	(件)	12,127	13,201	14,337	15,586	15,987
交差試験	(本)	8,537	8,750	8,895	10,103	8,083
抗血小板抗体	(件)	28	17	12	5	0

2. 採 血

		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
血小板採取	(件)	11	6	1	1	1
幹細胞採取	(件)	35	14	3	13	32
顆粒球採取	(件)	0	0	0	0	0
骨髄血 (移植用) 採取	(件)	5	5	3	1	3
自己血採取						
200ml	(本)	32	35	33	31	16
400ml	(本)	130	148	129	129	140

3. 輸 血

		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
日赤・赤血球製剤						
200ml 由来製剤	(本)	169	161	186	189	215
400ml 由来製剤	(本)	6,830	6,789	6,930	7,860	7,870
日赤・新鮮凍結血漿製剤						
200ml 由来製剤	(本)	177	126	252	178	209
400ml 由来製剤	(本)	4,009	4,008	3,972	4,256	4,784
450ml	(本)	694	574	491	545	603
日赤・血小板製剤	(単位)	13,154	14,495	14,070	16,350	20,771
自己血輸血	(単位)	282	240	220	178	356

4. 血漿分画製剤

		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
アルブミン製剤						
5% 製剤	(g)	39,000	40,353	32,938	34,330	36,050
20% 製剤	(g)	33,598	45,906	23,346	16,110	11,763
25% 製剤	(g)	425	163	39,475	43,650	41,188
第Ⅷ因子製剤						
人由来	(単位)	651,500	376,500	393,500	189,500	85,500
遺伝子組換え	(単位)	14,720,500	12,540,500	15,461,250	15,720,900	12,392,500
第Ⅸ因子製剤						
人由来	(単位)	141,000	47,000	104,000	158,000	23,900
遺伝子組換え	(単位)	1,714,000	2,184,000	1,941,000	1,689,000	1,606,000
バイパス製剤						
FEIBA	(単位)	0	0	0	0	0
ヘムライブラ	(mg)	139,800	154,830	156,870	160,965	160,305
VII a 製剤	(mg)	1,790	796	974	757	418
第ⅩⅢ因子製剤						
人由来	(ml)	5,436	3,208	1,816	1,544	1,272
AT 製剤	(単位)	681,300	692,400	714,000	656,100	877,800
TM 製剤						
遺伝子組換え	(単位)	8,601,600	6,131,200	7,833,600	6,374,400	8,294,400
接着剤						
シート用	(箱)	299	346	256	294	260
液状用	(ml)	2,719	2,807	2,938	3,389	3,196
免疫グロブリン製剤						
静注用	(g)	9,772	11,639	9,752	12,234	14,843
筋注用	(単位)	3,900	5,100	2,750	4,450	3,000
ハプトグロビン製剤	(単位)	147,000	112,000	99,000	79,000	186,000
IF 製剤	(箱)	0	0	0	0	0
抗悪性腫瘍剤	(mg)	273,100	286,600	385,700	374,100	424,500
その他	(箱)	906	1,131	1,972	1,621	1,096

5. 細胞治療関連

検査項目		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
治験関連業務		20	25	13	4	3
再生医療等製品 (テムセル HS 注)		24	4	1	0	15
クリオプレシピテート作成		216	256	183	201	291
分割製剤		75	60	82	73	76

(ウ) 中央手術部手術件数（年度別）

(件)

科 別	年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
循環器内科		155	140	162	164	205
腎臓内科		—	—	—	—	1
呼吸器・アレルギー内科		9	5	—	1	—
血液内科				3	2	4
感染症内科		—	—	—	—	—
消化器・代謝内科		4	1	7	7	18
糖尿病・内分泌内科						
脳神経内科		1	1	—	—	—
消化器外科・小児外科・乳腺外科		1,010	929	1,017	1,137	1,051
脳神経外科		458	533	499	586	555
心臓血管外科 (先天性心疾患センター含む)		328	313	338	328	357
呼吸器外科		207	220	232	275	283
整形外科		817	924	997	1,096	1,061
歯科口腔外科		203	195	217	233	221
産婦人科		837	894	1,030	1,147	1,252
眼科		1,245	1,516	1,336	1,453	1,806
小児科		3	5	3	6	9
精神科・児童精神科		71	39	62	79	112
皮膚科		—	—	—	—	—
泌尿器科		785	865	944	913	1,022
耳鼻咽喉・頭頸部外科		462	449	582	596	574
放射線・核医学科		67	60	68	67	76
放射線治療科		—	—	—	—	—
麻酔科		96	121	120	106	109
救急科		314	313	346	389	445
総合診療科		1	2	—	1	—
形成外科		138	161	179	207	218
合 計		7,211	7,686	8,142	8,793	9,379

注：令和 4 年 11 月 1 日から呼吸器・アレルギー・血液内科を呼吸器・アレルギー内科と血液内科に変更。ただし令和 4 年度データは両診療科合計。

令和 5 年 10 月 1 日から感染制御内科を感染症内科に変更。

令和 8 年 4 月 1 日から精神科を精神科・児童精神科に変更。

(エ) 中央放射線部診療患者延数（年度別）

(人)

種 類	年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
放 射 線 利 用 人 数	単純撮影	96,198	98,970	105,682	109,028	107,260
	特殊撮影	5,730	6,303	6,416	6,191	5,625
	ハイブリット手術室撮影 移動型 C アーム CT 手術後ポータブル撮影 手術後 CT 撮影 手術支援画像	6,016	6,300	6,609	7,163	7,101
	ポータブル撮影	26,900	25,775	25,167	26,270	26,271
	造影					
	撮影					
	消化管	430	376	435	587	448
	その他	679	684	740	748	895
	IVR センター	5,404	5,710	6,212	6,272	7,091
	CT（治療 CT、IVR-CT を含む）	38,520	41,312	43,676	44,741	44,618
	ハイブリッド ER	—	—	—	474	577
	MR	15,638	15,920	16,155	16,450	16,297
	RI	4,925	4,830	5,140	4,918	4,939
	治療	16,133	15,465	18,231	16,484	15,711
	高精度放射線治療	9,896	9,022	10,959	10,639	10,042
	骨密度その他	1,114	1,255	1,358	1,388	1,358
	合 計	227,583	231,922	246,780	251,353	248,233

注：令和元年 5 月より電子カルテ更新により単純撮影、CT 撮影のオーダー区分変更

令和 3 年 10 月より電子カルテアップグレードにより造影検査（消化管）のオーダー区分変更

(オ) 集中治療部患者延数（年度別）

(人)

年 度		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
種 別	患者延数	3,140	2,555	2,545	2,750	2,722
	1 日平均	9	7	7	8	7
CCU	患者延数	837	940	963	961	1,180
	1 日平均	2	3	3	3	3

(カ) リハビリテーション関係（医療技術センター）

1. 実施単位数（年度別）

(件)

	令和 3				令和 4				令和 5			
	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	計	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	計	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	計
脳血管 I	37,651	18,861	10,371	66,883	34,905	19,730	8,802	63,437	35,028	23,257	12,828	71,113
廃用 I	10,643	1,434	1,217	13,294	10,431	2,693	1,511	14,635	13,719	3,481	1,847	19,047
運動器 I	16,354	2,806	—	19,160	15,954	3,067	—	19,021	19,679	3,750	—	23,429
呼吸器 I	8,699	351	1,413	10,463	8,443	1,505	2,010	11,958	7,544	1,547	1,597	10,688
心大血管 I	11,129	673	—	11,802	9,428	1,136	—	10,564	8,294	749	—	9,043
がんリハ	13,038	1,922	624	15,584	14,415	1,123	636	16,174	18,504	2,079	940	21,523
急性期リハ加算	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—	0
早期リハ加算	60,017	15,566	8,381	83,964	56,460	18,455	7,853	82,768	58,085	20,716	10,498	89,299
初期加算	37,784	8,723	4,579	51,086	35,176	10,098	4,389	49,663	37,019	11,681	5,913	54,613
総合リハ実施計画書	5,816	604	128	6,548	6,032	815	109	6,956	6,499	965	214	7,678
退院時リハ指導	1,602	172	10	1,784	1,845	197	3	2,045	1,632	235	8	1,875

	令和 6				令和 7			
	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	計	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	計
脳血管 I	34,787	22,674	13,933	71,394	32,399	20,101	13,980	66,480
廃用 I	12,629	2,503	2,136	17,268	13,003	2,312	1,785	17,100
運動器 I	18,518	3,021	—	21,539	17,947	2,306	—	20,253
呼吸器 I	9,755	1,873	1,812	13,440	8,809	1,147	1,795	11,751
心大血管 I	8,374	676	—	9,050	8,483	596	—	9,079
がんリハ	18,698	2,271	1,074	22,043	15,528	1,395	713	17,636
急性期リハ加算	6,665	2,590	2,038	11,293	7,329	2,644	2,292	12,265
早期リハ加算	58,236	19,770	11,522	89,528	56,382	15,554	10,626	82,562
初期加算	37,006	11,392	6,314	54,712	36,050	8,664	5,602	50,316
総合リハ実施計画書	7,160	1,021	297	8,478	7,406	895	376	8,677
退院時リハ指導	1,656	153	21	1,830	1,558	98	16	1,672

2. 各療法別患者数（年度別）

(人)

	令和 3			令和 4			令和 5			令和 6			令和 7		
	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計
理学療法	437	58,114	58,551	210	61,565	61,775	206	69,352	69,558	237	75,989	76,226	117	75,124	75,241
作業療法	289	16,707	16,996	40	19,546	19,586	11	23,496	23,507	31	24,426	24,457	15	21,250	21,265
言語聴覚療法	2	10,404	10,406	1	10,302	10,303	4	13,076	13,080	0	14,876	14,876	0	14,225	14,225

(キ) 透析部透析件数（年度別）

年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
件 数	4,576	4,579	4,270	5,010	4,552

(ク) 病院病理部関係（年度別）

組織診検査件数					
年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
外来	5,298	5,279	5,524	5,372	5,262
入院	5,427	5,974	6,407	6,594	6,623

組織診検査作成ブロック数					
年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
外来	8,478	8,714	9,005	8,990	9,231
入院	33,842	36,470	39,675	42,711	40,473

免疫染色検査件数及び標本枚数					
年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
件 数	2,506	3,078	3,431	5,244	5,934
標本枚数	11,693	15,270	16,606	18,661	21,841

特殊染色検査標本枚数					
年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
標本枚数	2,307	2,406	2,755	3,185	3,959

迅速検査件数及び標本枚数					
年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
件 数	574	560	636	733	667
標本枚数	1,475	1,501	1,530	1,607	1,379

細胞診検査件数（一般検体）					
年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
外来	1,952	2,112	2,305	2,170	2,209
入院	1,466	1,534	1,749	1,670	1,727

細胞診検査件数（婦人科）					
年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
外来	4,487	4,368	4,112	3,853	3,751
入院	5	4	9	8	10

細胞診迅速件数					
年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
件 数	124	110	150	221	206

(ケ) 医療技術センター関係（令和 7 年度）

1. 中央材料室部門

内 容			件 数
①手術室中材における滅菌回数・滅菌個数及び洗浄器使用回数			
滅菌	高圧蒸気滅菌	使用回数	3,341
		滅菌個数	82,731
	ホルマリン滅菌	使用回数	223
		滅菌個数	6,867
	プラズマ滅菌	使用回数	3,530
		滅菌個数	17,592
洗浄	自動洗浄器	使用回数	3,299
	減圧沸騰洗浄器	使用回数	1,018
②地下中材における滅菌回数・滅菌個数及び洗浄器使用回数			
滅菌	高圧蒸気滅菌	使用回数	2,320
		滅菌個数	156,368
	ホルマリン滅菌	使用回数	144
		滅菌個数	3,658
	プラズマ滅菌	使用回数	269
		滅菌個数	2,544
洗浄	自動洗浄器	使用回数	279
	超音波洗浄器	使用回数	797
	減圧沸騰洗浄器	使用回数	902
③中材業務および泌尿器科関連業務件数			
機器点検件数			6,158
業者貸出器械の納品・使用前点検数			7,443
修理対応件数			1,242

2. 人工呼吸器部門

内 容		件数
人工呼吸器	新規導入立ち合い	316
	回路交換対応	335
	計	651
NPPV	新規導入立ち合い	153
	回路交換対応	28
	計	181
NHF	新規導入立ち合い	237
	回路交換対応	18
	計	255
在宅人工呼吸器	新規導入立ち合い	42
	回路交換対応	41
	計	83
RTX	計	68

3. 麻酔補助部門

内 容		件 数
診療科	消化器外科・小児外科・乳腺外科	予定 380 緊急 137
	脳神経外科	予定 315 緊急 91
	心臓血管外科・呼吸器外科	予定 372 緊急 77
	耳鼻咽喉・頭頸部外科	予定 287 緊急 34
	泌尿器科	予定 358 緊急 31
	整形外科	予定 419 緊急 47
	産婦人科	予定 437 緊急 208
	歯科口腔外科	予定 114 緊急 8
	形成外科	予定 95 緊急 2
	救急科	予定 163 緊急 105
	眼科	予定 50 緊急 1
	精神科・児童精神科	予定 56 緊急 0
	循環器内科	予定 75 緊急 3
	放射線科	予定 37 緊急 7
	麻酔科	予定 4 緊急 0
	その他の診療科	予定 12 緊急 5
	計	予定 3,174 緊急 756
周術期外来業務（日）		31
神経モニタリング業務		199
ICU 業務（延べ人数）		187
術前訪問		5
術後訪問		5

4. 血液浄化部門

内 容		件 数
血液透析	血液透析（透析部）	3,878
	血液透析（病棟透析）	267
	計	4,145
持続式 血液透析濾過 (CHDF)	CHDF(新規)	147
	CHDF(交換)	602
	計	749
特殊血液浄化	PE	98
	DFPP	36
	PA	0
	PMX	5
	GCAP	6
	LCAP	0
	CART	25
	LDL 吸着（リポソーバ）	32
	LDL 吸着（レオカーナ）	44
	活性炭吸着	0
	計	246

5. 心臓カテーテル検査関連部門

内 容		件 数
循環器内科 (心カテ)	CAG	1,074
	PCI	480
	S-G	242
	FFR	317
	OCT	340
	IVUS	158
	OFDI	20
	ロータブレード	50
	ELCA（エキシマレーザ）	36
	一時ペーシング	102
	計	2,819
循環器内科 (アブレーション)	ABL/EPS	394
	Cryo ABL	10
	3D マッピング（Carto3）	185
	3D マッピング（Ensite）	209
	計	798
小児科	S-G	84
	PTA	20
	計	104
放射線科	RFA	43
	SPP	210
	計	253
補助循環	IABP	36
	PCPS	70
	IMPELLA	36
	計	142

6. 輸血部門

内 容	件 数
末梢血幹細胞採取	33
リンパ球採取	0
骨髓濃縮	0
計	33

7. ペースメーカ部門

内 容		件 数
新規植込み	PM	47
	ICD	16
	CRT-P	2
	CRT-D	4
	S-ICD	5
	ILR	9
	LLPM	36
	WCD	11
	計	130
電池交換	PM	31
	ICD	12
	CRT-P	1
	CRT-D	0
	S-ICD	0
	LLPM	0
	計	44
その他	左心耳閉鎖術	14
外来	循環器内科外来	1,220
	心外外来	1
	小児科外来	16
	計	1,237
各種立会い	定期病棟チェック	175
	当日連絡対応	118
	OP	71
	内視鏡	38
	MRI	113
	放射線	22
	エコー調整	5
	リード抜去	10
	計	552
遠隔モニタリング定期送信	計	6,799
自宅緊急呼出	計	11

8. その他治療機器対応

内 容	件 数
体温調整装置	33
人工臓臓	54
NO 療法	37
N2 療法（低酸素療法）	0
計	124

9. 機器管理部門

内 容	件 数
シリンジポンプ点検	8,529
輸液ポンプ点検	23,589
人工呼吸器点検	1,902
経腸輸液ポンプ点検	573
ドリップアイ点検	1,518
修理件数（ME 対応件数）	284
計	36,395

10. 手術部門

内 容		件 数
自己血回収	血管外科 (AAA)	28
	その他 (整形外科など)	10
	計	38
心外外回り ME 業務	皮膚組織灌流圧検査	47
	血管内焼灼術	8
	下肢抹消血管血流量モニタリング	36
	計	91
ナビゲーション業務	矯正固定術・後方固定術	28
	bio jet	124
	計	152
ダ・ヴィンチ業務	前立腺全摘	60
	腎部分切除	41
	腎盂形成術	5
	膀胱全摘除	16
	仙骨子宮固定術	10
	幽門側胃切除	16
	胃切除術	12
	胃全摘術	7
	食道垂全摘	16
	腓体尾部切除術	10
	腓頭十二指腸切除	10
	腸切除	40
	肝臓切除	7
	縦隔腫瘍摘除	14
	腸切除	59
	子宮摘出	46
	計	369
眼科外回り ME 業務	水晶体再建術	1,305
	硝子体離断術	324
	計	1,629
レーザー対応	泌尿器科	25
	産婦人科	25
	計	50
ME 機器管理業務	シリンジポンプ点検	6,195
	輸液ポンプ点検	980
	電気メス点検	31
	フットポンプ	858
	除細動器点検	16
	修理依頼	84
	計	8,164
清潔補助業務	整形外科 (鏡視下)	31
	整形外科	261
	消化器外科 (鏡視下)	35
	消化器外科	114
	泌尿器科 (鏡視下)	103
	泌尿器科	267
	産婦人科 (鏡視下)	261
	産婦人科	45
	救急科	2
	呼吸器外科	58
	計	1,177

11. 内視鏡部門

内 容	件 数		
	予定	緊急	計
上部内視鏡	67	21	88
上部 EUS	4	0	4
膵 EUS	201	0	201
胆道 EUS	23	0	23
上部 EMR	30	0	30
上部 ESD	174	0	174
ポリペクトミー	5	0	5
上部消化管拡張	30	0	30
胃瘻造設	36	0	36
胃瘻交換	84	0	84
硬化療法	20	0	20
EVL	6	2	8
ERCP	476	7	483
FNA	157	0	157
異物除去術	5	11	16
上部内視鏡止血術	10	4	14
イレウス管	44	11	55
胃ステント留置	17	0	17
大腸内視鏡 (ショートを含む)	471	7	478
大腸ポリペクトミー	236	0	236
大腸 EUS	19	0	19
大腸 EMR	59	0	59
大腸 ESD	54	0	54
下部消化管拡張	16	0	16
小腸内視鏡	82	0	82
下部内視鏡止血術	14	7	21
腹腔鏡	0	0	0
胆道ファイバー	1	0	1
胸腔穿刺 (造影)	0	0	0
カプセル内視鏡 (パテンシー含む)	64	0	64
ブロンコ	324	0	324
合計	2,729	70	2,799
検体係	392	0	392

12. 人工心肺業務

内 容		件数
成人	予定症例	97
	緊急症例	42
	計	139
先天性	予定症例	36
	緊急症例	2
	計	38
TAVI	計	69

※上記件数の外、人工心肺待機として、成人では 7 件、先天性では 1 件

(コ) 中央内視鏡部診療件数（年度別）

(件)

種 別		年 度				
		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
上部消化管	胃内視鏡	4,852	4,970	4,942	4,899	4,738
	EUS	627	521	410	393	348
	EMR	18	14	32	20	35
	ESD	228	212	213	198	188
	ポリペクトミー	2	3	2	5	6
	拡張	78	66	119	88	34
	胃瘻造設（交換）	189	172	182	168	136
	硬化療法	49	66	76	96	90
	EVL					
	ERCP	488	510	544	553	520
	FNA	125	120	149	141	176
	異物除去	23	56	64	43	41
	止血術	154	189	196	157	106
	その他	78	72	110	149	145
下部消化管	大腸内視鏡	1,473	1,496	1,388	1,398	1,333
	大腸 EUS	31	36	41	29	21
	ポリペクトミー	583	566	632	624	646
	大腸 EMR	191	177	177	177	176
	大腸 ESD	41	33	36	65	53
	拡張	4	8	9	18	23
	小腸内視鏡	60	67	62	84	90
	止血術	59	54	75	91	68
	その他	5	4	12	19	26
特 殊	腹腔鏡	0	0	0	0	0
	胆道ファイバー	4	1	0	1	1
	気管支鏡	161	177	294	319	329
	胸腔穿刺（造影）	0	0	0	0	0
	カプセル内視鏡（パテンシーカプセル含む）	48	53	60	40	64
	その他	0	0	4	0	0
合 計		9,571	9,643	9,829	9,775	9,393

(サ) 超音波診療件数（年度別）

(件)

種 別		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
頸部	一般	2,889	3,093	3,105	3,167	3,092
	血管検査	650	678	680	609	576
乳腺	一般	774	891	732	711	741
	造影	12	11	7	0	0
腹部	一般	5,357	5,043	4,792	4,547	4,289
	血管検査	219	270	273	270	321
	造影	207	151	143	120	171
表在	一般	602	776	812	858	882
血管	スクリーニング	—	—	—	529	909
	四肢血管	1,650	1,742	1,947	1,880	1,006
小児	一般	319	229	245	243	287
	血管検査	9	2	13	12	4
合 計		12,688	12,886	12,749	12,946	12,278

(3) 病理解剖件数（年度別）

（件）

科 名		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
循環器内科		1	3	3	3	3
呼吸器・アレルギー		0	2	2	4	4
消化器・内分泌代謝内科		5	1	3	9	6
感染症内科		0	0	1	0	0
脳神経内科		2	3	0	0	1
消化器外科・小児外科・乳腺外科		0	0	0	0	0
脳神経外科		0	0	0	0	0
心臓血管外科		1	0	0	0	0
整形外科 / 四肢外傷センター		0	0	0	0	0
産婦人科	産科	0	1	0	0	0
	婦人科	0	0	0	0	0
小児科		1	3	1	1	1
新生児集中治療部		0	0	1	0	1
精神科・児童精神科		0	0	0	0	0
耳鼻咽喉・頭頸部外科 / めまいセンター		0	0	0	0	0
放射線・核医学科		0	0	0	0	1
救急科		2	0	0	0	1
総合診療科		0	1	0	1	2
腎臓内科		0	2	2	5	1
糖尿病・内分泌内科		0	2	2	5	0
血液内科		1	1	0	0	2
合 計		13	17	13	23	23

(4) 分娩件数（年度別）

（件）

種別 \ 年度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
正常分娩	228	204	227	228	251
異常分娩 （うち帝王切開）	500 (316)	546 (307)	585 (360)	585 (385)	655 (407)
合 計	728	750	812	813	906

注：平成 22 年度以降メディカルバースセンター（平成 23 年 1 月 11 日開設）での分娩件数を含む。

(5) 薬剤関係（年度別）

(件)

年 度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
薬剤管理指導件数	11,880	11,411	13,720	13,206	14,239
注射薬（抗がん薬）混合件数（外来）※	4,475	3,919	5,258	6,079	8,417
注射薬（抗がん薬）混合件数（入院）	48,856	52,319	61,866	63,456	65,748
注射薬（抗がん薬以外）混合件数（入院）	6,353	5,421	8,239	5,868	5,697
治験件数	115	116	121	110	113
治験症例数	214	261	262	194	261

※令和 7 年度より、土、日、祝日の件数含む

調剤薬処方数（年度別）

区 分 年 度		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
外 来	処方枚数	259,752 (1,073)	269,099 (1,117)	274,685 (1,130)	273,298 (1,125)	268,167 (1,108)
	院外処方枚数	33,484 (138)	33,652 (140)	31,785 (131)	29,100 (120)	30,063 (124)
入 院	処方枚数	263,968 (723)	278,856 (764)	304,916 (835)	343,078 (940)	359,868 (986)
	麻薬内外薬処方枚数	4,510 (12)	4,151 (11)	4,555 (13)	4,969 (14)	5,232 (14)
	麻薬注射薬処方枚数	30,429 (83)	30,619 (84)	33,697 (92)	36,385 (100)	36,952 (101)
	注射薬本数	1,562,736 (4,282)	1,493,987 (4,093)	1,642,937 (4,501)	1,742,417 (4,774)	1,779,127 (4,874)

注：（ ）は 1 日当りの数値

(6) 栄養管理関係

(ア) 提供食数（年度別）

種 別 年 度		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
患者食		539,667	535,237	569,156	639,772	666,752
その他（検食等）		7,338	3,530	2,844	3,042	2,214
調乳	食 数	29,765	26,394	30,239	28,195	28,628
	本 数	90,377	85,444	95,190	84,842	81,547

(イ) 栄養指導件数（年度別）

(件)

種 別 年 度		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
個 人	入 院	1,239	1,168	1,358	1,110	1,427
	外 来	2,717	2,337	3,140	3,509	3,612
合 計		3,956	3,505	4,498	4,619	5,039

(ウ) NST 介入件数（年度別）

(件)

種 別 年 度		令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
介入のべ		11,227	10,976	11,280	11,547	11,895
回診		1,542	1,444	1,575	1,338	1,329

(7) 総合相談窓口、患者・家族支援室の相談実績

(ア) 相談内容別件数（年度別）

			令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
総 数			5,756	4,385	4,010
総合相談窓口	医療福祉	経済的問題の解決・調整	1,661	1,251	1,110
		心理・社会的問題の解決・調整	305	277	173
		その他	76	102	46
		計	2,042	1,630	1,329
	虐待及び虐待防止支援	児童及び妊産婦	1,376	1,236	1,184
		障害者虐待	2	2	15
		高齢者虐待	2	5	4
		DV	3	0	27
		その他	1	3	6
		計	1,384	1,246	1,236
	HIV	経済的問題の解決・調整	175	22	23
		プライバシー	7	156	154
		心理・社会的問題の解決・調整	20	3	5
		退院支援	10	2	1
		受診・受療援助	3	21	8
		その他	16	18	4
		計	231	222	195
	難病	病気・病状・診断に関すること	7	20	2
		治療・服薬に関すること	2	4	7
		看護・日常生活に関すること	18	13	14
		福祉制度に関すること	71	586	610
		受診・受療に関すること	22	4	5
		ネットワーク・研究班等への照会	0	0	1
		その他	7	3	0
		計	127	630	639
	がん※ ¹	診断・治療に関すること	227	7	1
		受診・受療に関すること	43	5	0
		療養場所	77	5	1
		社会的・経済的問題	414	87	19
		身体的な問題	185	1	0
		精神的な問題	101	1	1
		家族（遺族）の問題	99	3	0
		患者会	45	0	0
		その他	40	6	0
		計	1,231	115	22
総合相談窓口 心臓病等・脳卒中・	脳卒中 心臓病等	脳卒中	10	6	3
		心臓病	28	7	2
		計	38	13	5
患者・家族支援室	苦情・疑義・争訟	説明・対応	325	251	401
		治療	85	52	10
		費用	35	41	24
		診療体制	28	27	17
		情報関係	30	14	6
		医療事故・過誤	112	46	46
		設備関係	1	0	1
		医療者支援	0	12	10
		情報提供・情報共有	56	68	61
		その他	31	18	8
		計	703	529	584

※ 1 令和 6 年度よりがん相談支援センターは中央診療部門となったため、その相談件数は含まず。

(イ) 相談件数内訳（令和 7 年度）

1. 診療科別

診療科	医療福祉	虐待	HIV	難病	脳・心	苦情等	がん	計
循環器内科	222	0	0	61	1	31	0	315
腎臓内科	282	0	0	115	0	17	3	417
呼吸器・アレルギー内科	11	0	0	28	0	21	1	61
血液内科	7	1	0	30	0	3	1	42
消化器・代謝内科	66	3	0	27	0	27	1	124
感染症内科	18	0	192	4	0	0	0	214
脳神経内科	20	5	0	177	0	20	0	222
消化器外科・小児外科	5	1	0	19	0	15	0	40
脳神経外科	23	8	0	13	0	14	0	58
心臓血管外科 呼吸器外科	140	0	0	1	0	13	0	154
整形外科	47	3	0	17	0	41	2	110
歯科口腔外科	3	1	0	1	0	8	0	13
産婦人科	7	660	0	3	0	44	0	714
眼科	6	0	1	3	0	5	0	15
小児科	107	207	0	4	0	15	0	333
精神科・児童精神科	80	205	2	2	0	95	2	386
皮膚科	11	1	0	15	0	10	0	37
泌尿器科	166	2	0	2	0	21	2	193
耳鼻咽喉・頭頸部外科	16	0	0	7	0	11	4	38
放射線・核医学科	2	0	0	0	0	7	0	9
放射線治療科	0	0	0	0	0	5	2	7
麻酔科	5	23	0	0	0	1	0	29
救急科	28	19	0	0	0	56	0	103
総合診療科	5	0	0	59	0	8	0	72
形成外科	0	0	0	0	0	14	0	14
新生児外来	0	9	0	0	0	0	0	9
緩和ケアセンター	0	0	0	0	0	0	0	0
総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門	2	37	0	0	0	0	0	39
リウマチセンター	1	0	0	7	0	1	0	9
乳腺センター	0	0	0	0	0	1	1	2
糖尿病・内分泌内科	6	0	0	23	0	4	0	33
腫瘍内科	0	0	0	1	0	1	0	2
不明・分類対象外	43	51	0	20	4	75	3	196
合 計	1,329	1,236	195	639	5	584	22	4,010

2. 年齢別

19 歳以下	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	分類対象外	合計
698	374	494	339	522	445	531	393	214	4,010

3. 相談者別

本 人	本人と家族	本人と友人	友人・知人	パートナー	医 師	看護師	保健師	助産師
1,425	142	0	1	0	190	119	29	238
相談員	行政職員	事 務	その他	計				
104	784	114	864	4,010				

4. 相談形態別

対 面	電 話	その他	計
2,010	1,661	339	4,010

(8) インシデント・アクシデント発生状況（令和7年度）

種別	レベル	0a	0b	1	2	3a	3b	4a	4b	5	Z	V	X	計	比率
薬剤		153	13	951	364	68	6	0	0	0	52	0	0	1,607	30.0%
輸血		2	2	17	3	1	0	0	0	0	3	0	0	28	0.5%
治療・処置		27	13	115	69	45	18	0	3	0	51	0	3	344	6.4%
医療機器等		8	5	84	41	9	4	0	0	1	27	0	1	180	3.4%
ドレーン・チューブ		8	4	114	281	440	12	0	0	2	2	1	0	864	16.1%
検査		47	18	201	55	29	10	0	0	0	33	0	0	393	7.3%
療養上の世話		19	3	63	57	23	4	0	0	0	22	4	3	198	3.7%
転倒		0	0	83	552	76	3	0	0	0	0	0	0	714	13.3%
転落		0	0	16	196	10	0	0	0	0	0	0	0	222	4.1%
5555 コール		0	0	0	2	8	24	0	2	6	1	0	11	54	1.0%
合併症		0	0	0	6	8	57	0	4	3	0	0	4	82	1.5%
その他		83	24	188	79	52	16	0	1	5	194	14	11	667	12.5%
合 計		347	82	1,832	1,705	769	154	0	10	17	385	19	33	5,353	

インシデントレベル

影響度・障害の継続性	障害の程度	備 考
0a・なし	未然防止	間違いは実施されなかったが、仮に実施されていた場合、心身への影響は小さかったと考えられる。
0b・なし	未然防止	間違いは実施されなかったが、仮に実施されていた場合、心身への影響は大きかった（4a・4b・5）と考えられる。
1・なし	実害無し	患者への実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できない）
2・一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査の必要性は生じた）
3a・一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した（消毒・湿布・皮膚の縫合・鎮静剤の投与など）
3b・一過性	高度	濃厚な治療を要した（バイタルサインの高度変化・人工呼吸器の装着・手術・入院日数の延長・外来患者の入院・骨折など）
4a・永続的	軽度から中等度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題を伴わない。
4b・永続的	中等度から高度	永続的な障害や後遺症が残る、有意な機能障害や美容上の問題を伴う。
5・死亡	死亡	死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）
Z・その他	その他	
V・院内暴言・暴力	院内暴言・暴力	
X・不可解な合併症／原疾患の経過	不可解な合併症／原疾患の経過	

3. 診療収入関係

(1) 診療収入額（年度別）

	外 来			入 院			計	
	診療収入 (円)	患者数 (人)	一人平均 (円 / 人)	診療収入 (円)	患者数 (人)	一人平均 (円 / 人)	診療収入 (円)	患者数 (人)
令和3	一般 20,797,626,705	544,682	38,183	19,244,800,075	222,730	86,404	40,042,426,780	767,412
	救急 22,399,717	1,579	14,186	1,741,214,575	12,908	134,894	1,763,614,292	14,487
令和4	一般 21,753,592,053	564,055	38,566	19,778,336,843	219,959	89,918	41,531,928,896	784,014
	救急 20,778,277	1,574	13,201	1,804,954,032	14,896	121,170	1,825,732,309	16,470
令和5	一般 23,160,659,175	575,828	40,221	21,717,297,599	243,043	89,356	44,877,956,774	818,871
	救急 23,009,841	1,830	12,574	1,900,803,230	15,002	126,703	1,923,813,071	16,832
令和6	一般 24,077,955,293	568,875	42,326	23,873,307,826	263,921	90,456	47,951,263,119	832,796
	救急 22,669,644	2,098	10,805	2,046,249,350	15,976	128,083	2,068,918,994	18,074
令和7	一般 25,575,660,850	562,768	45,446	25,539,503,021	272,641	93,674	51,115,163,871	835,409
	救急 24,730,644	2,023	12,225	2,110,886,675	16,762	125,933	2,135,617,319	18,785

注：室料差額は入院に含む。

(2) 特別療養環境室（個室等）室料差額収益額（年度別）

種 別		病 棟	病床数（床） (令和8年4月現在)	料 金（円） (1日につき) ※下段（）内は、 R7.9末までの料金	年度別収益（円）		
					令和5	令和6	令和7
1人 部屋	特S室	C病棟	3	29,150円 (32,150円)	2,893,500	6,847,950	6,142,450
	特A室	E棟産科病棟	18	24,750円 (22,620円)	93,480,630	102,129,300	114,486,930
	特A室	B病棟	4	22,660円 (22,620円)			11,003,240
	特B室	E棟婦人科病棟	5	17,380円 (15,910円)	23,164,960	20,969,380	24,392,580
	S室	A・B・C病棟 E棟小児センター	118	11,660円 (10,680円)	284,985,120	325,921,560	364,383,240
	A室	D病棟	1	8,580円 (7,850円)	1,004,800	981,250	1,971,780
	B室	D病棟	31	5,610円 (5,130円)	33,514,290	33,375,780	43,868,580
2人 部屋	C室	D病棟	4	2,200円 (1,980円)	528,660	1,623,600	1,475,540
計					439,571,960	491,848,820	567,724,340

4. 附属病院の主な医療機器設置状況

R8. 3. 31 現在

備 品 名	設 置 場 所	数量	取得年月日
(取得価格 1 億円以上)			
X 線 CT 診断装置	高度救命救急センター	1	R6.3.29
da Vinci Xi サージカルシステム	(中央) 中央手術部	1 式	R4.9.25
放射線画像情報システム	(中央) 中央放射線部	1 式	R3.10.29
脳機能計測 3T 超電導磁気共鳴撮影装置 (31 番撮影室)	精神医療センター	1 式	R2.1.6
AG-CT 装置 (体幹部・四肢血管撮影装置)	(中央) 中央放射線部	1 式	H30.10.10
心臓血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.4.26
心臓血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.3.31
洗浄器・滅菌器	(中央) 中央材料室	1 式	H28.9.30
手術映像記録・配信システム	(中央) 中央手術部	1 式	H28.8.31
高精度放射線治療システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.9.27
ハイブリッド手術室血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
PET-CT 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
RALS 位置決め透視装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
放射線治療部門システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.1.31
頭部血管撮影装置 (23 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.3.31
全身用磁気共鳴診断装置 (18 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.3.18
全身用磁気共鳴診断装置 (19 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H27.11.30
da Vinci Xi サージカルシステム	(中央) 中央手術部	1 式	H27.12.20
医用画像情報システム	経営企画課	1 式	H26.9.29
放射線治療装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H25.11.28
全身用磁気共鳴断層撮影装置 (30 番撮影室)	病院本館 (旧救急棟) 1 階	1 式	H21.3.31
医用画像情報システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H21.3.31
全身用磁気共鳴断層撮影装置 (20 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H19.7.27
高精度放射線治療システム	(中央) 中央放射線部	1	R7.3.31
血管撮影装置・CT 装置複合撮影 (IVR-CT) システム	(中央) 中央放射線部	1	R7.1.31
X 線 CT 診断システム	(中央) 中央放射線部	1	R7.1.31
超電導磁気共鳴診断装置	(中央) 中央放射線部	1	R8.3.31
(取得価格 5 千万円以上)			
NICU 部門システム	周産期医療センター	1	R6.3.29
人工心肺装置	(中央) 中央手術部	1	R6.2.28
眼科用手術顕微鏡	(中央) 中央手術部	1 式	R5.3.31
CT 装置 (17 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	R2.1.6
脳神経外科用顕微鏡装置	(中央) 中央手術部	1 式	H30.12.13
注射薬自動払出システム	薬剤部	1 式	H30.1.18
重症病棟支援システム	NICU	1 式	H29.3.31
受付・採血採尿業務支援システム	(中央) 中央臨床検査部	1 式	H28.8.31
SPECT-CT 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
核医学検査装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
手術台	(中央) 中央手術部	11	H28.8.29
人工心肺装置	(中央) 中央手術部	1 式	H28.9.30
生体情報モニタシステム	(中央) 中央手術部	16	H28.8.31
生体情報モニタシステム	(中央) 高度救命救急センター	1 式	H28.3.24
全身用 X 線 CT 診断装置	(病) 救急科	1	H26.3.31
放射線治療マネジメントシステム	附属病院関係	1 式	H26.1.29
生化学自動分析システム	附属病院関係	1 式	H25.11.29
バイオハザード対策ユニット	附属病院関係	1 式	H25.11.29
検体搬送システム	附属病院関係	1 式	H25.10.31
CT 装置	附属病院関係	1 式	H25.9.30
生体情報患者集中監視モニタリングシステム	附属病院関係	1 式	H25.3.29
トータルケアベッドリース契約	(中央) 集中治療部	1 式	H24.12.1
泌尿器専用 X 線 TV 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H24.2.29
CT 装置 (16 番撮影装置)	(中央) 中央放射線部	1 式	H23.3.31
モニタリングシステム (情報管理システム)	E 病棟 4 階	1	H19.3.26
血液浄化透析関連機器	透析部	27	R6.4.9
汎用自動分析装置	(中央) 中央臨床検査部	1	R8.3.31
採血・採尿業務支援システム	(中央) 中央臨床検査部	1	R8.3.31
抗がん薬混合調製ロボット	薬剤部	1	R8.3.31
3D イメージングナビゲーションシステム	整形外科	1	R7.4.30
手術用顕微鏡	脳神経外科	1	R7.8.26

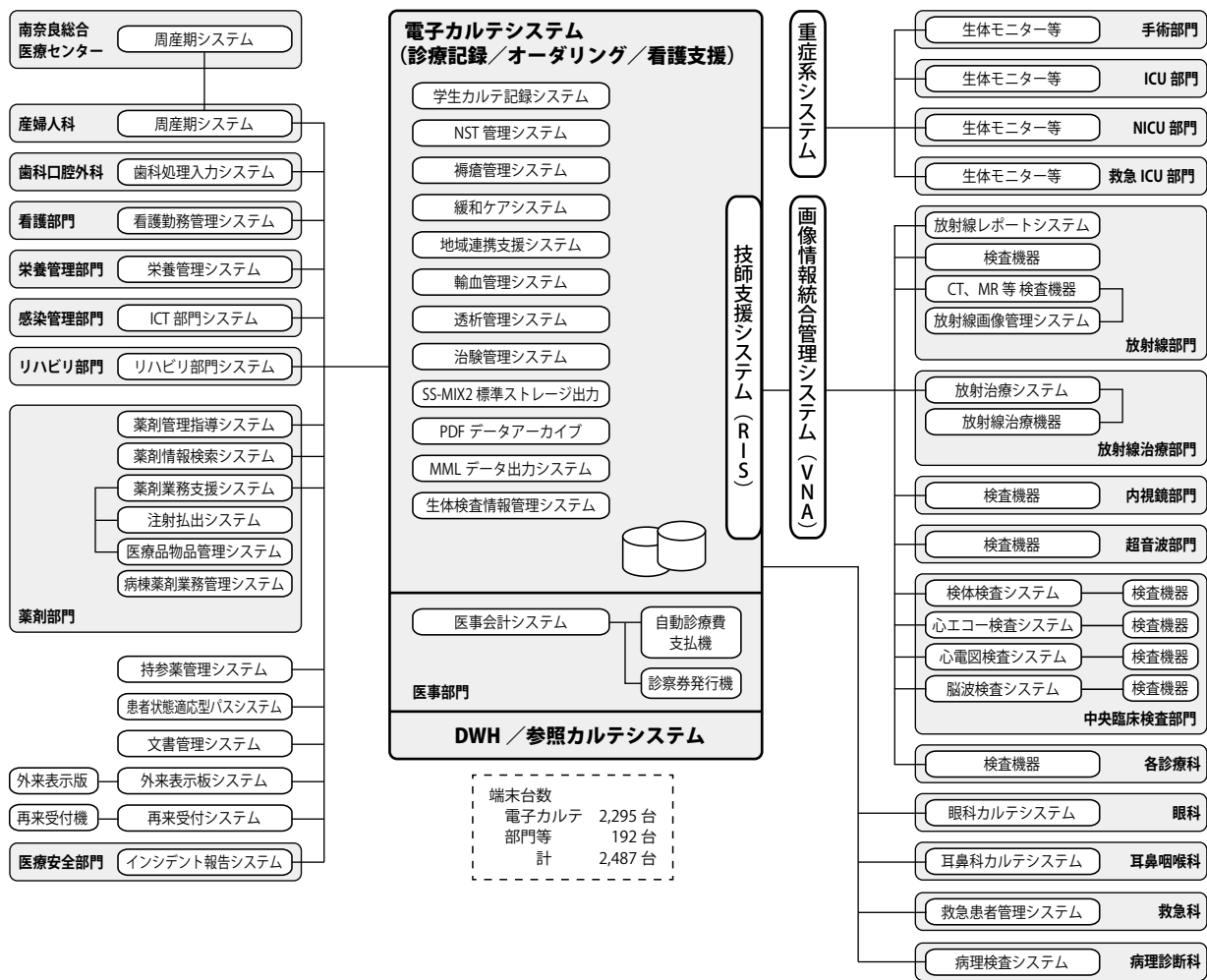
5. 総合医療情報システム（電子カルテシステム）

沿革

昭和 60 年	2 月	大型コンピュータにより電算業務運用開始
平成 11 年	4 月	オーダーリングシステム（外来系システム）運用開始
平成 13 年	4 月	オーダーリングシステム（入院系システム）運用開始
平成 18 年	12 月	総合医療情報システム運用開始 （富士通：EG-MAIN-EX WebEdition）
平成 19 年	4 月	電子カルテ運用開始
平成 25 年	2 月	総合医療情報システムのハードウェア更新 （サーバ、クライアント、ネットワーク等）
平成 28 年	4 月	南奈良総合医療センターと周産期システムの接続
令和 元 年	5 月	総合医療情報システム更新（富士通：EG-MAIN-GX） 画像情報統合管理システム（VNA）運用開始 患者状態適応型パスシステム（PCAPS）運用開始

総合医療情報システム全体構成図

R8. 5. 1 現在



四条キャンパス 総合案内

R8.5.1 現在

旧看護教育棟				旧附属図書館				旧看護学棟				旧看護学棟			
大学本部棟		エネルギーセンター		旧附属図書館		厳重会館		教育研修棟		中央臨床検査部 医局・技局 更衣室		公衆衛生学 疫学・予防医学 微生物感染症学 未来基礎医学 微生物感染症学・免疫学・ 公衆衛生学 疫学・予防医学実習室 県民健康増進支援センター 産学官連携推進センター 国際交流センター 研究推進課 MBT 研究所 研究力向上支援センター 医学研究支援センター 大学共同研究施設		DNA 実験施設	
3 階	財務企画課 参与室 大和漢方医学 薬学センター 大会議室 大会議室控室 小会議室 更衣室	臨床英語教室		臨床英語教室		大ホール 特別会議室 3 控室		学生自習室 国試対策室	看護実践・ キャリア支援センター 研修室 1 職員組合事務室 リハビリ技局 臨床研究センター 研究室 奈良県臓器バンク 治療コーディネーター室	生理学第一 生理学第二 薬理学 生理・薬理実習室 標本室 セミナー室 分子動態創薬 骨軟部組織制御・機能再生医学 大学共同研究施設	DNA 実験施設 動物実験施設				
	理事長・学長室 副理事長室 理事室 医学部長室 法人企画部長室 参事室 総務広報課 人事課 危機管理室 電話交換室														
2 階	教育支援課 学生相談室 教育開発センター 危機管理室分室 更衣室	臨床英語教室		臨床英語教室		特別会議室 1 特別会議室 2 会議室 3 研修室 1 研修室 2	スキルスラボ 人事課障害者雇用 推進係	スキルスラボ シミュレーション室 スキルスラボ管理室 更衣室	解剖学第一 生化学 分子病理学 生化学実習室 動物施設管理室 血栓止血先端医学 血栓止血研究センター 大学共同研究施設 オートファジー・抗老化研究センター	動物実験施設					
1 階	医学科同窓会室 奈良医学雑誌編集室 産学官連携推進センター 書籍売店					健康管理センター 研究室 監査室	更衣室等	解剖学第二 法医学 法医学解剖室 系統解剖実験室 基礎第 1 講義室 基礎第 2 講義室 学生ホール 大学共同研究施設	動物実験施設						
旧看護学棟				旧看護学棟				旧看護学棟				旧看護学棟			
6 階		総合研究棟		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設			
5 階		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設			
4 階		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設			
3 階		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設			
2 階		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設			
1 階		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設			
地階		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設		DNA 実験施設 動物実験施設			

敵傍山キャンパス 総合案内

R8. 5. 1 現在

講堂図書棟		講義棟		実習研究棟		体育施設棟	
3階	応接室 茶室	演習室 (28 室) ラーニングコモンズ	会議室等 アカデミックサロン	弓道場	3階		
2階	講堂 閲覧席 密集書架 学習室	医看合同講義室 精神・公衆衛生看護学習室 臨床手技トレーニング室 大講義室 (4 室) 中講義室 (4 室) 小講義室 (3 室) 多目的小会議 (2 室) ラーニングコモンズ	基礎看護学習室 成人看護学習室 看護学科講義室 (3 室) 看護学科研究室 (2 室) 助産看護学習室 在宅・老年看護実習室 母性・小児看護実習室 臨床英語ゼミ室 看護学科同窓会 研究室 (3 室) 会議室 アカデミックサロン ラーニングコモンズ 数理 A 1 医学教授図書室	道場 ミーティングルーム 多目的ルーム 軽音室	2階		
1階	講堂 講義控室 A 講義控室 B 図書館受付 図書館事務室 閲覧席 視聴覚ホール グループ学習室 1 グループ学習室 2	教育支援課 健康管理センター 医看合同講義室 非常勤講師控室 (2 室) 多目的中講義室 (2 室) コンビニエンスストア レストラン・カフェ ラーニングコモンズ	講師控室 1 講師控室 2 研修室 1 研修室 2 生物実習室 化学実習室 物理実習室 LL 教室 生物研究室 化学研究室 物理研究室 共有実験室 (大) 共有実験室 (小・2 室) 会議室 1 会議室 2 ナースセンター アカデミックサロン ラーニングコモンズ 数理 A 1 医学	アリーナ トレーニングジム 相撲場	1階		

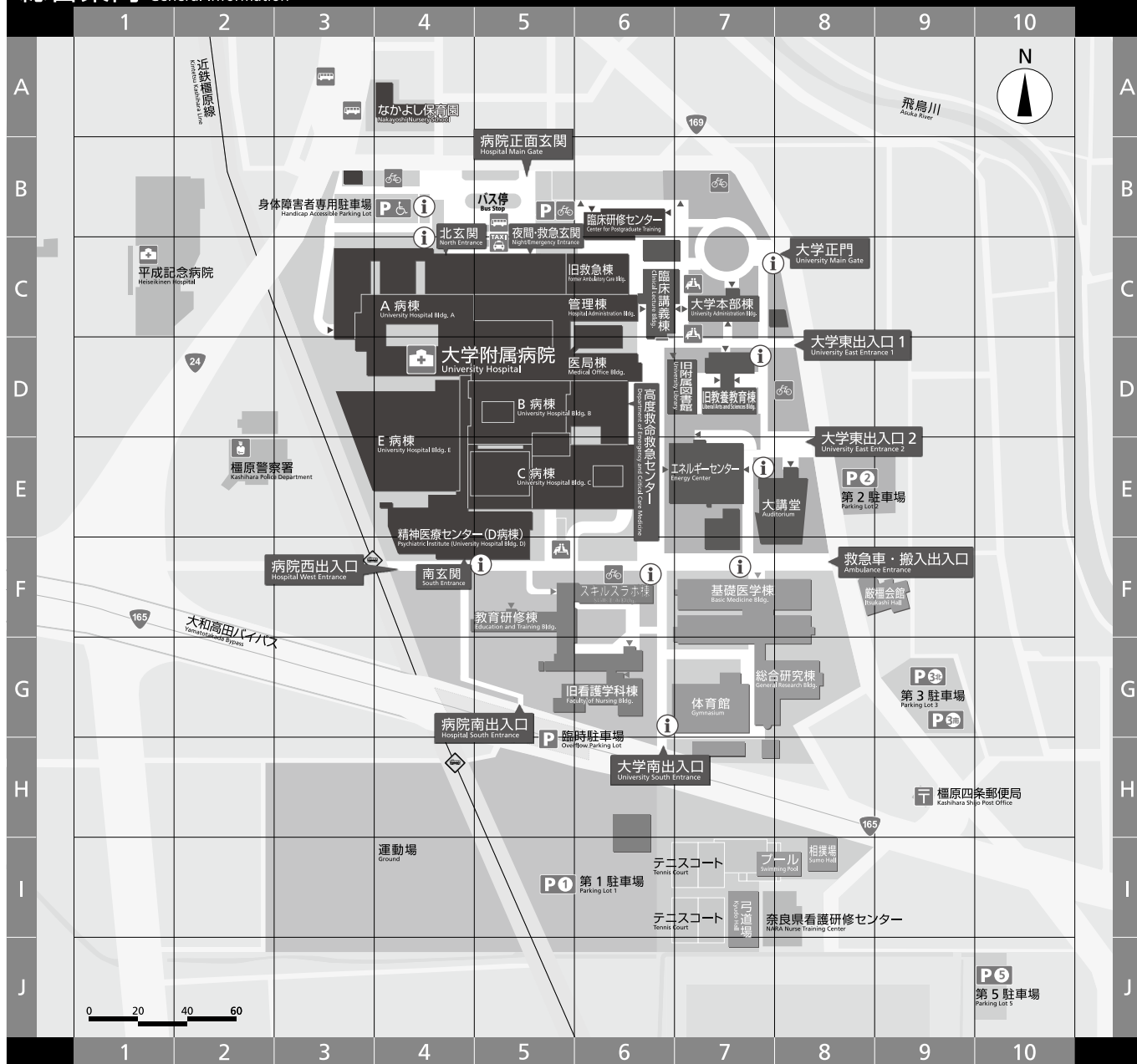
病院 総合案内

R8. 5. 1 現在

A 病棟・旧救急棟・管理棟・医局棟			B 病 棟		C 病 棟		E 病 棟	
8階			(病棟) 耳鼻咽喉・頭頸部外科、血液内科、腫瘍内科		(病棟) 呼吸器・アレルギー内科、感染症内科、放射線治療科 (中央) 感染症内科 (感染症センター)		(病棟) 小児センター	
7階	医局・研究室		(病棟) 消化器・代謝内科 糖尿病・内分泌内科		(病棟) 循環器内科 腎臓内科		(病棟) 婦人科、メディカルパーサスセンター (中央) 高度生殖医療センター	
6階	医局・研究室		(病棟) 消化器外科・小児外科・乳癌外科		(病棟) 心臓血管外科、呼吸器外科、放射線・核医学科 呼吸器・アレルギー内科 消化器外科・小児外科・乳癌外科		(中央) 総合周産期母子医療センター (病棟) 産科、授乳ケア外来	
5階	(中央) 医療の質・安全管理センター、感染管理室、めまい・難聴センター、総合画像診断センター、先心性心疾患センター 教授室、医局、研究室		(病棟) 脳神経外科 脳卒中センター		(病棟) 脳神経内科、口腔外科、麻酔科、ペインセンター、救急科		(中央) 総合周産期母子医療センター 新生児集中治療室 (NICU・CCU)	
4階	(病棟) 眼科、皮膚科、形成外科、総合診療科、救急科		(病棟) 整形外科		(病棟) 泌尿器科 (中央) 透析部	D 病棟 / 精神 医療センター	(中央) 中央手術部	
3階	(中央) 中央手術部、移植細胞培養センター、臨床研究センター (管理) 医事課 教授室、医局、研究室		(中央) 病院管理課、医局、病理診断科 (外来) 周術期管理センター		(中央) 集中治療部 中央手術部	(病棟) 精神科・ 児童精神科		3階
2階	(外来) 循環器内科、腎臓内科、呼吸器・アレルギー内科、感染症内科、消化器・代謝内科、神経内科、産婦人科、小児科、皮膚科、形成外科、総合診療科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、めまい・難聴センター、新生児・発達外来、遺伝カウンセリング、糖尿病・内分泌内科、女性専用外来、血液内科、自己血、栄養指導室、肝疾患相談支援センター (中央) 輸血部、中央臨床検査部、薬剤部 (製剤室) (管理) 看護部長室、看護副部長室、病院管理課、職員厚生室、医事課、医療相談課、看護部 教授室、医局		(中央) 中央臨床検査部、医局 (管理) レストラン		(中央) 中央内視鏡・超音波部、医療情報部 (管理) 病院長室、病院経営部長室 経営企画課、情報推進課 臨床研究センター、看護師特定行為支援センター 弘済会、理・美容室	(病棟) 精神科・ 児童精神科	(中央) 中央臨床検査部 リハビリテーション科	2階
1階	(外来) 消化器外科・小児外科・乳癌外科、脳神経外科、心臓血管外科・呼吸器外科、先天性心疾患センター、整形外科、四肢外傷センター、口腔外科、眼科、泌尿器科、放射線・核医学科 (画像診断・IVR)、リンパ浮腫 セカンドオピニオン、乳癌内科、ペインセンター、トリアージ外来 (中央) 薬剤部 (調剤室)、中央放射線部、総合画像センター、地域医療連携室、入院院支援センター、医療クラーク部 (管理) 総合案内窓口、入院受付窓口、創傷相談室、守衛室 (防災センター)、救急受付窓口、総合相談窓口 (医療相談課)、患者・家族支援室 (医療相談課)、コーヒースタッフ、コンビニエンスストア 教授室、医局		(外来) 救急外来、外来点滴室 (中央) 中央放射線部 高度救命救急センター		(中央) 中央放射線部 高度救命救急センター IVR センター	(外来) 精神科・ 児童精神科 (管理) 教授室、医局、 研究室	(外来) 腫瘍内科、外来化学療法室、緩和ケアセンター、アイトープ検査室 がん相談支援センター患者サロン(なごみ) (管理) コーヒースタッフ	1階
地階	技局		(中央) 中央材料室 医療技術センター (管理) 供給センター		(中央) 栄養管理部		(中央) 放射線治療室・核医学科、中央放射線部 (外来) 放射線治療、PET 検査	

四条キャンパス・附属病院 配置図

総合案内 General Information



広域図 Wider Area Map



施設一覧 (索引) Facilities List (Index)

アルファベット	か行	相撲場	I8 ■ な行
A 病棟 University Hospital Bldg. A	C4 ■ 旧看護学科棟 Faculty of Nursing Bldg.	G6 ■ 精神医療センター(D病棟) Psychiatric Institute (University Hospital Bldg. D)	F5 ■ なかよし保育園 Nakayoshi Nursery School
B 病棟 University Hospital Bldg. B	D5 ■ 管理棟 Hospital Administration Bldg.	C6 ■ 総合研究棟 General Research Bldg.	G8 ■ は行
C 病棟 University Hospital Bldg. C	E5 ■ 基礎医学棟 Basic Medicine Bldg.	F7 ■ た行	プール Swimming Pool
精神医療センター(D病棟) Psychiatric Institute (University Hospital Bldg. D)	F5 ■ 旧救急棟 Former Ambulatory Care Bldg.	C6 ■ 第1駐車場 Parking Lot 1	I6 ■ 旧附属図書館 University Library
E 病棟 University Hospital Bldg. E	E4 ■ 弓道場 Kyudo Hall	I7 ■ 第2駐車場 Parking Lot 2	E9 ■ ら行
医局棟 Medical Office Bldg.	D6 ■ 教育研修棟 Education and Training Bldg.	F5 ■ 第3駐車場 Parking Lot 3	G9 ■ 臨時駐車場 Overflow Parking Lot
厳倉会館 Rikugan Hall	F9 ■ 旧看護学科棟 Faculty of Nursing Bldg.	D7 ■ 第5駐車場 Parking Lot 5	J10 ■ 臨床研修センター Center for Postgraduate Training
運動場 Ground	I4 ■ 旧救急教育棟 Former Ambulatory Care Bldg.	D6 ■ 体育館 Gymnasium	G7 ■ 臨床講義棟 Clinical Lecture Bldg.
エネルギーセンター Energy Center	E7 ■ 高度救命救急センター Department of Emergency and Critical Care Medicine	B4 ■ 大学本部棟 University Administration Bldg.	C7 ■
		F6 ■ 大講堂 Auditorium	E8 ■
			I7 ■

凡例 Legend

病院 Hospital	A4 ■
案内板 Information	
駐車場 Parking Lot	
休憩所 Lounge	I8 ■
自転車置場 Bicycle Parking Lot	D7 ■
バス停 Bus Stop	
タクシー Taxi Stand	H6 ■
郵便局 Post Office	
警察署 Police Department	
駅(JR・近鉄) Train Station (JR/Kintetsu)	
165 国道 National Highway	
踏切 Crossing	

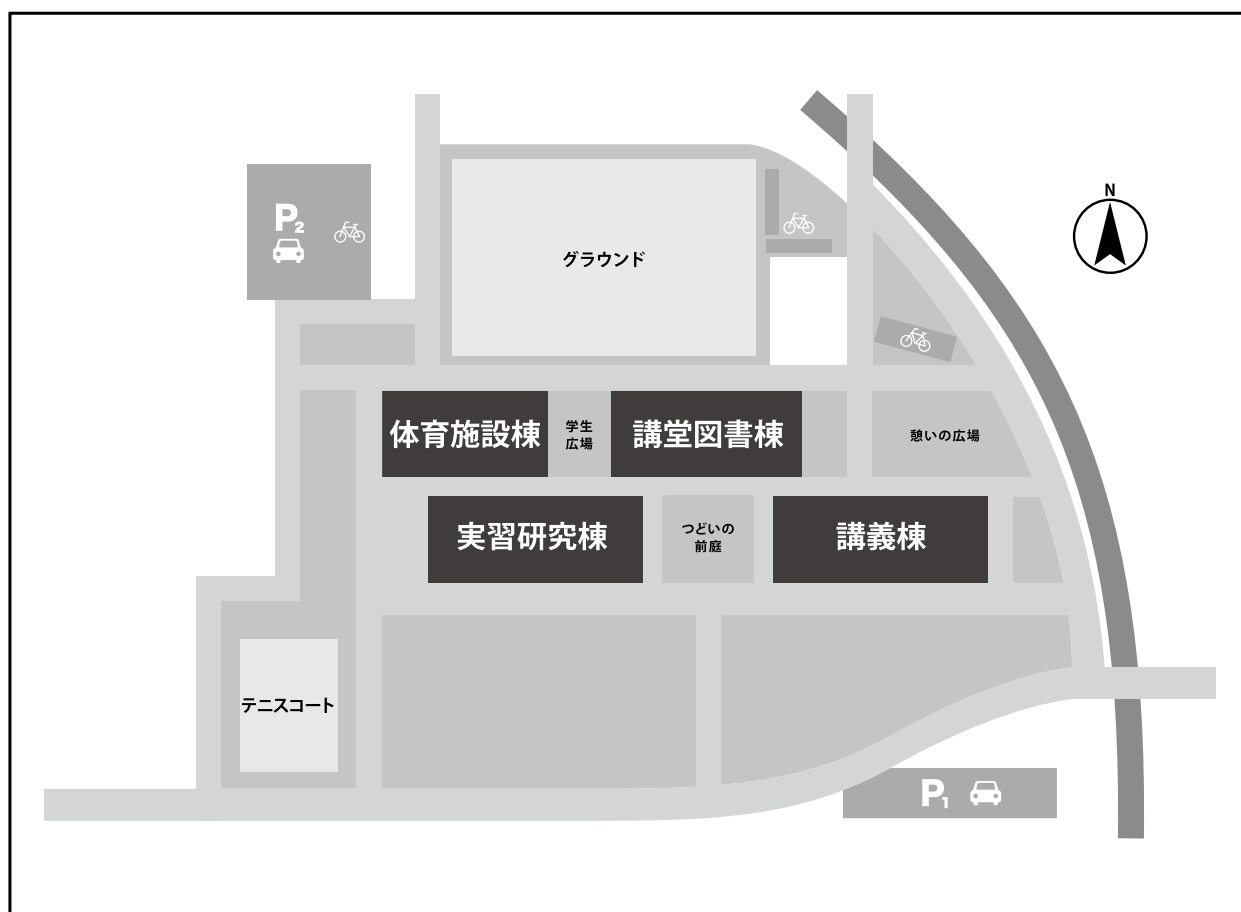


敷地内禁煙
No Smoking

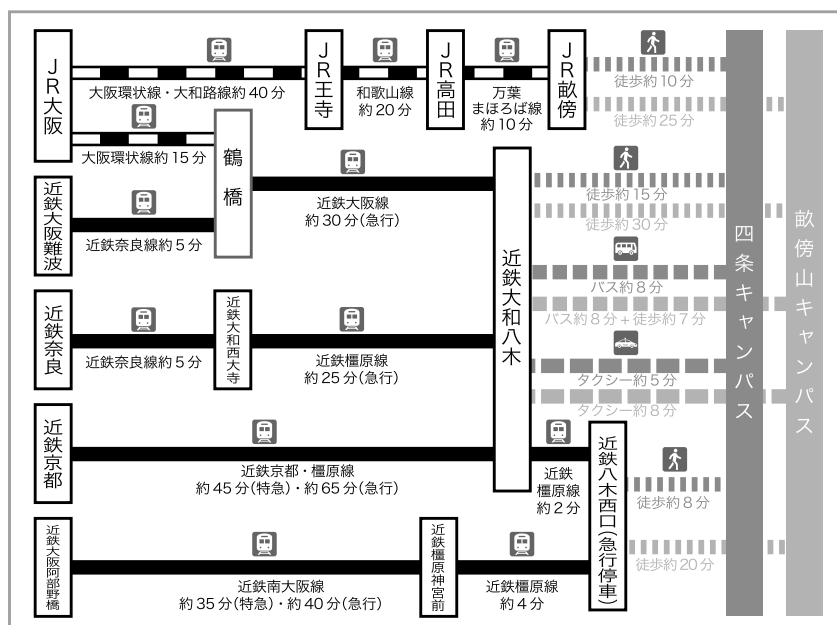
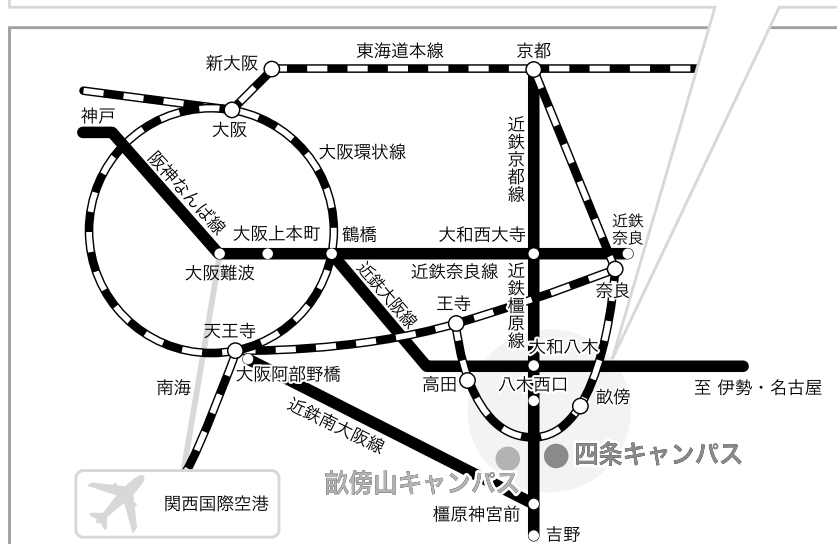


敷地内バイク走行禁止
No Motorcycles

畝傍山キャンパス 配置図



大学・附属病院付近図



令和 8 年 7 月発行

公立大学法人

奈良県立医科大学

〒 634-8521 奈良県橿原市四条町 840 番地

電 話 (代)0744-22-3051

F A X 0744-25-7657

<https://www.naramed-u.ac.jp>

編 集 法人企画部 総務広報課
